



## ThinkPad 390X ユーザーズ・リファレンス

注

本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ずviiiページの『安全に正しくお使いいただくために』および157ページの付録B、『特記事項』をお読みください。人間工学情報に関しては、*オンライン・ユーザーズ・ガイド*を参照してください。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

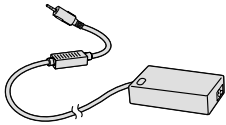
電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

AC アダプターについて

AC アダプターは、日本の電気器具・材料管理法に準拠しています。

- 定格：入力 AC 100 V 50/60 Hz, 出力 DC 16 V
- 型式認可番号 (▽): 91-56010, 91-56011, 91-56012, 91-56055, 91-56887, 91-56271, 91-55997



## 第 1 版 (1999年 9月)

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原典： V08K-8873-00  
ThinkPad 390X  
User's Reference

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.9

© Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

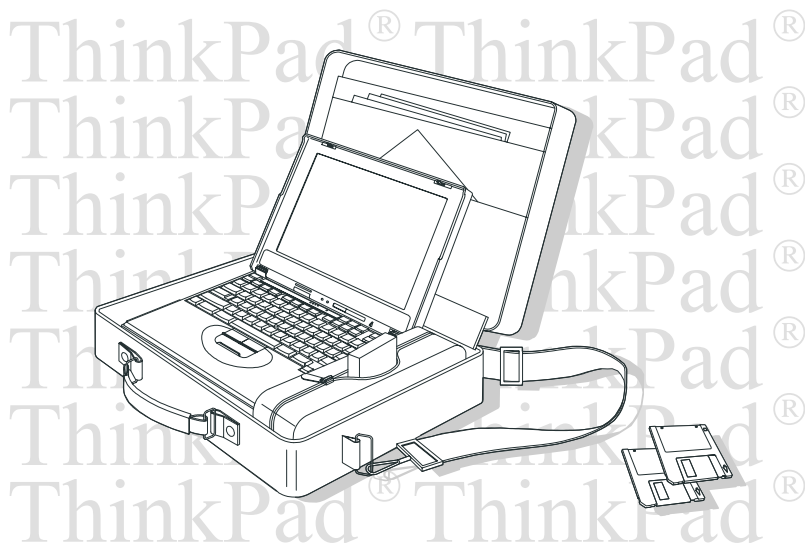
Translation: © Copyright IBM Japan 1999

# このたびは IBM ThinkPad 390X コンピューターをお買上げいただき、ありがとうございます

---

ThinkPad 390X はお客様の技術的要件と高い信頼にお応えできるよう開発されました。お客様のモバイル・コンピューティング・ニーズに合わせて引き続き製品の開発を行うために、ThinkPad の登録をお願いします。

---



## 機能の特長

### 高度なテクノロジーを集積したオールインワン設計

ThinkPad 390X は、バランスのとれたオールインワン設計の使いやすいコンピューターです。

### 高速プロセッサ

Intel® 高速プロセッサ搭載により、高速データ処理が可能になり、パフォーマンスが向上しました

### 大容量のハード・ディスク

大容量のハード・ディスクが、お客様のさまざまなニーズに対応します。

### 大型カラー液晶ディスプレイ

大型の TFT (薄膜フィルム・トランジスター) 液晶ディスプレイは、鮮明でクリアな文字とグラフィックスを表示します。

### ニッケル水素またはリチウム・イオン・バッテリー・パック

大容量バッテリー・パックにより、ThinkPad を長時間携帯して使用できます。

### 3D ステレオ・サウンド搭載のオーディオ機能

ThinkPad には、2 つのスピーカーからでも 3D サウンドをお楽しみいただける機能を持つ、内蔵オーディオ録音再生機能が装備されています。3D ステレオ機能を使用すると、2 つのスピーカーからのサウンドがお客様の周囲を取り囲むように生成される効果が得られます。

オーディオ機能は、以下をサポートします。

- 最高 16 ビット、ステレオで 48 KHz サンプリングでの録音と再生。
- Sound Blaster Pro\*\* インターフェースを使った DOS のゲーム。

オーディオ機能の使用方法に関する詳細は、[オンライン・ユーザーズ・ガイド](#)を参照してください。

### 拡張制御付きのトラックポイント

ThinkPad には、トラックポイントを押すだけで選択操作のできる拡張トラックポイント機能が付いています。センター・ボタンによって、トラックポイントがスクロール制御デバイスまたは拡大表示に変わります。

トラックポイントの使用方の詳細は、12ページの『トラックポイント』を参照してください。

**PC カード・サポート**

ThinkPad には、16 ビット PC カード、CardBus カードおよび ZV (Zoomed Video) カードを取り付けられる 2 つの PC カード用スロットが装備されています。

PC カードの取り付け方の詳細は、84ページの『PC カードの取り付け』を参照してください。

## 本書について

本書には、IBM ThinkPad 390X を操作するのに役立つ情報が記載されています。ThinkPad を実際にお使いになる前に、*ThinkPad 390X セットアップ・ガイド* および本書の第 1 章を必ずお読みください。

『第 1 章 ご使用前の ThinkPad について』  
では、ThinkPad の基本機能を紹介します。



『第 2 章 ThinkPad の機能拡張法』  
では、オプションの取り付け方法および ThinkPad の各種機能の使用方法について説明します。

『第 3 章 パスワードと盗難の予防』  
では、パスワードの使用、およびロック機能の使用について説明します。

『第 4 章 問題が起こったら』では、問題が起こった場合の対処方法について説明します。この章には、問題判別ガイドおよび削除したり損傷したりしたソフトウェアの回復方法についての情報も含まれます。

『第 5 章 サービス体制』では、IBM が提供するサポートおよびサービスについて説明します。

付録A, 製品仕様 では、ThinkPad に関する機能と仕様について説明します。また、電源コードについての情報も記載されています。







付録B, 特記事項 には、ご使用のコンピューターに関する保証規定ならびに特記事項が含まれています。

また、本書の最後には「索引」が付いています。

オンライン・ユーザズ・ガイド (36ページの『オンライン・ユーザズ・ガイド』を参照) もあわせてご参照ください。

— 本書で使われるアイコン —

以下は、ThinkPad で使用する各オペレーティング・システムに固有の手順や説明を表すためのものです。

	Microsoft Windows 98 に関する情報。
	Microsoft Windows NT に関する情報。
	Microsoft Windows 95 に関する情報。
	Microsoft Windows V3.1 に関する情報。
	IBM PC DOS ユーザーに対する情報。
	IBM OS/2 のユーザーに対する情報。



安全に正しくお使いいただくために

## 安全に正しくお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくご使用いただくための安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

### 絵表示について

本製品を正しくご使用いただいて、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示については、以下の絵を表示しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 危険/注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている内容以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

### 危険

- 本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線しないでください。火災、感電のおそれがあります。



- 本製品は、付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
- コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、テレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 万一、異常に発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜き、バッテリー・パックを取り外して、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜き、バッテリー・パックを取り外して、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

#### • 電池について

本製品には、次の 3 種類の電池が使用されています。

- バッテリー・パック（本体の主電源用で着脱可能）
- リチウム電池
- ニッケル水素電池

バッテリー・パック以外の電池は専門の担当者によってのみ交換されます。電池の交換については、お買い求めの販売店または IBM サービス・センターまでお問い合わせください。

電池の取り扱いを誤ると、発熱、発火、破裂のおそれがあります。

電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、幼児が電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

次の行為は絶対にしないでください。

- 水にぬらすこと
- 100 以上の過熱や焼却
- 分解や、本体や専用の機器以外による充電

電池は、地方自治体の条例または規則に従って破棄してください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

- 充電式バッテリー・パックを分解、焼却、ショートさせないでください。

安全に正しくお使いいただくために

- 外付けモニターのカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。

## 注意

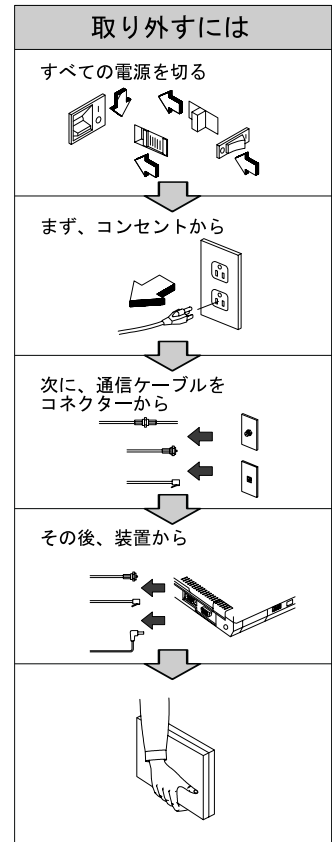
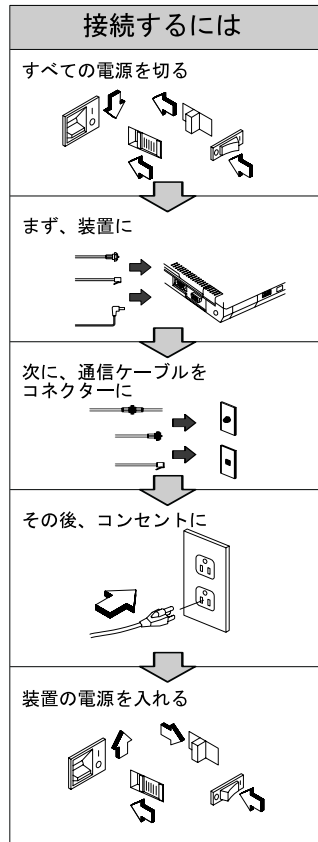
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 連休などで長期間使わないときは、バッテリー・パックを本体から抜いておいてください。

## 危険

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。火災や感電の危険を減らすため、常に以下を含む基本的な安全注意を守ってください。

- **ThinkPad** を水の近くや水中で使用しないでください。
- 雷雨時には、電話ケーブルを電話用モジュラー・ジャックから抜き差しを行わないでください。

感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、次の手順でケーブルの接続および取り外しを行ってください。3 ピンの電源コードを使用する場合は、必ずアース付きのコンセントで使用してください。



## ⚠ 危険

充電式バッテリー・パックを分解、焼却、ショートさせないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## 危険

バッテリーの交換方法が正しくないと、爆発の危険があります。

リチウム・バッテリー (**IBM P/N 02K6502 UL-recognized component [ file no. MH12210]**) にはリチウムが含まれており、取り扱いや処分が正しくないと、爆発の危険があります。

同一タイプのバッテリーとのみ交換してください。

バッテリーを水に浸したり、**100°C** 以上に熱したり、修理や分解をしないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## 注意

液晶ディスプレイ (**LCD**) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

**LCD** はガラス製なので、**ThinkPad** を乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。**LCD** が壊れて内部の液体が目に入ったり、手についたりした場合は、すぐに水で **15** 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

### レーザーに関する承諾事項

ThinkPad 390X に装備されている CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブは、レーザーを使用しています。次に示す CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの分類ラベルが、ドライブの表面に貼られています。

CLASS 1 LASER PRODUCT  
LASER KLASSE 1  
LUOKAN 1 LASERLAITE

APPAREIL A LASER DE CLASSE 1  
KLASS 1 LASER APPARAT

この CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブは、米国では分類 I のレーザー製品に対する連邦規定 (DHHS 21 CFR) 副章 J の厚生省規約 21 の要件に準拠していると認定されています。

その他の国では、このドライブは EN60825 の要件に準拠していると認定されています。

 **注意**

**CD-ROM** または **DVD-ROM** ドライブを分解しないでください。内部にはお客様による調節の必要な部品はありません。

本書で指定された内容以外の、お客様による整備、調整、または手順を行った場合、放射線を浴びる危険があります。

Class 1 のレーザー製品は危険物とみなされていません。この CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブには、760~810 ナノメートルの波長で作動する Class 1 の 0.5 ミリワットの aluminum gallium-arsenide レーザーが入っています。このレーザー・システムおよび CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの設計は、通常の操作、保守を維持する限り、Class 1 レベルを超えるレーザー放射は起こらないことを保証しています。

安全に正しくお使いいただくために

このたびは <b>IBM ThinkPad 390X</b> コンピューターをお買上げいただき、ありがとうございます	iii
機能の特長	iv
本書について	vi
安全に正しくお使いいただくために	viii
絵表示について	viii
危険/注意ラベルの表示について	viii
レーザーに関する承諾事項	xii
<b>第1章 ご使用の ThinkPad について</b>	<b>1</b>
各部の機能と名称	2
ThinkPad の正面図	2
ThinkPad の背面図	5
ThinkPad の底面図	7
システム状況インジケーター	8
ThinkPad の機能の特長	12
キーボードの機能	12
ウルトラベイ FX	18
ThinkPad ユーティリティー・プログラム	21
オンライン・ユーザズ・ガイド	36
ソフトウェアの再インストール	38
導入済みアプリケーション CD	38
Product Recovery CD-ROM	38
ConfigSafe	39
最新のソフトウェアの入手先	39
バッテリー・パックの交換	40
サービスに関するヒント	42
ThinkPad の取り扱い	42
避けていただきたいこと	42
行っていただきたいこと	43
ThinkPad の持ち運び	44
ThinkPad のお手入れ	44
バッテリーの寿命を長もちさせるには	45

サービス体制	46
<b>第2章 ThinkPad 機能拡張法</b>	47
トラックポイントのカスタマイズ	48
「プレス・セレクト」のウィンドウの使用	49
「感度」ウィンドウの使用	51
「スクロール」ウィンドウの使用	52
メモリーの増設	54
ハイパネーション機能の作成	58
ハード・ディスク・ドライブのアップグレード	59
ウルトラベイ FX デバイスの交換	61
セカンド・バッテリー・パックのインストール	63
セカンド・ハード・ディスク・ドライブの取り付け	64
外付けマウス、数値キーパッド、またはキーボードの接続	66
マウスまたは数値キーパッドの接続	66
外付けキーボードとマウスの接続	69
トラックポイントの使用不可	70
外付けディスプレイの接続	72
ディスプレイの表示モードの変更	73
表示モード	75
デュアル・ディスプレイ機能の使用	77
ThinkPad へのテレビの接続	81
プリンターの接続	83
PC カードの取り付け	84
PC カードの取り外し	85
ポート・リプリケーターの使用	87
CardBus ソケットを使用可能にする (Windows 98 の場合)	88
<b>第3章 パスワードと盗難の予防</b>	91
パスワードの使用	92
パスワードの設定	94
パスワードの入力	96
パスワードの変更または消去	97
ロック機能の使用	99
セキュリティーねじの使用	100
<b>第4章 問題が起こったら...</b>	101
よくある質問と答え	102



ヒントおよび制限事項	112
ポート・リプリケーターで PC カードを使用	113
ポート・リプリケーターにおけるネットワーク機能の使用	113
USB コネクタに関する考慮事項	114
2 枚目の CardBus カードの使用	114
外付けコンデンサー・マイクロホンの使用	114
問題判別ガイド	115
問題判別表	116
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	117
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	121
入力装置の問題	122
サスペンド・モードまたはハイパネーション・モードの問題	124
LCD (液晶ディスプレイ) の問題	126
インジケータの問題	127
バッテリーの問題	127
CD-ROM ドライブの問題	128
赤外線通信の問題	129
オーディオの問題	130
汎用 (ユニバーサル) シリアル・バス (USB) の問題	130
PC カードの問題	131
プリンターの問題	132
外付けディスプレイの問題	133
ポート・リプリケーターの問題	135
その他のオプションの問題	136
ソフトウェアの問題	137
その他の問題	138
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	140
導入済みアプリケーション CD の使用法	140
リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) の使用	140
最新ソフトウェアの入手先	141
第5章 サービス体制	143
お使いの ThinkPad に関する情報	145
オプション・リスト	145
ID 番号の記録	145
問題記録用紙	146
カスタマー・サポートおよびサービス	147
オンライン・サポート・サービス	147

付録A. 製品仕様	149
機能	150
仕様	153
IBM 電源コード	155
付録B. 特記事項	157
西暦 2000 年対応および説明	157
商標	158
Macrovision の著作権保護に関するステートメント	159
Electronic Emission Notices	159
索引	163

# 第1章 ご使用の ThinkPad について

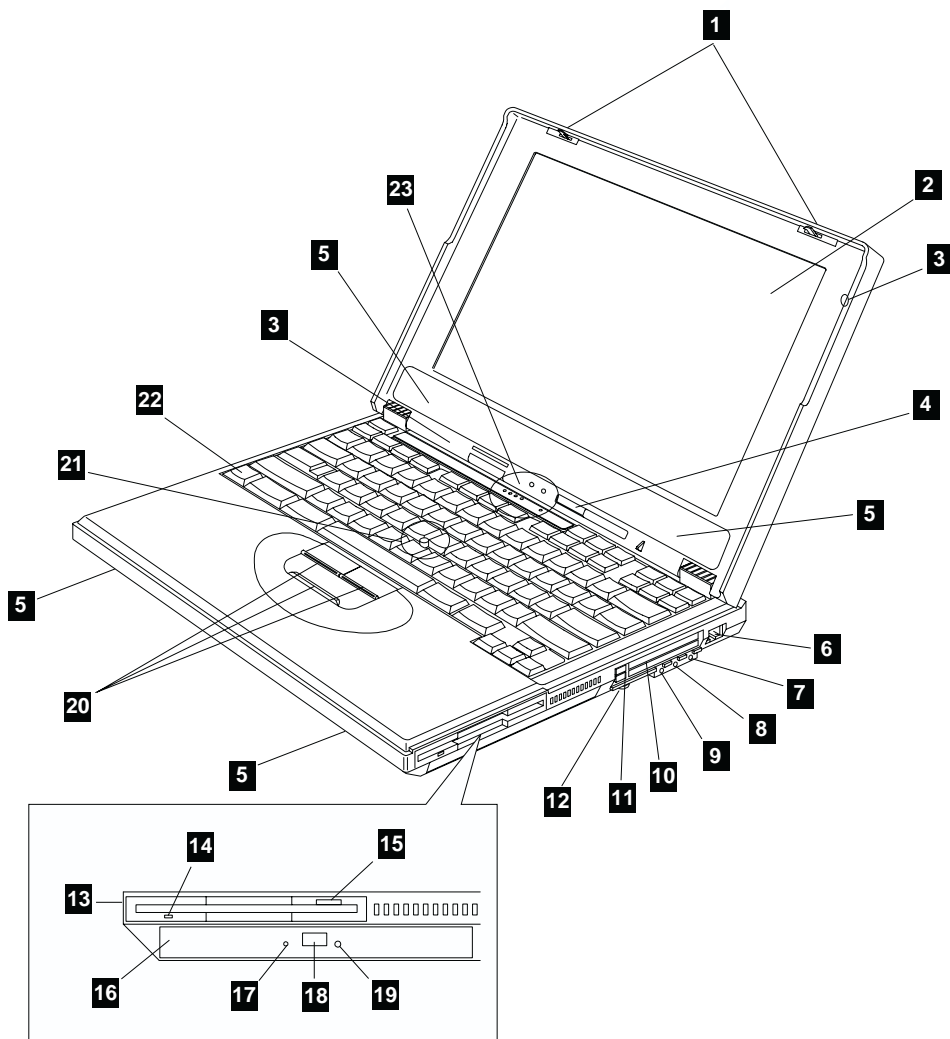
---

本章では、ThinkPad の基本的な情報について説明します。





各部の機能と名称	2
ThinkPad の正面図	2
ThinkPad の背面図	5
ThinkPad の底面図	7
システム状況インジケーター	8
ThinkPad の機能の特長	12
キーボードの機能	12
トラックポイント	12
Fn キー機能	15
数値キーパッド	17
ウルトラベイ FX	18
CD-ROM ドライブ	19
ThinkPad ユーティリティ・プログラム	21
BIOS Setup Utility	21
ThinkPad の設定プログラム	35
オンライン・ユーザーズ・ガイド	36
ソフトウェアの再インストール	38
導入済みアプリケーション CD	38
Product Recovery CD-ROM	38
ConfigSafe	39
最新のソフトウェアの入手先	39
バッテリー・パックの交換	40
サービスに関するヒント	42
ThinkPad の取り扱い	42
避けていただきたいこと	42
行っていただきたいこと	43
ThinkPad の持ち運び	44
ThinkPad のお手入れ	44
バッテリーの寿命を長もちさせるには	45
サービス体制	46
国際保証サービス	46

## 各部の機能と名称

### ThinkPad の正面図



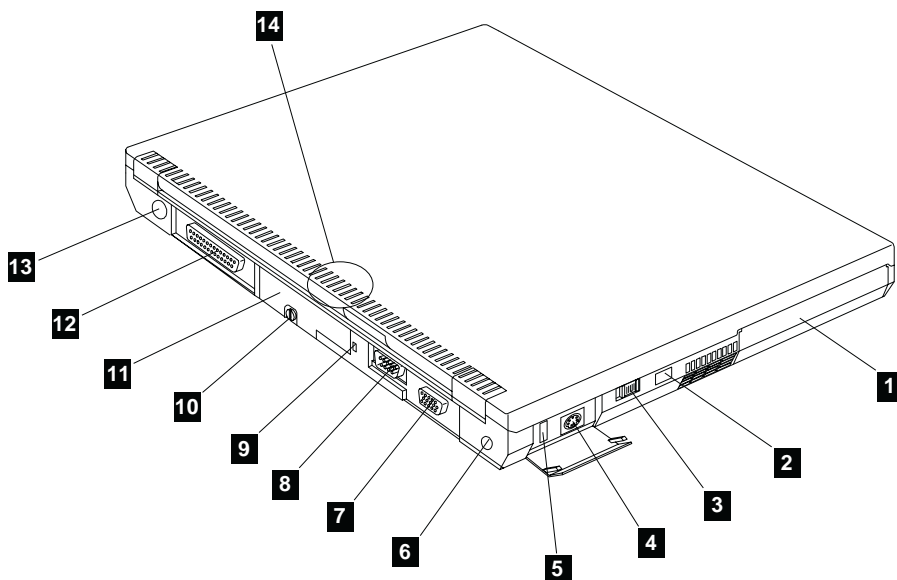
- (1) **LCD ラッチ**。これを押すと LCD が解放され、開くことができます。








- (2) カラー液晶ディスプレイ (**LCD**) パネル。ThinkPad の出力を表示します。
- (3) 内蔵マイクロホン。オーディオ対応のアプリケーション・プログラムを使用する場合に、このマイクロホンから音声を ThinkPad に取り込みます。
- 注: 内蔵マイクロホンは 12.1/14.1 インチ LCD モデルの場合は、LCD の左上角にあり、15.0 インチ・モデルの場合は LCD の左下端にあります。
- (4) 輝度調節つまみ。ディスプレイの明るさを調節します。
- (5) 内蔵スピーカー。ステレオ・サウンドを生成します。
- 注: 内蔵スピーカーは、12.1/14.1 インチ LCD モデルの場合は LCD の下にあり、15.0 インチ LCD モデルの場合は、ThinkPad の前端にあります。
- (6) イーサネット・コネクタ。ThinkPad をイーサネットに接続するときに使用します。
- (7)  ヘッドホン・ジャック。直径 3.5 mm (1/8 インチ) のジャックで、ステレオ・ヘッドホンまたは外付けスピーカーを接続します。
- (8)  ライン入力ジャック。直径 3.5 mm (1/8 インチ) のジャックで、外付けオーディオ装置を接続します。
- (9)  マイクロホン・ジャック。直径 3.5 mm (1/8 インチ) のジャックで、電源内蔵型ステレオ・マイクロホンを接続します。
- 注: マイクロホン・ジャックにはマイクロホン以外の装置を接続しないでください。
- (10) **PC** カード・スロット。PC カードを挿入します。
- (11) **PC** カード・イジェクト・ボタン。PC カード・スロットから PC カードを取り出すときに押します。
- (12)  オーディオ・ボリューム・コントロール。スピーカーの音量を調整します。
- (13) ディスケット・ドライブ (ウルトラベイ FX に取り付けられた状態を示します)。
- (14) ディスケット・ドライブ稼働中インジケータ。コンピューターがディスク・ドライブにアクセスしているときに点灯します。
- (15) ディスケット・イジェクト・ボタン。ディスク・ドライブからディスク・ドライブを取り出すときに押します。
- (16) **CD-ROM** ドライブ (ウルトラベイ FX に取り付けられた状態を示します)。
- 注: ウルトラベイ FX に取り付けることのできる、別売りのウルトラベイ FX FD/4 倍速 DVD ドライブも用意されています。
- (17) **CD-ROM** アクセス・インジケータ。CD-ROM ドライブの CD-ROM からデータが読み取られているときに点灯します。

## 各部の機能と名称





- (18) **CD-ROM** イジェクト・ボタン。CD-ROM トレイを出すときに押します。
- (19) 非常用 **CD-ROM** 取り出し穴。CD-ROM イジェクト・ボタンで CD-ROM トレイが出てこない場合に使用します。ピンの先などをこの穴に差し込むと、CD-ROM トレイが排出されます。
- (20) トラックポイント・ボタン。トラックポイント (21) とともに使用し、マウス・ボタンと同じ働きをします。
- (21) トラックポイント。組み込み式のポインティング・デバイスで、マウスと同じ働きを提供します。
- (22) **Fn** キー。ファンクション・キーとともに使用して、**Fn** キー機能を実行します。
- (23) インジケーター・パネル。システム状況インジケーターと関連する記号で ThinkPad の状態を表します。

## ThinkPad の背面図



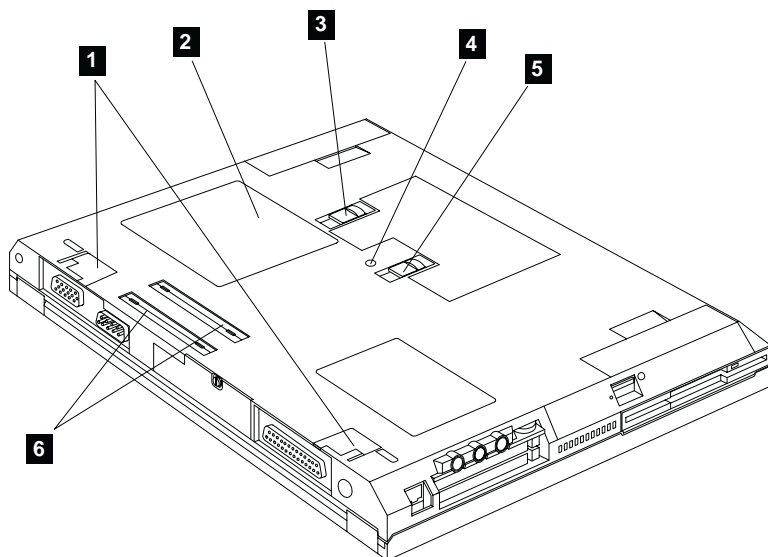
- (1) バッテリー・パック。ThinkPad 用の内蔵電源です。
- (2)  赤外線ポート。赤外線通信機能をもつ他のデバイスと通信を行うことができます。
- (3)  電源スイッチ。ThinkPad の電源をオンまたはオフにします。  
注： ThinkPad の電源をオフにした場合は、再びオンにするまでに最低 5 秒間待ってください。
- (4) **S** ビデオ出力ジャック。S ビデオ入力端子をもったテレビまたは映像機器をここに接続します。
- (5)  汎用 (ユニバーサル) シリアル・バス (**USB**) ・ポート。USB 規格に対応するデバイスをここに接続できます。
- (6)  電源ジャック。AC アダプターのケーブルをここに接続します。
- (7)  外付けディスプレイ・コネクタ。外付けディスプレイをここに接続します。
- (8)  シリアル・コネクタ。シリアル・デバイス用の 9 ピンのケーブルをここに接続します。
- (9)  セキュリティー・キーホール。セキュリティー・システム・ロックをここに取り付けます。


## 各部の機能と名称

- (10) ハード・ディスク用ネジ。ハード・ディスク ( 11 ) を取り外すときは、このネジを緩めます。
- (11) ハード・ディスク。ThinkPad に内蔵されている大容量記憶装置です。
- (12)  パラレル・コネクタ。パラレル・プリンターの信号ケーブルをここに接続します。
- (13)  **PS/2** マウス/キーボード共通ポート。マウス、外付けキーボード、または外付け数値キーパッドをここに接続します。
- (14)  バッテリー状況ランプ。バッテリー・パックの状況を表示します。
-  サスペンド・モード・ランプ。ThinkPad がサスペンド・モードに入っているときにオンになります。



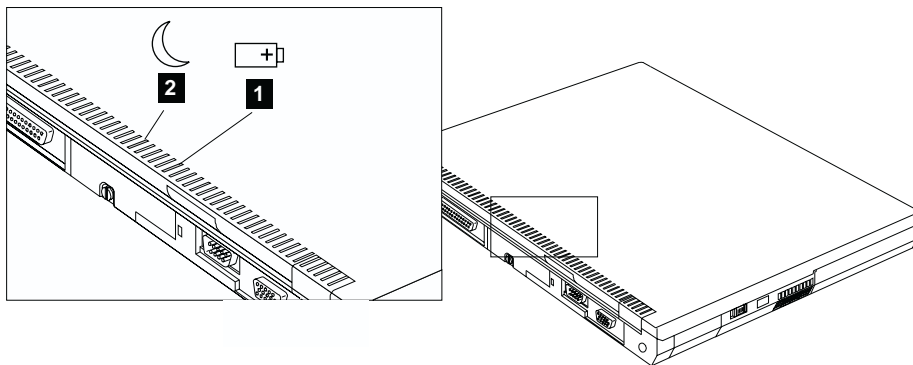
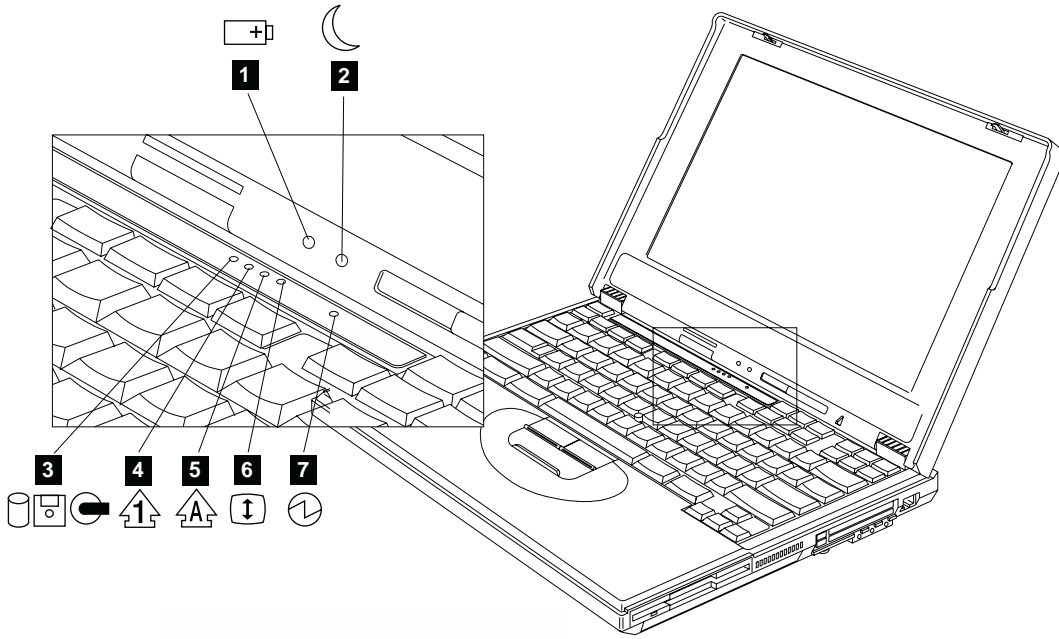
## ThinkPad の底面図









- (1) チルト・スタンド。引き出して ThinkPad に傾斜を付け、特にキー入力時に操作しやすくします。
- (2) メモリー・スロット・カバー。メモリー・スロットのカバーです。  
2 つのメモリー・スロット。オプションのメモリー・モジュール (DIMM) を取り付ける場所です。  
注: 基本メモリー (32 MB または 64 MB) がメモリー・スロットを 1 つ 占有します。
- (3) バッテリー・パック・ラッチ。バッテリー・パックのロックを開閉します。
- (4) ウルトラベイ FX ランプ。オンになっている場合は、ウルトラベイ FX 装置を取り外してはなりません。
- (5) ウルトラベイ FX デバイス・ロック。ウルトラベイ FX デバイスをロック、または解放します。
- (6)  システム拡張コネクタ (240 ピン)。ThinkPad 拡張ポート・リプリーケーター (EtherJet 機能付き) または ThinkPad 560 ポート・リプリーケーターをここに接続します。


## システム状況インジケータ

ThinkPad のシステム状況インジケータは、点灯または色 (緑およびオレンジ) によって ThinkPad の現在の状況を示すものです。各インジケータの役割は記号で表されます。次に、各記号の位置と意味を示します。



## システム状況インジケータ

記号	インジケータの色	意味
(1) バッテリー状況 	緑	操作に十分なバッテリー残量があります。
	オレンジ点滅	バッテリー・パックを充電する必要があります。
	オレンジ	バッテリー・パックを充電しています。
(2) サスペンド・モード 	緑	ThinkPad がサスペンド・モードであることを示します。
	緑点滅	ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに移行中である、または通常の操作状態へ移行中であることを示します。
(3) ドライブ使用中 	オレンジ	ハード・ディスクまたはフロッピー・ディスクのデータを読み書きしているとき、または CD-ROM のデータを読んでいるときに表示されます。このインジケータが点灯している間は、ThinkPad をサスペンド・モードにしたり、ThinkPad の電源をオフにしないでください。
(4) ナム・ロック 	緑	このインジケータが点灯している場合は、キーボードの一部のキーを数値キーパッドとして使用することができます。 <b>Shift</b> キーを押しながら <b>NumLk</b> キーを押すことによって、数値キーパッド機能を使用可能または使用不可にすることができます。詳細については、17ページの『数値キーパッド』を参照してください。
(5) キャップス・ロック 	緑	このインジケータが点灯している場合は、Caps Lock (キャップス・ロック) モードで入力できます。このモードでは、 <b>Shift</b> キーを押さなくても、アルファベット (A-Z) はすべて大文字で入力されます。 <b>Shift</b> キーを押しながら <b>Caps Lock</b> キーを押すことによって、キャップス・ロック・モードのオン/オフができます。
(6) スクロール・ロック 	緑	このインジケータが点灯している場合は、スクロール・ロック・モードが使用できます。矢印 キーが面スクロール機能キーとして作動します。この状態では、矢印キーでカーソルを移動させることはできません。この機能が使用可能かどうかは、使用するアプリケーション・プログラムによります。 <b>ScrLk</b> キーを押すことによって、スクロール・ロック・モードを使用可能または使用不可にすることができます。

記号	インジケータの色	意味
(7) 電源 	緑	ThinkPad が使用できる状態であることを示します。 ThinkPad の電源がオンで、サスペンド・モードに入っていないときに点灯します。

## ThinkPad の機能の特長

ThinkPad には、独自のキーボード機能と簡単な構成を行えるユーティリティが用意されています。ここでは、次の機能について説明します。

- キーボードの機能
- ウルトラベイ FX
- ThinkPad ユーティリティ
- オンライン・ユーザズ・ガイド

### キーボードの機能

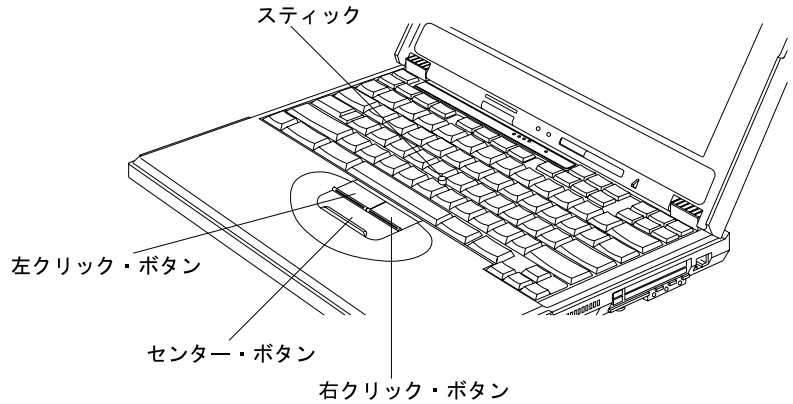
ThinkPad のキーボードには、次の機能が付いています。

- トラックポイント
- Fn キー
- 数値キーパッド

#### トラックポイント

キーボードには、トラックポイントという特殊なポインティング・デバイスが組み込まれています。これを使うと、ポインティング、選択、ドラッグなどの操作を、通常のタイプ入力位置から指を離さずに一連の手順の中で行うことができます。

トラックポイントは、キーボード上のスティックとキーボード手前の 3 つのクリック・ボタンとで構成されています。画面上のマウス・ポインターの動きは、スティックの先についてるキャップを押す指の圧力によってコントロールできます。圧力は、キーボード面に対して平行に前後左右に加えます。スティック自体は動きません。マウス・ポインターの移動速度は、スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。左および右クリック・ボタンの機能は、通常のマウスの左および右ボタンに対応し、使用するソフトウェアによって異なります。

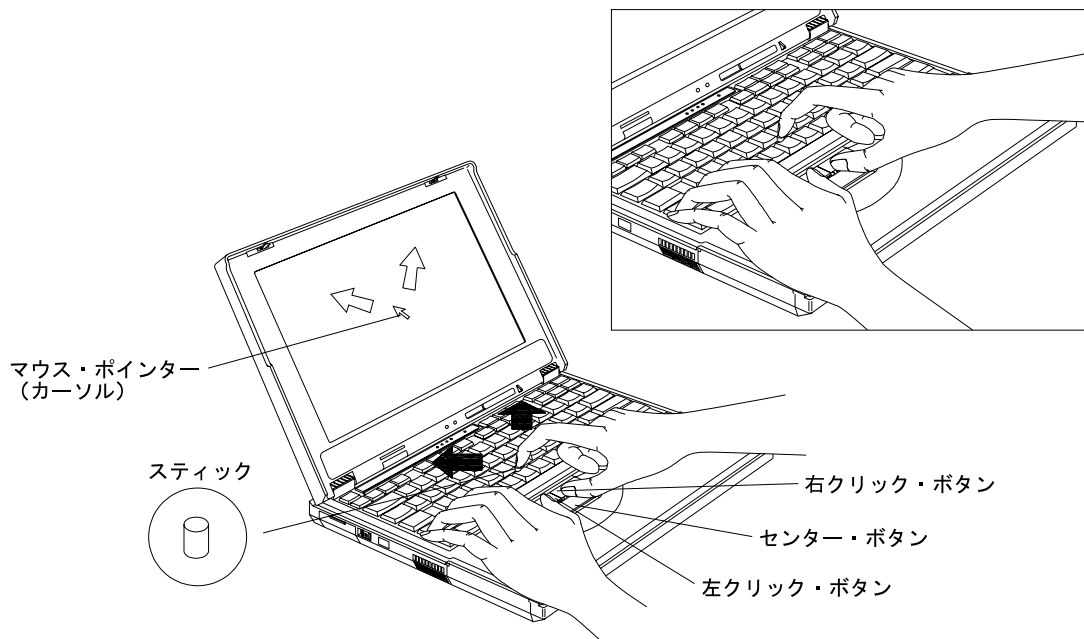


トラックポイントをはじめてお使いになる場合は、まず、次の説明をお読みください。

1. 両手をタイプ位置に置き、マウス・ポインターを移動させたい方向に、人差し指でスティックをゆっくりと押します。

スティックを LCD 方向に押すと、マウス・ポインターが画面の上方向に移動します。スティックを手前に押すと、マウス・ポインターが画面の下方向に移動します。また、スティックを左右の方向に押すと、マウス・ポインターが左右の方向に移動します。

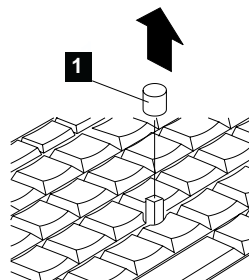
注: マウス・ポインターがドリフト (浮動) する場合があります。これは、故障ではありません。このような場合は、マウス・ポインターの動きが止まるまでトラックポイントを使用しないでください。



2. 使用するソフトウェアの指示どおりに、親指を使ってクリック・ボタンを押し、選択およびドラッグ操作をします。

#### — キャップの交換 —

トラックポイントのスティックの先に付いているキャップ (1) は着脱式です。必要に応じて、付属の予備キャップと交換することができます。また、付属品を使い切ってしまった場合は、オプションでもご購入いただけます。

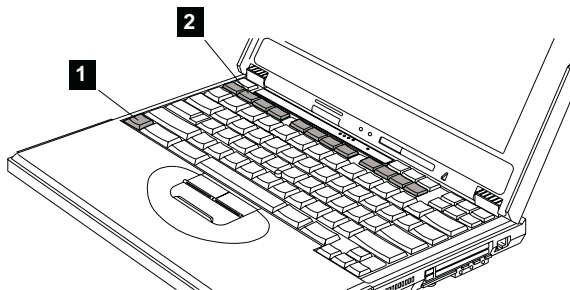




トラックポイントの使用方法的詳細は、48ページの『トラックポイントのカスタマイズ』を参照してください。

### Fn キー機能


Fnキー機能は、特定の操作を瞬時に実行する便利な機能です。次の表で示す機能を使用する場合は、**Fn**:キー(1)を押しながら、対応するファンクション・キー(**F1** ~ **F12**)(2)を押します。



#### Fn キー・ロック機能

**Fn** キーを 1 回押すだけで、**Fn** キーを押し続けたときと同じ状態になるように、ThinkPad を設定することができます。

「ThinkPad の設定」プログラムを始動し (35ページの『ThinkPad の設定プログラム』を参照)、「ユーザー補助」アイコン



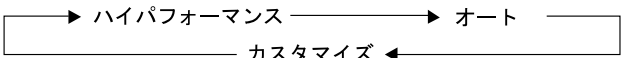




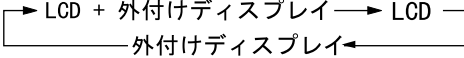
() をクリックしてから、「**Fn** キー・ロック」に対して「使用可能にする」を選択します。

**Fn** キー・ロック機能を使用可能にしたあとで、**Fn** キーを 1 度だけ押してから、どれかファンクション・キーを押してください。ThinkPad は、**Fn** キー + ファンクション・キーが押されたときと同じように作動します。

Fn キー・ロック機能を使用可能にした後で **Fn** キーを 2 回押すと、ファンクション・キーを単独で押しただけで「**Fn** + そのファンクション・キー」の組み合わせとして認識されます。この機能を停止するには、もう一度 **Fn** を押します。

## ThinkPad の機能の特長

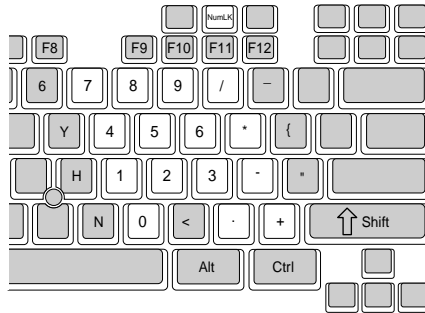
次の表で、**Fn** キーと組み合わせが可能なキーの機能を示します。

機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
省電力機能		
バッテリーメーター・プログラム表示のオンおよびオフ 	<b>Fn+F2</b> (Windows 98、Windows 95 および Windows NTのみ)	このキーの組み合わせを使用すると、バッテリーの残量を示すウィンドウが表示されます (または消えます)。バッテリー残量のパラメーターを設定することができます。  注: このキーの組み合わせを使用するには、事前にバッテリーメーター・プログラムを始動しておく必要があります。  バッテリーメーター・プログラムを始動する手順は、次のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「スタート」ボタンをクリックします。</li> <li>2. マウス・ポインターを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「バッテリーメーター」をクリックします。</li> </ol>
パワー・モードの切り替え 	<b>Fn+F11</b>	ThinkPad の省電力機能により、パワー・モードが次のように変化します。 
バッテリー使用時の省電力機能		
スタンバイ・モード 	<b>Fn+F3</b>	ThinkPad はスタンバイ・モードになります。このモードに関する詳細は、 <a href="#">オンライン・ユーザーズ・ガイド</a> を参照してください。
サスペンド・モード 	<b>Fn+F4</b>	ThinkPad はサスペンド・モードになります。このモードに関する詳細は、 <a href="#">オンライン・ユーザーズ・ガイド</a> を参照してください。
ハイバネーション・モード 	<b>Fn+F12</b>	ThinkPad はハイバネーション・モードになります。このモードに関する詳細は、 <a href="#">オンライン・ユーザーズ・ガイド</a> を参照してください。
その他の機能		
LCD と外付けディスプレイの切り替え 	<b>Fn+F7</b>	外付けディスプレイが接続されている場合、ThinkPad の出力が次の順序で表示されます。 

## 数値キーパッド

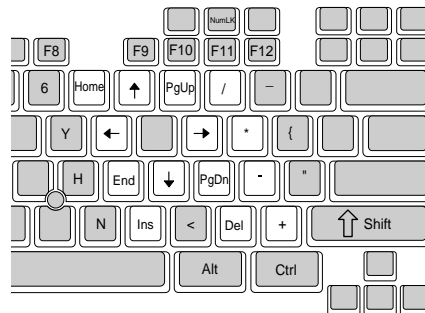
数値キーパッドの機能を使用可能にすれば、ThinkPad のキーボードの一部を数値キーパッドのテン・キーのように使用することができます。(ただし、キーボードまたは数値キーパッドを外付けで接続しているときは、キーボード上のこの数値キーパッド機能は使用できません。)

**Shift** キーを押しながら **NumLk** キーを押すと、数値キーパッドの機能を使用可能にしたり、使用不可にしたりすることができます。



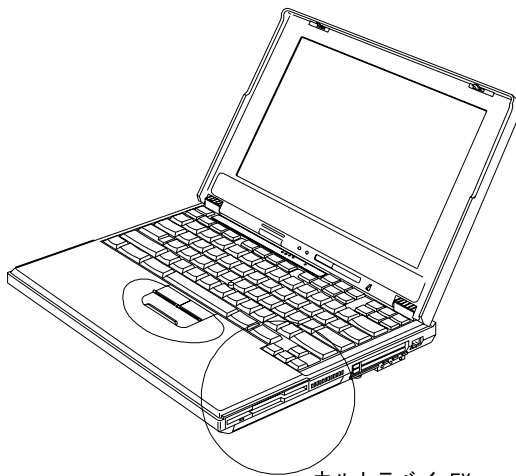
数値キーパッドとして使用しているときに、**Shift** キーを押したまま数値キーパッドの各キーを押すと、一時的にカーソル制御キーや画面制御キーとして使用することができます。

注: カーソル制御キーおよび画面制御キーの機能は、キーには印刷されていません。



## ウルトラベイ FX

ウルトラベイ FX は ThinkPad の前部右側に付いています。



ウルトラベイ FX

ウルトラベイ FX により、ThinkPad でさまざまな装置を使用することができます。ウルトラベイ FX 内のデバイスは新しいデバイス (アップグレードしたドライブやセカンド・バッテリーなど) に交換できるので、ThinkPad の柔軟性を最大限に生かすことができます。以下のデバイスをウルトラベイ FX に取り付けることができます。

- FD/CD-ROM ドライブ
- FD/4 倍速 DVD ドライブ
- セカンド・バッテリー・パック
- セカンド・ハード・ディスク・ドライブ

注: ウルトラベイ FX デバイス・オプションは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めになれます。

ウルトラベイ FX デバイスの交換方法については、61ページの『ウルトラベイ FX デバイスの交換』を参照してください。

## CD-ROM ドライブ

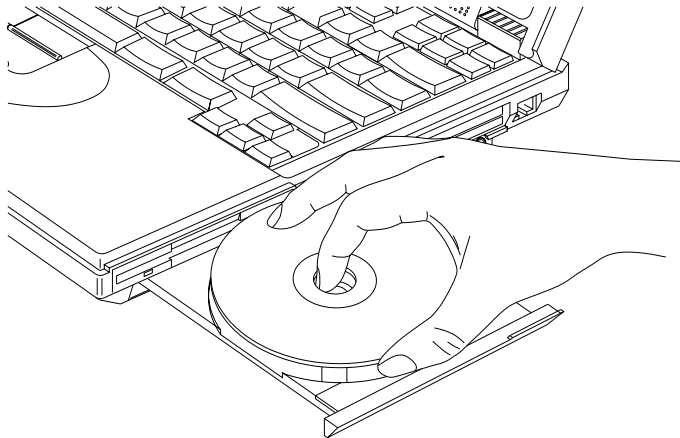
ThinkPad 390X には、FD/CD-ROM ドライブが標準装備されています。CD-ROM ドライブはコンパクト・ディスク (CD) を使用することができます。

次の CD が ThinkPad によってサポートされています。

- 音楽 CD
- フォト CD
- CD-ROM または CD-ROM XA
- ビデオ CD

CD-ROM ドライブを使用する手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad の電源をオンにします。
2. ThinkPad の側面にある CD-ROM イジェクト・ボタンを押して、CD-ROM トレイを引き出します。
3. CD を中央の回転軸に合わせます。カチッと音がして CD が正しい位置に収まるまで、CD の中央部をしっかりと押します。

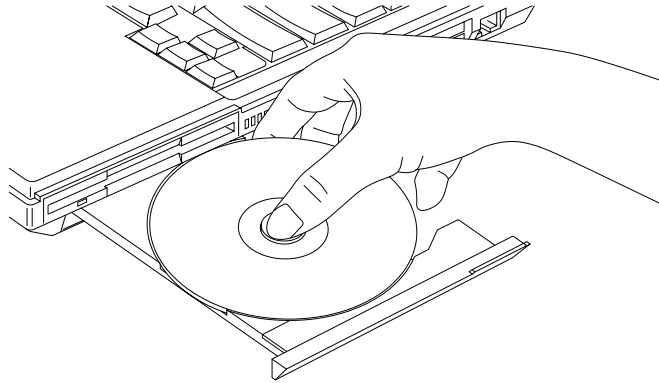


- 4.しっかりと閉じるまで、トレイを ThinkPad の中に押し込みます。

CD のデータへのアクセス方法は、その CD のタイプにより異なります。

CD を取り出す手順は、次のとおりです。

1. その CD のアプリケーション・プログラムを終了します。
2. ThinkPad の側面にある CD-ROM イジェクト・ボタンを押して、CD-ROM トレイを引き出します。
3. 回転軸を押さえながら CD の端をもって静かに引き上げます。



4. しっかりと閉じるまで、トレイを ThinkPad の中に押し込みます。

### CD の取り扱い方法

CD は高密度の媒体です。CD の取り扱いには十分な注意を払い、手入れを行って、データを正確に読み取れるようにしておく必要があります。CD の信頼性を維持するには、次のことを守ってください。

- CD は必ず端を持ってください。CD の記録面に触れないでください。
- CD の汚れや指紋を取るには、乾いたやわらかい布でディスクの中央から外側に向かってふき取ります。CD の上を回転するようにふくと、データを損失する原因となります。
- CD の記録面には何も書かないでください。
- CD を直射日光の当たる場所に保管したり、置いたりしないでください。
- CD の汚れを落とすときに、ベンジン、シンナー、またはその他のクリーナーを使用しないでください。必ず、市販の CD-ROM クリーナーをご使用ください。
- CD を曲げたり折ったりしないでください。

注: これらの取り扱い上の注意は DVD にも適用されます。

## ThinkPad ユーティリティ・プログラム

ThinkPad には、次のユーティリティ・プログラムが用意されており、簡単に構成できるようになっています。

- BIOS Setup Utility
- 「ThinkPad の設定」プログラム

ここでは、これらのユーティリティ・プログラムの概要について説明します。

### *BIOS Setup Utility*

ThinkPad はさまざまなセットアップ・パラメーターを選択することのできる BIOS Setup Utility を提供しています。

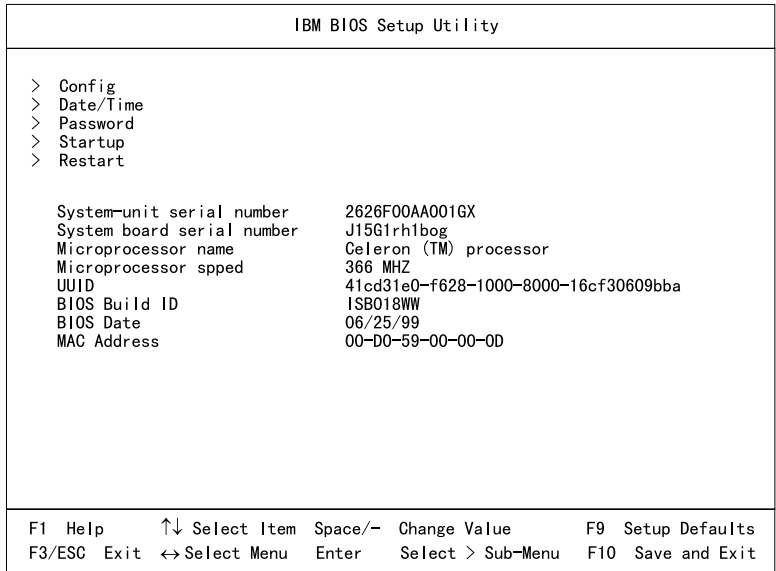
- 「**Config**」：ご使用の ThinkPad の構成を設定します。
- 「**Date/Time**」：日付と時刻を設定します。
- 「**Password**」：パスワードを設定します。
- 「**Startup**」：始動デバイスの優先順位を設定します。
- 「**Restart**」：システムを再始動します。

BIOS Setup Utility を開始するには、以下のようにします。

1. ディスケット・ドライブからディスクを取り出し、また CD-ROM ドライブから CD を取り出した後、ThinkPad の電源をオフにします。
2. ThinkPad の電源をオンにし、IBM ThinkPad ロゴが表示されている間に **F1** を押します。

「BIOS Setup Utility」メニューが表示されます。

注： 以下の画面は「BIOS Setup Utility」メニューの参考例です。この画面の各項目は、ご使用のコンピューターの構成によっては異なる場合があります。



3. 矢印キーを使用して変更したい項目まで移動し、**Enter** を押します。

サブメニューが表示されます。

4. 変更したい項目を変更します。

項目の値を変更するには、スペース・キー、**Shift + ^** キー、または **-** キーを使用します。

5. サブメニューを終了するには、**Esc** を押します。

注: さらに先のサブメニューの中にいる場合は、「BIOS Setup Utility」メインメニューが表示されるまで **Esc** を押します。

6. **F10** を押し、**Enter** を押すと、変更した項目が保管され、「BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: 変更事項を破棄したい場合は、34ページの『Restart』の破棄オプションを使用してください。



**Config:** 「**Config**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Config」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Config	Item Specific Help
> Memory > System Board > Network Initialize > Advanced Setup	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Value    F9 Setup Defaults F3/ESC Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

「Config」サブメニューには次の項目が含まれています。

- 「**Memory**」は、「Memory」サブメニューに入ります。
- 「**System Board**」は、「System Board」サブメニューに入ります。
- 「**Network**」は、「Network」サブメニューに入ります。
- 「**Initialize**」は、BIOS Setup Utility の全パラメーターのデフォルト値をロードします。
- 「**Advanced Setup**」は、「Advanced Setup」サブメニューに入ります。

## Memory

「**Memory**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Memory」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Memory	Item Specific Help
Installed memory    65536 KB Usable memory       64768 KB	
F1    Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Value    F9 Setup Defaults F3/ESC Exit    ↔ Select Menu    Enter    Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

このサブメニューはコンピューターのメモリー情報を表示します。

## System Board

「**System Board**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「System Board」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
System Board	Item Specific Help
BIOS Version:           ISB017WW VideoBIOS Version:   V1.17.01.19 Slave Controller Version: 01.29.10	
F1    Help   ↑↓ Select Item   Space/- Change Value   F9   Setup Defaults F3/ESC Exit   ↔ Select Menu   Enter   Select > Sub-Menu   F10 Save and Exit	

このサブメニューはコンピューターのシステム・ボードに関する情報を表示します。

## Network

「**Network**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Network」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Network	Item Specific Help
Wake On LAN [Enabled] Flash Over LAN [Enabled]	

F1 Help ↑↓ Select Item Space/- Change Value F9 Setup Defaults  
F3/ESC Exit ↔ Select Menu Enter Select > Sub-Menu F10 Save and Exit

「Network」サブメニューには次の項目が含まれています。

- **Wake On LAN** は、システム管理者がネットワークを介してリモート側からコンピューターの電源を入れることができます。
- **Flash Over LAN** は、システム管理者がネットワークを介してコンピューターの BIOS を更新することができます。

## Advanced Setup

注: ユーザーのためにデフォルト設定値がすでに最適化されているため、画面上の設定値を変更する必要はありません。値を変更すると、デバイスの競合を生じる場合があり、またオペレーティング・システムが正しく起動しない場合があります。

「**Advanced Setup**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Advanced Setup」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Advanced Setup	Item Specific Help
> Serial Port > InfraRed > Modem for Legacy OS > Parallel Port > PCI > Keyboard/Mouse > Power > Others	
F1 Help ↑↓ Select Item Space/- Change Value F9 Setup Defaults F3/ESC Exit ↔ Select Menu Enter Select > Sub-Menu F10 Save and Exit	

「Advanced Setup」サブメニューには次の項目が含まれています。

- 「**Serial Port**」は、シリアル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- 「**Infra Red**」は、赤外線ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- 「**Modem for Legacy OS**」は、DOS や Microsoft Windows 3.1 などの非プラグ・アンド・プレイ・オペレーティング・システムをご使用の場合、モデム・ポートのリソース値を設定できるサブメニューに入ります。ただし、ご使用の ThinkPad には該当しません。
- 「**Parallel Port**」は、パラレル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- 「**PCI**」は、PCI 装置のために ISA IRQ ラインを調整するサブメニューに入ります。
- 「**Keyboard/Mouse**」は、キーボードおよびマウスの値を設定するサブメニューに入ります。
- 「**Power**」は、電源管理に関する値を設定するサブメニューに入ります。

- 「**Others**」は、その他のハードウェア・オプションを設定するサブメニューに入ります。

**Date/Time:** 「**Date/Time**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Date/Time」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility		
Date/Time		Item Specific Help
System Time	[16:10:25]	
System Date	[06/26/1999]	
F1 Help	↑↓ Select Item	Space/- Change Value
F3/ESC Exit	↔ Select Menu	Enter Select > Sub-Menu
		F9 Setup Defaults
		F10 Save and Exit

日付と時刻を変更する手順は、次のとおりです。

1. 上矢印または下矢印キーを押して変更する項目、日付または時刻、を選択します。
2. **Tab** または **Enter** を押し、フィールドを選択します。
3. 日付または時刻を入力します。

注: 入力を行う代わりに、**- (マイナス)** または **スペース・キー** を押して、日付または時刻を調整することもできます。

4. **F10** を押し、**Enter** を押すと、「BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: ThinkPad にインストールされているオペレーティング・システムのアプリケーションを使用して、現在の日付および時刻を設定することもできます。

**Password:** 「**Password**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Password」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Password	Item Specific Help
Set Power-On Password [Enter] Set Hard Disk1 Password [Enter] Set Hard Disk2 Password [Enter] Set Supervisor Password [Enter]	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Value    F9 Setup Defaults F3/ESC Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

このサブメニューは、始動パスワード、ハード・ディスク・パスワード、およびスーパーバイザー・パスワードを設定するために使用します。詳細については、92ページの『パスワードの使用』を参照してください。

**Startup:** 「**Startup**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「**Startup**」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Startup	Item Specific Help
> Power On > Network	
F1 Help ↑↓ Select Item Space/- Change Value F9 Setup Defaults F3/ESC Exit ↔ Select Menu Enter Select > Sub-Menu F10 Save and Exit	

「Startup」サブメニューには次の項目が含まれています。

- 「**Power On**」は、「Power On」サブメニューに入ります。
- 「**Network**」は、「Network」サブメニューに入ります。



## Power On

「Power On」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Power On」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Power On	Item Specific Help
+Removable Devices ATAPI CD-ROM Drive +Hard Drive Network Boot	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Value    F9 Setup Defaults F3/ESC Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

この「Power On」サブメニューは、ThinkPad のドライブの始動優先順序を変更するのに使用します。たとえば、複数の着脱式ハード・ディスクや CD-ROM に複数のオペレーティング・システムがインストールされている場合は、それらのデバイスのどれからシステムを始動することができます。

注: ThinkPad 390X は、ウルトラベイ FX にインストールすることのできる、別売りのセカンド・ハード・ディスク・ドライブをサポートしています。セカンド・ハード・ディスク・ドライブは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めになれます。

考慮事項: 始動優先順序を変更した後は、コピー、保管、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。

## Network

「**Network**」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Network」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Network	Item Specific Help
Network Boot +Removable Devices +Hard Drive ATAPI CD-ROM Drive LANDesk (R) Service Agent II Turbo 16/4 T-Ring PC Card RPL	
F1 Help   ↑↓ Select Item   Space/- Change Value   F9 Setup Defaults F3/ESC Exit   ↔ Select Menu   Enter   Select > Sub-Menu   F10 Save and Exit	

この「Network」サブメニューは、Wake On LAN が使用可能の場合に、ThinkPad のドライブの始動優先順序を変更するのに使用します。

注:

1. Wake On LAN は、通常、LAN 管理者がネットワークを介してリモートで ThinkPad にアクセスするときに使用します。
2. 「LANDesk (R) Service Agent II」オプションは、ThinkPad 拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) におけるネットワーク機能を指します。

考慮事項: 始動優先順序を変更した後は、コピー、保管、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。

始動優先順序の変更

始動優先順序を変更する手順は、次のとおりです。

1. 上矢印または下矢印キーを押して、変更する項目を選択します。
2. **Shift + ^** キーまたは **-** キーを押して、優先順位リスト中の項目を上下に移動します。

注: 項目の前に「+」符号がある場合は、そのカテゴリ内にサブ項目があることを意味します。**Enter** キーを押して項目を拡張します。**Shift + ^** または **-** キーを使用して、優先順位リスト中のサブ項目を上下に移動します。**Enter** キーを押して項目を縮小します。

3. 変更したいその他の項目についても、ステップ 1 と 2 を繰り返します。
4. **F10** を押し、**Enter** を押すと、「BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

始動優先順序内の装置を使用可能または使用不可にするには、以下のようになります。

1. 上矢印または下矢印キーを押して、削除する項目を選択します。
2. 「**Shift**」キーを押しながら「**1**」キーを押して、装置を使用可能または使用不可にします。
3. 使用可能または使用不可にしたいその他の項目についても、ステップ 1 と 2 を繰り返します。
4. **F10** を押し、**Enter** を押すと、「BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

**Restart:** 「Restart」項目を選択し、**Enter** を押すと、次の「Restart」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Restart	Item Specific Help
Exit Saving Changes Exit Discarding Changes Discard Changes Save Changes	
F1 Help ↑↓ Select Item Space/- Change Value F9 Setup Defaults F3/ESC Exit ↔ Select Menu Enter Select > Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューには次の項目が含まれます。

- **Exit Saving Changes:** は、変更事項を保管して「BIOS Setup Utility」を終了します。
- **Exit Discarding Changes:** は、変更事項を破棄して「BIOS Setup Utility」を終了します。
- **Discard Changes:** は変更を破棄します。
- **Save Changes:** は変更事項を保管します。

再始動オプションを選択し、**Enter** を押します。

## ThinkPad の設定プログラム

「ThinkPad の設定」プログラムを使うと、ThinkPad の内蔵デバイスを必要に応じてセットアップしたり、カスタマイズすることができます。たとえば、ポートを使用可能または使用不可にしたり、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイを切り替えたり、省電力機能を設定したりすることができます。

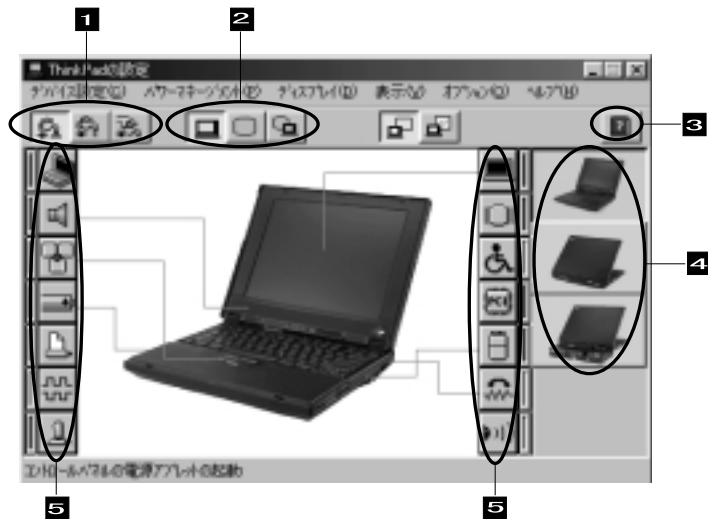


「ThinkPad の設定」プログラムを始動するには、タスクバーの右側にある「ThinkPad」アイコンを見つけ、それをダブルクリックしてください。

注： また、次の手順に従って、「ThinkPad の設定」プログラムを始動することもできます。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを、「プログラム」、  
「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad  
の設定」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



(実際の画面とは異なることがあります。)

- (1) 「パワー・モード」ボタン  
これらのボタンのどれかをクリックして、パワー・モードを「ハイ・パフォーマンス・モード」、「オート・モード」、または「カスタマイズ・モード」のいずれかに設定します。
- (2) 「ディスプレイ装置」ボタン  
これらのボタンのどれかをクリックして、画面の表示先を LCD、外付けディスプレイ、または LCD + 外付けディスプレイのどれかに設定します。
- (3) 「ヘルプ」ボタンで、オンライン・ヘルプが表示されます。
- (4) 「描写方向」ボタン  
ThinkPad の前面または背面を表すボタンをクリックして、ハードウェアの位置を表示することができます。
- (5) 「デバイス」ボタン  
ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の赤いインジケーターがオンになります。このインジケーターがオフのときは、そのデバイスは使用できません。

## オンライン・ユーザーズ・ガイド

ThinkPad には、オンライン・ユーザーズ・ガイドの機能があり、外出中でも指先の操作だけで重要情報が得られるようになっています。オンライン・ユーザーズ・ガイドには、次の情報が入っています。

- 海外での ThinkPad の使用
- オーディオ機能および DVD の使用
- ThinkPad の保護
- ThinkPad でのバッテリー・パックの使用
- ThinkPad での PC カードの使用
- システム・リソースについて
- 問題が起こったら
- ソフトウェアのインストール
- システム管理機能の使用
- ThinkPad の取り扱い
- サービス体制

オンライン・ユーザーズ・ガイドを開始するには、「スタート」をクリックし、マウス・ポインターを「プログラム」に移動し、「**ThinkPad** オンライン・ユーザーズ・ガイド」をクリックします。

オンライン・ユーザーズ・ガイドが表示されます。参照したい項目に進み、必要に応じて印刷してください。

## ソフトウェアの再インストール

システムのバックアップを作成したり、オペレーティング・システムを再インストールできるように、ThinkPad には次の用意があります。

注: これらの機能は、Windows 98、Windows NT および Windows 95 に関するものです。それ以外のオペレーティング・システムを使用している場合は、ThinkPad Web サイトからデバイス・ドライバーを入手してください(39ページの『最新のソフトウェアの入手先』を参照してください)。

- 導入済みアプリケーション CD
- Product Recovery CD
- ConfigSafe
- ThinkPad Web サイトでの最新のサポート・ソフトウェアの提供

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復については、140ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』を参照してください。

### 導入済みアプリケーション CD

この CD-ROM は、主に初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアおよびデバイス・ドライバー、そしていくつかのアプリケーション・プログラムを再インストールする場合に使用します。

### Product Recovery CD-ROM

誤ってハード・ディスクの内容を削除または損傷してしまった場合は、「Recovery CD-ROM」(以下、リカバリー CD) を使って、初期インストールされているハード・ディスクの内容を、購入時の状態に回復することができます。(「リカバリー CD」の使用方法については、140ページの『リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) の使用』を参照してください。)



## ConfigSafe

ConfigSafe とは、Windows 98, Windows 95 または Windows NT 用のアプリケーションの 1 つです。これは、システム設定情報を定期的に保存するものです。たとえば、新しいデバイス・ドライバやソフトウェアのインストール後に ThinkPad が正しく作動しなくなったときに、ConfigSafe を使用すると、インストール前のシステム設定情報のバージョンが復元されます。この状態で ThinkPad をもう一度起動させることが可能です。

## 最新のソフトウェアの入手先

IBM では次の Web サイトで、最新のハードウェア・デバイス・ドライバおよびシステム BIOS を提供します。

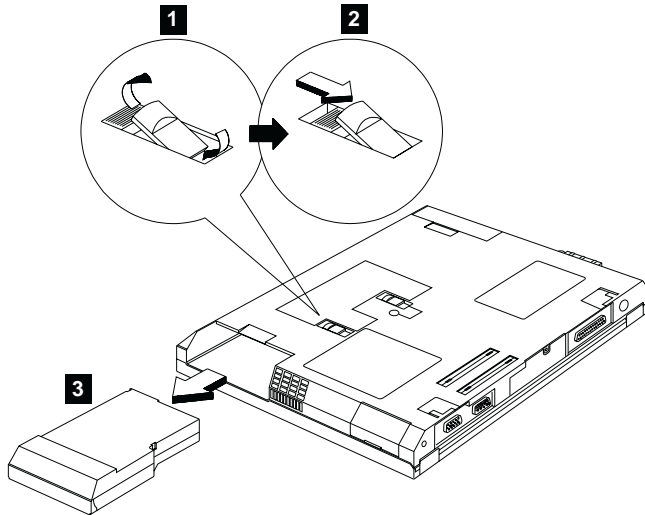
<http://www.ibm.com/jp/pc/home/download.html>

最新のソフトウェアの入手方法については、*オンライン・ユーズーズ・ガイド* を参照してください。

## バッテリー・パックの交換

バッテリー・パックを交換する手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad の電源をオフにします。
2. AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
3. 液晶ディスプレイを閉じて ThinkPad を裏返します。
4. バッテリー・パック・ラッチをロック解除の位置にスライドして保持し (1)(2)、バッテリー・パックを取り外します (3)。



5. 新しいバッテリー・パックを取り付けるには、バッテリー・パックをバッテリー用スペースに挿入します。バッテリー・パック・ラッチが自動的に所定位置に固定されます。

これで、バッテリー・パックの交換が完了しました。

注: バッテリー・パックは、ThinkPad がハイバネーション・モードになっているとき、または ThinkPad の電源がオフになっているときに交換できます。PC カードを使っている場合は、ThinkPad がハイバネーション・モードに入らない場合があります。入らない場合は、ThinkPad の電源をオフにしてください。

AC アダプターが ThinkPad に電源を供給しているときは、ThinkPad の電源を切らずにバッテリー・パックを交換することができます。バッテリー・パックはウルトラベイ FX 内に取り付けることもできます (61 ページの『ウルトラベイ FX デバイスの交換』を参照)。

## サービスに関するヒント

ThinkPad は、通常の使用環境において十分な耐久性を持ち、高い信頼性をもって機能するように設計され、テストされています。このコンピューターは、適切に使用し、ここに記載されている注意に従えば、快適かつ生産的に長期間ご使用いただくことができます。

### ThinkPad の取り扱い

ノート型パソコンは精密機器のため、取り扱いには注意が必要です。IBM ThinkPad は、通常の操作環境では、問題なく動作するように設計され、テストされた丈夫なノート型パソコンですが、取り扱いには多少の注意が必要です。

### 避けていただきたいこと

- ThinkPad の操作中やバッテリーの充電中に、ThinkPad 本体をひざや身体の一部に長時間接触させないでください。通常の操作中、ThinkPad は少量の熱を発生します。身体に長時間接触させると、その部分が熱くなったりやけどをする場合もあります。
- ThinkPad を落とす、ぶつけるなど、物理的な衝撃を与えないでください。
- ThinkPad の上に重い物を置かないでください。
- ThinkPad の上に液体をこぼさないでください。
- ThinkPad を水の近くや水中で使用しないでください (感電の恐れがあります)。
- ThinkPad を荷物がいっぱい詰まったスーツケースやバッグに入れしないでください (圧力で内部が損傷する可能性があります)。
- ThinkPad を分解しないでください。ThinkPad を分解し、修理できるのは、専門の修理サービス技術者だけです。
- ThinkPad の LCD の表面を引っかいたり、ねじったり、たたいたり、押したりしないでください。
- LCD とキーボードの間、あるいはキーボードの下に物を置かないでください。
- LCD の部分を持って ThinkPad を持ち上げる。LCD が開いた状態で ThinkPad を持ち上げる場合は、底 (キーボード) 側を持ってください。

- LCD を開いた状態または閉じた状態しておくために、ラッチを改造したり、ラッチにテープを貼ったりしないでください。
- AC アダプターが接続されているときに、ThinkPad を裏返さないでください。アダプター・プラグが損傷する可能性があります。
- 温度が 5° C 以下または 35° C 以上になる場所で、ThinkPad を使用または保管しないでください。
- モーター、磁石、テレビ、冷蔵庫、大型スピーカーなど、強い電磁波を発する電気器具から、13 cm 以内に ThinkPad を近づけないでください。
- 激しく振動する場所、たとえば車内などに、ThinkPad を常置しないでください。
- ThinkPad から取り外している外付けまたは着脱式のハード・ディスク、ディスク・ドライブ、および CD-ROM ドライブなどをぶつけたり、落としたりして、物理的衝撃を与えないでください。
- ディスケット・ドライブや CD-ROM ドライブの中央部分を押さないでください。
- ディスケットをディスク・ドライブに入れるときに、斜めに入れしないでください (ディスクをまっすぐに入れないと、ドライブを損傷する恐れがあります)。
- ディスケットに複数のラベルを重ねて貼らないでください。複数のラベルや取れかかったラベルは、ドライブ内ではがれたり破れたりして、引っ掛かってしまう可能性があります。
- CD-ROM トレイのレンズに触れないでください。コンパクト・ディスクの縁を持たずに表面に触れないでください。
- ThinkPad の上に、電源を入れた携帯電話を置かないでください。

## 行っていただきたいこと

- コンピューター内のドライブを交換したら、プラスチックのベゼル・フェース (付属している場合) を再び取り付けてください。
- 使用しない外付けおよび着脱式ハード・ディスク、ディスク、および CD-ROM ドライブは、適当な容器に入れるか、包装して保管してください。

- ハード・ディスクまたはウルトラベイ FX 装置を取り付けるときは、装置に表示された位置以外は押さないようにしてください。
- 装置をウルトラベイ FX に取り付けるときは、AC アダプターを必ずコンピュータから外しておいてください。
- キャリング・ケースは、コンピュータが適切に保護される高品質のものをお選びください。ThinkPad を、精密電子機器として取り扱ってください。
- IBM にお客様登録をしてください。登録していただいたお客様には、IBM からさまざまなお知らせをさせていただく場合があります。
- ビニール袋などによる窒息の危険を回避するため、梱包材を、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ThinkPad に関する最新情報を入手するために、定期的に IBM の web ページをチェックしてください (URL は <http://www.ibm.com/jp/pc/thinkpad> です)。

## ThinkPad の持ち運び

ThinkPad を持ち運ぶときは、次の指示に従って本体およびデータを損傷させないように注意してください。

1. CD-ROM ドライブやディスクット・ドライブから CD-ROM やディスクットをすべて取り出してください。
2. 本体に接続しているデバイスの電源をすべてオフにしてください。
3. ThinkPad の電源をオフにして LCD を閉じてください。
4. 本体に外付けで接続しているケーブルやコード類をすべて抜いてください。
5. ThinkPad の開閉箇所やカバーがすべて閉じていることを確認してください。
6. 適度なクッションと保護の役目をする高品質のキャリング・ケースを使用してください。

## ThinkPad のお手入れ

ときどき ThinkPad を以下のように清掃してください。

- 中性洗剤を含ませた柔らかい布で本体の外側をふきます。

- LCD やキーボードに洗剤を直接吹き付けしないでください。
- LCD を、乾いた柔らかい布で軽くふきます。

## バッテリーの寿命を長もちさせるには

ThinkPad で消費される電力は、使用頻度、操作環境の温度、使用されない場合の期間などの条件によって変動します。次に示すヒントを守ることで、バッテリーの寿命を長持ちさせることができます。

- 新しいバッテリーをはじめて充電する場合は、電池の化学的特性により、フル充電できないことがあります。バッテリー容量を最大限にするには、バッテリーの充放電 (フル充電後、完全に使いきる動作) を 3 回繰り返してください。これにより、バッテリーの性能が完全に発揮されます。バッテリーを数カ月使用しなかった場合も、同じ処置をとってください。
- 電力が残っている間は、バッテリー・パックを充電しないでください。完全に放電されていないバッテリー・パックを再充電すると、バッテリーの寿命を短くします。
- いったんバッテリー・パックの充電を始めたら、フル充電されるまでバッテリー・パックを使わないでください。
- 可能な限り、ThinkPad の省電力機能を使うようにしてください。
  - スタンバイ: LCD とハード・ディスクの電源がオフになります。
  - サスペンド: 電力を節約するために、すべてのタスクが停止し、メモリーに格納されます。
  - ハイバネーション: すべてのタスクが停止します。メモリー・データと ThinkPad の現在の状況がハード・ディスクに格納されてから、電源がオフになります。
- LCD の輝度を抑えてください。
- 電源管理機能を使用してください。各オペレーティング・システムには、専用の電源管理機能が付属しています。
- シリアル装置を使用していないときは、その電源は入れないでください。
- ThinkPad を長期間使用しない場合は、バッテリー・パックを取り外し、涼しい場所で保管してください。

## サービス体制

**IBM** に連絡する前に **101**ページの第**4**章、『問題が起こったら...』をお読みください。

IBM から提供される無償サービスおよび有償サービスの内容については、付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。

### *国際保証サービス*

ThinkPad 390X には、国際保証サービス (IWS) が付いています。詳細は、付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。



## 第2章 ThinkPad 機能拡張法

本書では、ThinkPad の機能をカスタマイズし、拡張する方法について説明します。外付けデバイスを接続して ThinkPad を使用したり、メモリーを増設したりすることができます。

トラックポイントのカスタマイズ	48
「プレス・セレクト」のウィンドウの使用	49
「感度」ウィンドウの使用	51
「スクロール」ウィンドウの使用	52
メモリーの増設	54
ハイバネーション機能の作成	58
ハード・ディスク・ドライブのアップグレード	59
ウルトラベイ FX デバイスの交換	61
セカンド・バッテリー・パックのインストール	63
セカンド・ハード・ディスク・ドライブの取り付け	64
外付けマウス、数値キーパッド、またはキーボードの接続	66
マウスまたは数値キーパッドの接続	66
外付けキーボードとマウスの接続	69
トラックポイントの使用不可	70
外付けディスプレイの接続	72
ディスプレイの表示モードの変更	73
表示モード	75
デュアル・ディスプレイ機能の使用	77
デュアル・ディスプレイの使用不可	78
デュアル・ディスプレイ使用時の考慮事項	79
ThinkPad へのテレビの接続	81
プリンターの接続	83
PC カードの取り付け	84
PC カードの取り外し	85
ポート・リプリケーターの使用	87
CardBus ソケットを使用可能にする (Windows 98 の場合)	88

## トラックポイントのカスタマイズ

トラックポイントをカスタマイズする手順は、次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを「設定」まで移動し、次に「コントロール パネル」をクリックします。
3. 「トラックポイント」をダブルクリックします。

「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで、次の機能を設定できます。

- プレス・セレクト
- 感度
- スクロールまたは拡大表示

注: トラックポイントの機能を使用するには、PS/2 マウスを取り外し、トラックポイントを使用可能にする必要があります。

各機能に対応するタブをクリックすると、その機能に関するウィンドウが表示されるので、そこで設定してください。

## 「プレス・セレクト」のウィンドウの使用



注: プレス・セレクト機能を使用するには、PS/2 マウスを切り離し、トラックポイントを使用可能にする必要があります。

「プレス・セレクト・オン」のボックスにチェック・マークを追加してプレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックをキーボードの左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができるようになります。

- 「ドラッグ・オン」にチェック・マークを追加すると、トラックポイントのスティックを軽く押すことで、トラックポイントで選択したアイコンをドラッグできるようになります。
- 「リリース・セレクト・オン」にチェック・マークを追加すると、トラックポイントからすばやく指を離すだけで、簡単にクリックできるようになります。マウス・ポインターをアイコン上に移動した後、トラックポイントからすばやく指を離した瞬間にクリックが入力されます。続けてトラックポイントをもう一度押すと、ダブルクリックと同様の効果が得られます。
- 「プレス・セレクトへの割り当て」プレス・セレクトに左ボタン、右ボタンのどちらかの機能をもたせるかを選択します。たとえば、「左クリック」を選択すると、ポインターをプログラムのアイコンに合わせ、トラックポイントのスティックを 2 回軽く押すことにより、そのプログラムを始動できるようになります。

## トラックポイントのカスタマイズ

スティックを押すタイミングの調節は、「クリックの速さ」で設定します。

注: クリック速度の設定を遅くし過ぎた場合は、意図しないクリック、マウス・ポインターの遅れ、またはドラッグの遅れなどが起こることがあります。また、設定を速くし過ぎた場合は、プレス・セレクトの操作が困難になります。

## 「感度」ウィンドウの使用



この機能は、マウス・ポインターとプレス・セレクトの両方の感度を同時に調節します。「重く」の方にスライドさせると、マウス・ポインターの動きは鈍くなり、プレス・セレクトは、より強く押さなければ入力できなくなります。また、「軽く」の方にスライドさせると、マウス・ポインターの動きは軽くなり、プレス・セレクトは弱く押すだけで入力できるようになります。

## 「スクロール」ウィンドウの使用



注: スクロール機能を使用するには、PS/2 マウスを取り外し、トラックポイントを使用可能にする必要があります。

「スクロール機能」タブをクリックすると、トラックポイントのプロパティを設定できます。

- 「スクロール機能の切り替え」。次のラジオ・ボタンのいずれかを選択します。

- 「スクロール」

この機能を選択すると、トラックポイントを使用して、長い文書や大きなスプレッドシートを簡単にスクロールできるようになります。スクロールをするには、スクロール・バーの代わりに、トラックポイントのセンター・ボタンを押しながら、トラックポイントを動かします。

- 「拡大表示」

この機能を選択すると、ディスプレイの一部を拡大することができます。また、拡大表示されたウィンドウを通してクリックを入力することもできます。右ボタンは、拡大表示されたウィンドウのサイズ変更 (二段階) に、左ボタンは拡大率の変更 (二段階) に使用されます。センター・ボタンを押しながら、トラックポイントを動かすことにより、拡大表示されたウィンドウを移動させることができます。

- 「オフ」

これを選択すると、スクロール機能も拡大表示機能も使用できなくなります。

- 「スクロール方法」

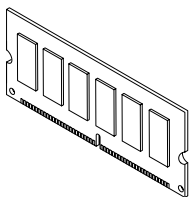
- 「センター・ボタンを押しながらトラックポイント」

キーボードのセンター・ボタンを押しながらトラックポイントを動かすことによりスクロール機能や拡大表示機能を使えるようにします。センター・ボタンが押されていないときは、トラックポイントは通常のマウスとして動作します (マウス・ポインターを制御します)。

注: 「外付けマウスを使う」および「トラックポイント」ラジオ・ボタンはサポートされていません。

## メモリーの増設

メモリーの増設は、プログラムの実行速度を速くするのに効果的な方法です。ThinkPad のメモリー容量は、オプションのメモリー・モジュール (DIMM) を増設して、増やすことができます。



さまざまな容量の DIMM を取り付けることができます。DIMM は、ThinkPad の底面にあるメモリー・スロットに直接取り付けます。ご使用の ThinkPad のメモリー容量は、256 MB まで拡張できます (128 MB DIMM オプション 2 枚使用時)。

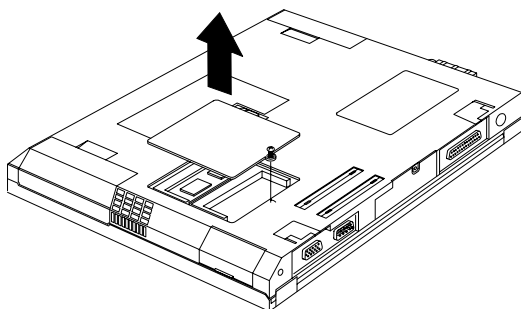
注: 基本メモリー (32 MB または 64 MB) が DIMM スロットを 1 つ占有します。

考慮事項: ThinkPad 390X は、PC-100 SDRAM カードのみをサポートします。EDO DRAM カードならびに PC-100 ではない SDRAM カードはサポートしません。ThinkPad がサポートしない DIMM を取り付けると、システムの起動時に、エラー・コードが表示される可能性があります。適切なメモリー・オプションは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めになれます。

DIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
2. LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
3. メモリー・スロット・カバーのネジを緩め、カバーを取り外します。



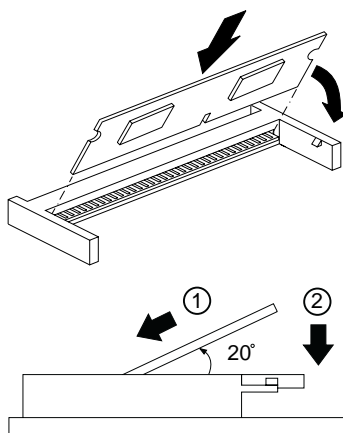


#### 4. DIMM をメモリー・スロットに取り付けます。

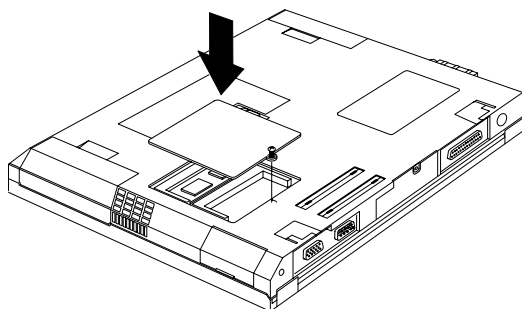
考慮事項: DIMM の損傷を避けるため、DIMM の接点部分には手を触れないでください。

- a. DIMM の切り欠きのある側を探します。
- b. DIMM の切り欠きのある側をソケットの右側の突起部分に合わせ、DIMM を約 20 度の角度でソケットに差し、奥までしっかりと押し込みます (1)。
- c. カチッと音がして正しい位置に収まるまで DIMM を手前に倒します (2)。

DIMM を 2 枚取り付ける場合は、上記のステップを繰り返します。



- #### 5. 図のように、まずメモリー・スロット・カバーの後ろ側を合わせてからカバーを元通りにメモリー・スロットの上に取り付け、ネジで締めます。



6. バッテリー・パックを元に戻します。
7. ThinkPad を元通りに表を上に向けてから、電源をオンにします。
8. 新しいメモリー・サイズが検出されたかどうかを確認します。
  - a. IBM ThinkPad ロゴが表示されている間に **F1** を押し、BIOS Setup Utility に入ります。
  - b. 「**Config**」を選択し、**Enter** を押します。
  - c. メモリー・セクションの値を確認します(57 ページを参照)。
9. これで、DIMM の取り付けは完了しました。すべてのケーブルを元通りに接続してください。

注:

1. メモリー・サイズの合計が、計算したサイズと違う場合、ThinkPad の電源をオフにし、54 ページを参照して DIMM を取り付け直します。
2. ThinkPad のメモリー容量を変更した場合は、ハイバネーション・ファイルを作成し直す必要があります。ハイバネーション・ファイルの作成方法については、58ページの『ハイバネーション機能の作成』またはオンライン・ユーザーズ・ガイドを参照してください。

## メモリー・サイズの合計の計算方法

メモリー・サイズの合計は、標準装備されているメモリー・サイズ (基本メモリーが 32 MB の ThinkPad の場合は 32384 KB) に DIMM のメモリー・サイズを加え、キロバイト (KB) で計算します。

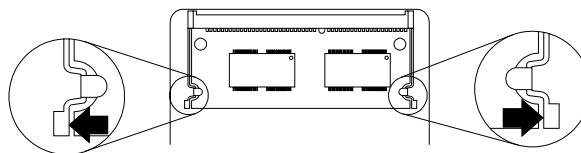
注: 384 KB は、システムで予約されています。

たとえば、32 MB 基本メモリーの ThinkPad に 32MB DIMM を取り付けただ場合のメモリー・サイズは 64 MB になります。

ThinkPad では、メモリー・サイズがキロバイトで表示される場合があります。たとえば、640 KB (システム・メモリー) + 64512 (拡張メモリー) = 65152 KB。

## DIMM の取り外し方法

1. ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターおよびその他のケーブル類を取り外します。
2. LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
3. メモリー・スロット・カバーのネジを緩めて、カバーを取り外します。
4. ソケットの両端の切り込み部分を同時に外側に押します。

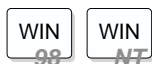


5. DIMM を取り外します。  
DIMM は安全な場所に保管しておいてください。
6. メモリー・スロット・カバーを取り付けてから、ネジを元通りに締めます。
7. バッテリー・パックを元に戻します。
8. ThinkPad を元通りにしてから、取り外した AC アダプターやケーブル類を接続し直します。


## ハイバネーション機能の作成

ハイバネーション機能を作成すると、ThinkPad はハイバネーション・モードに入ることができます。

注: ハイバネーションは OS/2 では機能しません。また、OS/2 Boot Manager がインストールされているシステム、あるいはドライブが NTFS 形式でフォーマットされている場合も機能しません。



ハイバネーション機能の作成と使用可能化の手順は次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad の設定」をクリックします。
3. 「パワー・マネージメント」(  ) アイコンをクリックします。
4. ハイバネーション機能の作成と使用可能化の手順は次のとおりです。
  - a. 「ハイバネーション・オプション」タブをクリックします。
  - b. 「ハイバネーションを有効/無効」ボタンをクリックします。

「ハイバネーションを有効/無効」ウィンドウが表示されます。
  - c. ハイバネーション・ファイルが正しく割り振られている場合は、「閉じる」をクリックします。そうでない場合は、「作成」をクリックしてハイバネーション・ファイルのサイズを確認し、「OK」をクリックし、その後「閉じる」をクリックします。「OK」を押してコンピューターを再始動します。

注: メモリー・サイズを変更する場合は、ハイバネーション機能を作り直す必要があります。前述のステップを参照してください。

## ハード・ディスク・ドライブのアップグレード

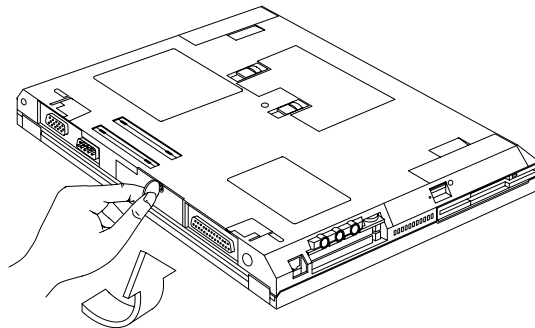
ThinkPad に標準装備されている内蔵のハード・ディスク・ドライブをオプションのハード・ディスク・ドライブと交換すると、ThinkPad の記憶容量を増やすことができます。オプションのハード・ディスク・ドライブは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めいただけます。

注: ハード・ディスク・ドライブの交換は、アップグレードや修理の目的でのみ行ってください。本機のハード・ディスク・ドライブは、たびたび交換するようには設計されていません。

考慮事項: ハード・ディスク・ドライブを落としたり、ハード・ディスク・ドライブに物理的な衝撃を与えないでください。ハード・ディスク・ドライブは、物理的な衝撃に敏感です。取り扱いを誤ると、重大な損傷やハード・ディスク・ドライブ内のデータの損失の原因となります。ハード・ディスク・ドライブを取り外す前に、ハード・ディスク・ドライブ内のすべての情報のバックアップ・コピーを作成してください。システムの作動中やサスペンド・モード中、あるいはハイバネーション・モード中には、ハード・ディスク・ドライブを絶対に取り外さないでください。

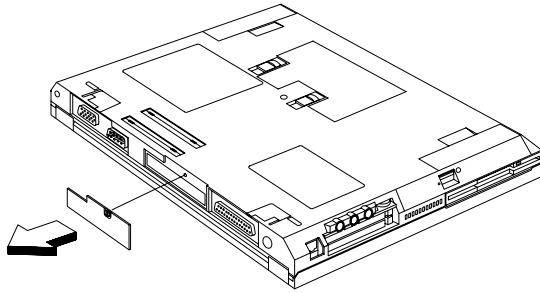
ハード・ディスク・ドライブを交換する手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
2. LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
3. 図に示されているように、コインを使ってコイン型ねじを反時計方向に回して緩めます。

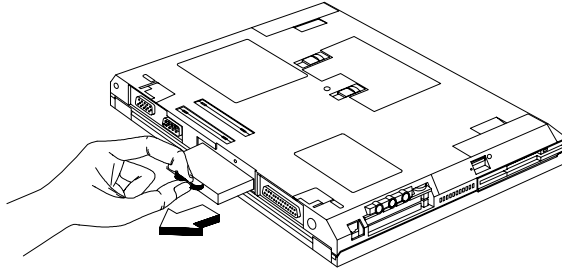


4. ハード・ディスク・カバーを取り外します。

## ハード・ディスク・ドライブのアップグレード



5. ハード・ディスク・ドライブのテープを引っ張ってハード・ディスク・ドライブを取り外します。



6. 新しいハード・ディスク・ドライブを取り付ける手順は、次のとおりです。
  - a. 新しいハード・ディスク・ドライブをベイに入れます。ドライブがしっかりと接続されていることを確認してください。
  - b. ハード・ディスク・カバーを取り付け直し、ねじを締めます。
  - c. ThinkPad を元通りの向きにして、電源をオンにします。

## ウルトラベイ FX デバイスの交換

以下の装置を ウルトラベイ FX に取り付けることができます。

- FD/CD-ROM ドライブ
- FD/4 倍速 DVD ドライブ
- セカンド・バッテリー・パック
- セカンド・ハード・ディスク・ドライブ

注: ウルトラベイ FX デバイス・オプションは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めになれます。

### ウルトラベイ FX デバイスのスワッピング

FD/CD-ROM ドライブおよび FD/4 倍速 DVD ドライブをウルトラベイ FX に対してウォーム・スワップすることができます。ウォーム・スワップとは、ThinkPad がサスペンド・モードになっているときにデバイスを取り外したり、取り付けたりすることを意味します。ウォーム・スワップは、Windows 98 または Windows 95 バージョン 4.00.950B (OSR2) オペレーティング・システムでのみ利用可能です。その他の場合では、FD/CD-ROM ドライブおよび FD/4 倍速 DVD ドライブのスワッピングを行う前に ThinkPad の電源をオフにしてください。

Windows 98 または Windows 95 バージョン 4.00.950B (OSR2) オペレーティング・システムでは、AC アダプターが ThinkPad に電源を供給しているときは、バッテリー・パックをウォーム・スワップすることができます。その他の OS では、AC アダプターが ThinkPad に電源を供給しているときは、バッテリー・パックをホット・スワップ (ThinkPad 使用中の交換) することができます。

セカンド・ハード・ディスク・ドライブをスワップするには、ThinkPad の電源をオフにする必要があります。

注: ThinkPad がハイパネーション・モードに入っている場合は、ウルトラベイ FX デバイスをスワップしないでください。

ウルトラベイ FX デバイスをスワップするには、以下のようになります。

## ウルトラベイ FX デバイスの交換

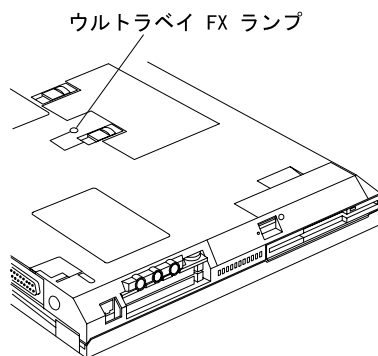
1. 作業内容を保管します。
2. ThinkPad およびウルトラベイ FX をスワップのために準備します。

ウォーム・スワップ: タスクバーの「**Swap Master**」アイコンをクリックし、次に「**Swap Bay** の変更」をクリックします。「**OK**」をクリックします。

または

ThinkPad をシャットダウンします。

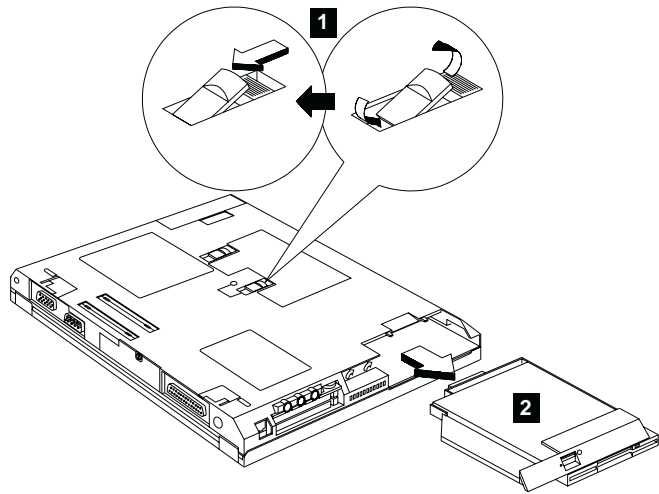
3. ウルトラベイ FX ランプが消えます。



考慮事項: ベイの LED が消えていることを確認してください。ベイの LED が点灯しているときは、ウルトラベイ FXのデバイスを絶対に取り外さないでください。

4. ウルトラベイ FX デバイス・ロックをスライドし、ロック解除位置にします (1)。次に ウルトラベイ FX デバイスを引っ張って取り外します (2)。





5. ウルトラベイ FX デバイスをベイに挿入します。

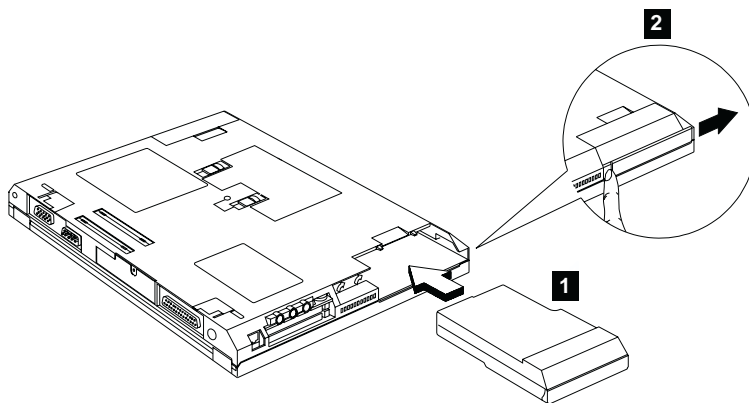
ウルトラベイ FX デバイス・ロックは自動的に所定位置で固定されます。

6. ThinkPad の電源をオンにします。

## セカンド・バッテリー・パックのインストール

セカンド・バッテリー・パックを取り付けるには以下のようにします。

1. 作業内容を保管します。
2. メイン・バッテリー・パック内に十分な残量が無い場合は、コンピューターをシャットダウンするか、コンピューターに AC アダプターを接続します。
3. セカンド・バッテリー・パック (1) をウルトラベイ FX に挿入します。



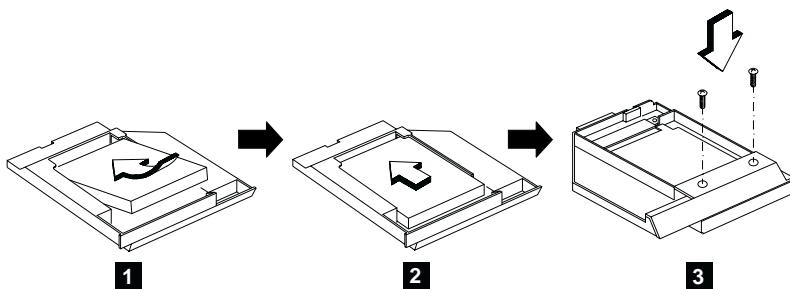
ウルトラベイ FX デバイス・ロックは自動的に所定位置で固定されます。

4. バッテリー・パック拡張カバー (2) をスライドさせて取り付けを完了します。

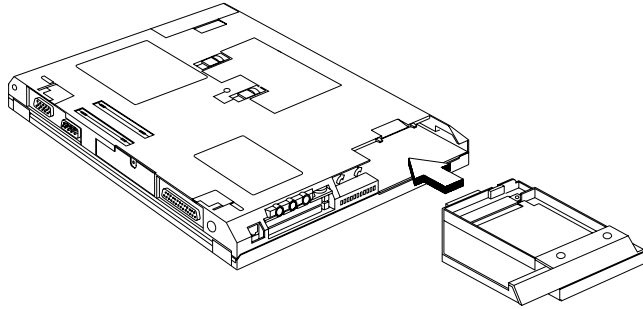
## セカンド・ハード・ディスク・ドライブの取り付け

セカンド・ハード・ディスク・ドライブを取り付けるには、以下のようにします。

1. 作業内容を保管し、コンピューターをシャットダウンします。
2. ハード・ディスク・ドライブをハード・ディスク・ドライブ・ベイ・アダプターに以下のようにして取り付けます。(1) ハード・ディスク・ドライブをハード・ディスク・ドライブ・ベイ・アダプターに挿入します。(2) ハード・ディスク・ドライブを所定位置にスライドさせ、(3) ハード・ディスク・ドライブをハード・ディスク・ドライブ・ベイ・アダプターに固定します。



3. セカンド・ハード・ディスク・ドライブをウルトラベイ FX に挿入します。




ウルトラベイ FX デバイス・ロックは自動的に所定位置で固定されます。

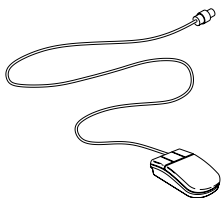
4. ThinkPad の電源をオンにします。

## 外付けマウス、数値キーパッド、またはキーボードの接続

ここでは、ThinkPad にマウス、数値キーパッド、および外付けキーボードを接続する方法について説明します。

### マウスまたは数値キーパッドの接続

外付けのマウスまたは数値キーパッドのどちらかを、ThinkPad 背面の PS/2 マウス/キーボード共通ポート(  )に接続することができます。

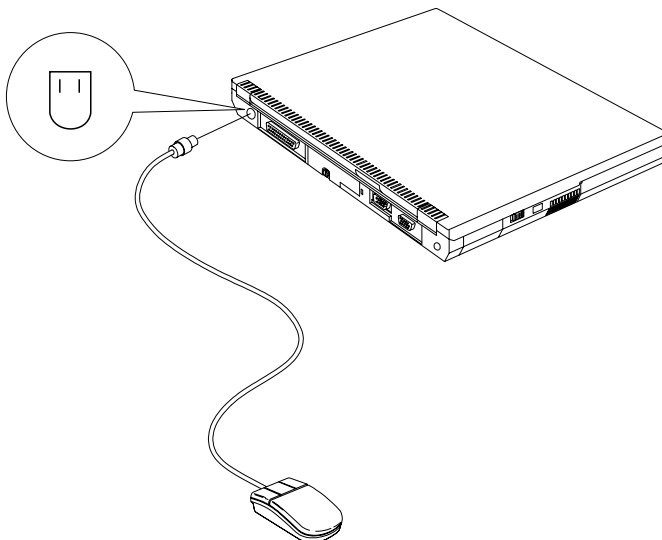


マウス



数値キーパッド

マウスを接続する場合は、図のように、PS/2 マウス/キーボード共通ポートに直接接続します。



## 外付けマウス、数値キーパッド、またはキーボードの接続

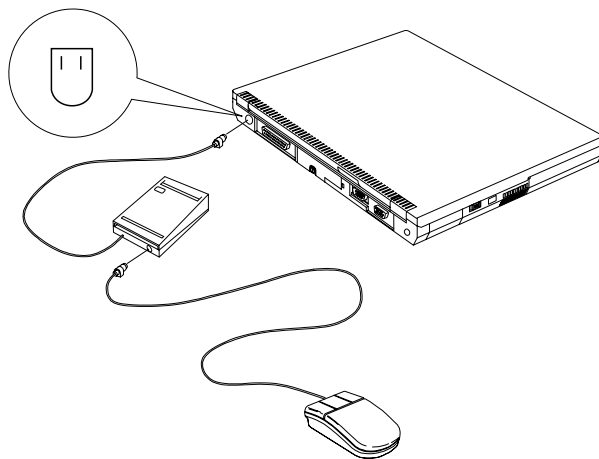
PS/2 マウスが接続されると、トラックポイントは自動的に使用不可となります。

外付けシリアル・マウスまたは USB マウスは、トラックポイントと同時に使うことができます。

注:

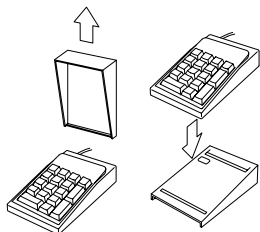
1. シリアル・マウスのデバイス・ドライバーがまだインストールされていない場合は、シリアル・マウスの接続後に、以下の手順を実施してください。
  - a. 「スタート」ボタンをクリックします。
  - b. マウス・ポインターを「設定」まで移動し、次に「コントロールパネル」をクリックします。
  - c. 「ハードウェアの追加」をダブルクリックし、シリアル・マウス・ドライバーを検索してインストールしてください。
  - d. 画面の指示に従ってください。
2. シリアル・マウスをホット・アタッチ (ThinkPad 使用中の接続) するときは、トラックポイントを使用不可にする必要があります(70ページの『トラックポイントの使用不可』を参照)。

外付け数値キーパッドとマウスを同時に使用したい場合は、まずキーパッドのケーブルを ThinkPad 本体に接続し、次にマウス・ケーブルをキーパッドの背面のコネクタに接続します。

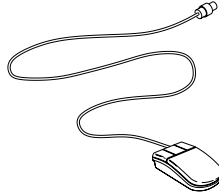


## 外付けマウス、数値キーパッド、またはキーボードの接続

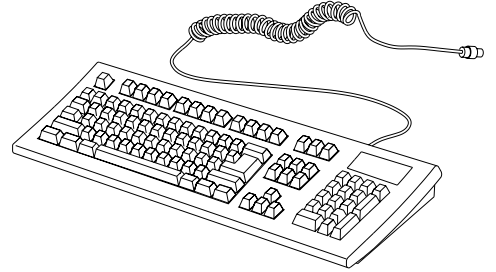
注: キーパッド・カバーを取り外し、キーパッドのスタンドとして使用できます。



## 外付けキーボードとマウスの接続



マウス



外付けキーボード

PS/2 マウス/キーボード共通ポートから直接、またはキーボード/マウス・ケーブル (オプションとして別途購入可能) を使って外付けキーボードを ThinkPad に接続することができます。

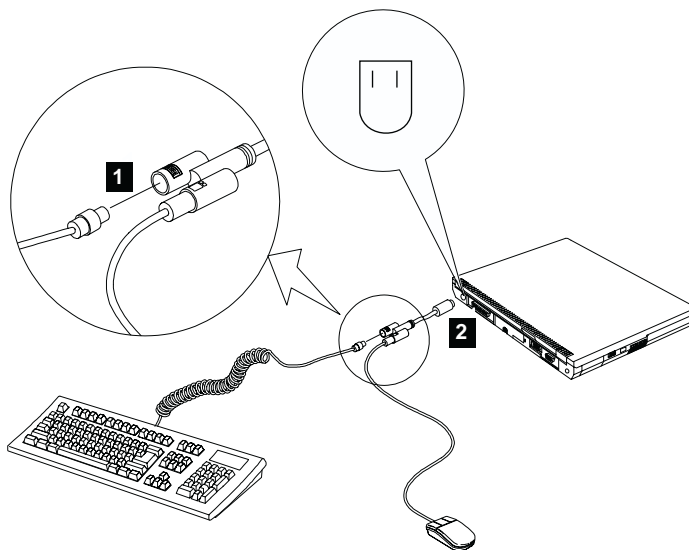
外付けキーボードを接続すると、次のキーが使用できなくなります。

- ThinkPad 本体のキーボード上の数値キーパッド
- 外付けの数値キーパッド

代わりに、外付けキーボードの数値キーパッドを使用してください。

外付けキーボードを接続する場合は、ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードをキーボード/マウス・ケーブルのキーボード・コネクタに接続してから (1)、キーボード/マウス・ケーブルを ThinkPad に接続します (2)。

マウスは、キーボード/マウス・ケーブルのマウス・コネクタに接続します。



## トラックポイントの使用不可

PS/2 マウスを接続すると、トラックポイントは自動的に使用不可となります。シリアル・マウスまたは USB マウスは、トラックポイントと同時に使うことができます。必要があれば、トラックポイントを使用不可にすることもできます。


注:

1. トラックポイントを使用不可にする前に、必ず外付けマウスを接続し、使用可能にしておいてください。
2. シリアル・マウスをホット・アタッチするときは、トラックポイントを使用不可にする必要があります。





トラックポイントを以下のようにして使用不可にします。

1. ThinkPad 構成プログラムを開始します。(35ページの『ThinkPad の設定プログラム』を参照してください。)
2. 「トラックポイント」() ボタンをクリックします。
3. トラックポイントで「無効」をクリックします。

この変更は、ThinkPadの電源をいったんオフにし、もう一度オンにすると有効になります。




## 外付けディスプレイの接続

ここでは、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイの使用方法について説明します。また、DOS のアプリケーションを使用する場合の考慮事項についても記述します。

ThinkPad の LCD は TFT (薄膜トランジスター) テクノロジーを使用しています。このタイプの LCD は、XGA (1024x768 の解像度) または、SVGA (800 x 600 の解像度) のビデオ・モードで、約 1,677 万色を出力します。

より高解像度をサポートする外付けディスプレイを接続すれば、最大 1280x1024 の解像度で表示できます。



外付けディスプレイを接続する手順は、次のとおりです。

1. 外付けディスプレイを ThinkPad の背面にある外付けディスプレイ・コネクタ (  ) に接続してから、電源コンセントに接続します。
2. 外付けディスプレイの電源をオンにします。
3. ThinkPad 構成プログラムを開始します。(35ページの『ThinkPad の設定プログラム』を参照してください。)
4. 「LCD+外部ディスプレイ」 (  ) アイコンまたは「外部ディスプレイ」 (  ) アイコンをクリックして、ディスプレイの出力先を変更します。

注:

1. VGA モード (640x480の解像度) のみをサポートする外付けディスプレイを接続する場合は、「LCD+外部ディスプレイ」を選択しないでください。選択すると、外付けディスプレイの画面が乱れて出力が表示されなかったり、ディスプレイの画面が損傷することもあります。代わりに「外部ディスプレイ」を使用してください。
2. ディスプレイの表示モードは **Fn+F7** を押すことによって変更することができます。
3. 次のようにして、ディスプレイの表示モードとディスプレイ・デバイス・ドライバーを設定します。

SVGA ディスプレイを接続する場合、サポートされるカラーや解像度に関する詳細は、75ページの『表示モード』を参照してください。

- a. **LCD** または「外部ディスプレイ」(  または  ) ボタンをクリックします。
- b. 「プロパティ」ボタンをクリックします。

ディスプレイ・リストからディスプレイ・タイプを選択するか、新しい解像度またはリフレッシュ・レートをクリックします。




注: 使用している外付けディスプレイの仕様書を参照して、サポートされている解像度とリフレッシュ・レートを調べてください。

4. ThinkPad を再起動して、新しい設定を有効にします。

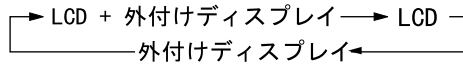
## ディスプレイの表示モードの変更

考慮事項: ムービーの再生中やゲームのプレイ中など、動画の作動中は、ディスプレイの表示モードを変更しないでください。アプリケーションをいったん終了してからディスプレイの表示モードを変更してください。

「ThinkPad の設定」プログラムを使用して、ディスプレイの表示モードを変更することができます。次の表示モードから、どれかを選択してください。

- LCD (  ): ThinkPad の出力は、ThinkPad の LCD のみに表示されます。
- 外部ディスプレイ (  ): ThinkPad の出力は、接続された外付けディスプレイのみに表示されます。  
  
ThinkPad に外付けディスプレイが接続されていないときに、表示モードを「外部ディスプレイ」に設定すると、出力は LCD に表示されます。
- LCD+外部ディスプレイ (  ): ThinkPad の出力は、LCD と接続された外付けディスプレイの両方に表示されます。

ディスプレイ表示モードは、**Fn** キー機能を使用して変更することもできます。**Fn** キーを押しながら、**F7** キーを押してください。ThinkPad の出力は、次の順で切り替わります。

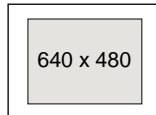


**重要**


ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、LCD には何も表示されません。この制限事項は、解像度には左右されません。

**LCD 上の DOS 画面に関する考慮事項**

ThinkPad で、VGAモード (640x480の解像度) のみをサポートしている DOS アプリケーションを使用すると、下図のように画面サイズより小さく見える場合があります。



これは、ThinkPad が DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズに拡大するには、**スクリーン・エクспанション** 機能を使用します。画面イメージを拡大す

るには、「ThinkPad の設定」プログラムの LCD ボタン(  ) をクリックし、「拡張スクリーン」のラジオ・ボタンを有効にし、そして **OK** をクリックします。ただし、表示されるイメージは、実際のイメージと多少異なって見える場合があります。

## 表示モード

ThinkPad 390X は、XGA (1024x768 の解像度) ビデオ・モードまたは SVGA (800x600 の解像度) ビデオ・モードをサポートする LCD を備えています。次の表は、ThinkPad または外付けディスプレイで使用できる各種ディスプレイ・モード (解像度および色数) を示しています。この表を使用して、表示モード (「LCD」、「外部ディスプレイ」、または「LCD+外部ディスプレイ」) を設定してください。

注: オペレーティング・システムをインストールする場合、SVGA モードを使うには ThinkPad 用のディスプレイ・ドライバーをインストールする必要があります。

- 出力を LCD または LCD と外付けディスプレイの両方に表示する場合 (「LCD」または「LCD+外部ディスプレイ」)

解像度	サポートされる色数
640x480 (VGA)	16, 256, 65,536, および 16,777,216
800x600 (SVGA)	256, 65,536, および 16,777,216
1024x768 (XGA) (14.1 インチおよび 15.0 インチ・モデルでのみ利用可能)	256, 65,536, および 16,777,216

- 出力を外付けディスプレイに表示する場合 (「外部ディスプレイ」)

解像度	サポートされる色数	フレーム速度
640x480 (VGA)	256	60 Hz, 75 Hz, または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	
800x600 (SVGA)	256	60 Hz, 75 Hz, または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	

## 外付けディスプレイの接続

解像度	サポートされる色数	フレーム速度
1024x768 (XGA)	256	60 Hz, 70 Hz, 75Hz, または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	
1280x1024	256	60 Hz

注: 外付け LCD の製品によっては、解像度や色数が制限されていることがあります。

## デュアル・ディスプレイ機能の使用

Windows 98 は マルチモニタ サポート機能を提供していますが、ThinkPad では、Windows 98 環境においてデュアル・ディスプレイ機能をサポートしています。この機能により、Windows 98 のデスクトップは出力を LCD と CRT ディスプレイの両方に表示することができます。異なるデスクトップ・イメージを各モニター上に表示することができます。

デュアル・ディスプレイを使用可能にする手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad を外部ディスプレイ (CRT) に接続します。
2. 「スタート」ボタンをクリックします。
3. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
4. 「画面」をダブルクリックします。
5. 「設定」タブをクリックします。
6. 「詳細」をクリックします。
7. 「NeoMagic」タブをクリックします。
8. 「デュアルディスプレイ設定」チェック・ボックスを選択し、「OK」をクリックします。

「NeoMagic」ウィンドウが表示され、アプリケーションの再始動がプロンプト表示されます。

9. 「はい」をクリックしてコンピューターを再始動します。
10. 「コントロール パネル」の「画面」をダブルクリックして「画面のプロパティ」ウィンドウを再び表示します。
11. 「設定」タブをクリックします。

番号の割り当てられたモニター・イメージが 2 つ表示されます。

12. 「モニター -2」アイコン (セカンダリー・ディスプレイである CRT を表す) をクリックします。
13. 「はい」をクリックして、「モニター 2」を使用可能にします。
14. 「モニター -1」アイコン (プライマリー・ディスプレイである LCD を表す) をクリックします。
15. プライマリー・ディスプレイの色数と解像度を選択します。

16. 「モニタ -2」アイコン (セカンダリー・ディスプレイ CRT を表す) をクリックします。
17. セカンダリー・ディスプレイの色数と解像度を選択します。
18. それぞれのディスプレイのアイコンをドラッグして、各モニターの相対位置を設定します。  
  
注: モニターを任意の相対位置に設定できますが、アイコンが互いに接触している必要があります。
19. 「OK」をクリックし、変更を適用します。

### デュアル・ディスプレイの使用不可

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを「設定」まで移動し、次に「コントロール パネル」をクリックします。
3. 「画面」をダブルクリックします。
4. 「設定」タブをクリックします。
5. 「モニタ -2」アイコン (セカンダリー・ディスプレイである CRT を表す) をクリックします。
6. 「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」チェック・ボックスのチェック・マークを消します。

セカンダリー・ディスプレイ (モニタ 2) が使用不可になります。

完全にデュアル・ディスプレイ機能を使用不可にはしたくない場合(たとえば現セッションの後半に使用する場合がある)は、単に「OK」をクリックし、残りのステップは飛ばしてください。その後、ディスプレイ・アイコンをクリックすると、セカンダリー・ディスプレイは使用可能になります。

完全にデュアル・ディスプレイ機能を使用不可にするには(良好なパフォーマンスと制限事項除去のため)、以下の手順を続けてください。(77 ページのステップ 12 からの手順に従うことにより、常にこの機能を使用可能に戻すことができます。)

7. 「詳細」をクリックします。
8. 「NeoMagic」タブを選択します。



9. 「デュアルディスプレイ設定」チェック・ボックスのチェックを外します。
10. 「OK」をクリックします。  
「NeoMagic」ウィンドウが表示され、アプリケーションの再始動がプロンプト表示されます。
11. 「はい」をクリックしてコンピューターを再始動します。

### デュアル・ディスプレイ使用時の考慮事項

- プライマリー・ディスプレイは常にコンピューターの LCD であり、セカンダリー・ディスプレイは CRT です。
- セカンダリー・ディスプレイの CRT は、最高 65,536 色を選択することができます。
- プライマリー・ディスプレイ (LCD) を解像度 1024x768、色数 16,777,216 色に指定した場合は、デュアル・ディスプレイを設定することはできません。
- 以下の設定値はサポートされていません。
- セカンダリー・ディスプレイは、解像度を最大 1024x768 に設定することができます。

プライマリー (LCD)	セカンダリー (CRT)
1280x1024、256 色	1024x768、65,536 色
1024x768、65,536 色	1024x768、65,536 色
800x600、16,777,216 色	1024x768、65,536 色

- DOS 全画面を表示したい場合は、プライマリー (LCD) およびセカンダリー (CRT) ディスプレイの両方共 DOS 全画面モードで表示します。
- ビデオ・クリップ (AVI または MPEG ファイル) を再生し、ウィンドウ上でマウス・ポインターを移動させると、マウス・ポインターはイメージの下に隠れます。
- DirectDraw または Direct3D を使用するアプリケーションは、全画面モード再生では、プライマリー・ディスプレイ (LCD) 上でのみ再生されます。

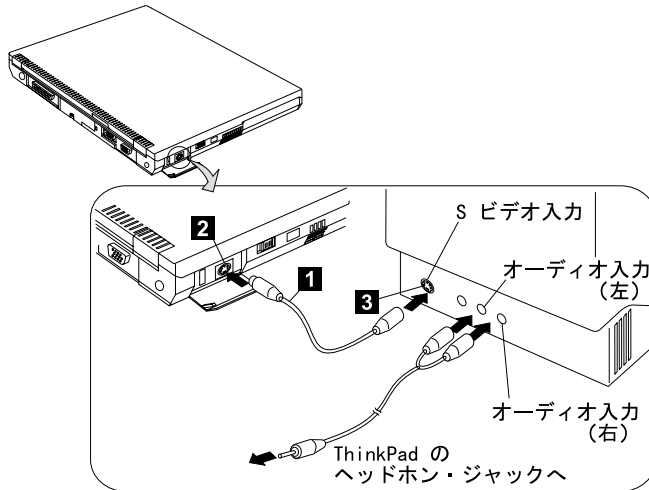
## 外付けディスプレイの接続

- デュアル・ディスプレイ・モードでは、**Fn+F7** (ディスプレイ切り換え) 機能は使用できません。

## ThinkPad へのテレビの接続

テレビ (NTSC または PAL) を ThinkPad に接続し、テレビで ThinkPad の画面を表示することができます。ThinkPad の画面をテレビに表示する手順は次のとおりです。

1. ThinkPad とテレビの電源をオフにします。
2. S ビデオ入出力ケーブル (1) を、S ビデオ出力ジャック(2) に接続し、次にテレビに接続します。



3. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。
4. 「ディスプレイ」をクリックし、次に「外付けディスプレイ」をクリックします。
5. 「設定」タブをクリックします。
6. 「詳細」ボタンをクリックします。
7. 「NeoMagic」タブをクリックします。
8. 「TV」を使用可能にします。  
「詳細」をクリックして拡張オプションを設定することができます。
9. 「OK」をクリックします。

## ThinkPad へのテレビの接続

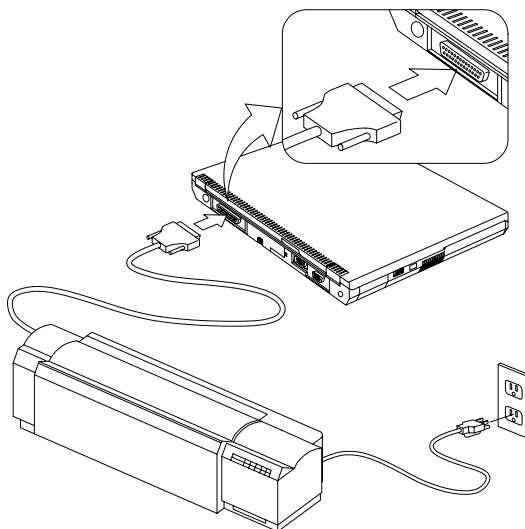
注:

1. S ビデオ入出力ケーブル (1) およびオーディオ入出力ケーブルは、ThinkPad には付属していません。別途ご購入が必要です。
2. お使いのビデオ機器にオーディオ入力コネクタが 1 つしかない場合は、オーディオ・ケーブルの左オーディオ・コネクタを使用してください。

## プリンターの接続

セントロニクス\*\* インターフェースを備えたプリンターを、コンピューター背部にある 25 ピン、パラレル・コネクタに接続することができます。

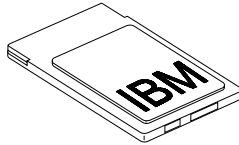
1. 以下に示されているようにプリンターを接続します。



2. プリンターをオンにします。

## PC カードの取り付け

ここでは、PC カードを取り付けて使えるようにします。

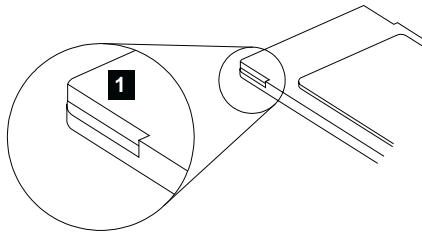


ThinkPad には 2 つの PC カード・スロット (上段スロットと下段スロット) があり、次のタイプのカードをサポートします。

- PC カード (タイプ I、タイプ II、およびタイプ III)
- CardBus
- ZV (Zoomed Video)

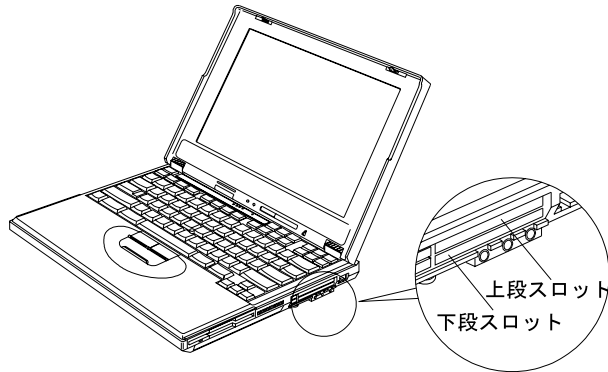
ThinkPad を PC カードに取り付けるには、以下のようにします。

1. 図のように、PC カードの切り込み (1) のある側を探します。



2. PC カードのタイプに合った PC カード・スロットに PC カードを差し込みます。

- XJACK\*\* コネクター付きの PC カードは、上段スロットに差し込んでください。
- タイプ I またはタイプ II の PC カードは、上段スロット、下段スロットのどちらかに差し込んでください。
- タイプ III の PC カードは、下段スロットに差し込んでください。



注: XJACK モデム PC カードを使用しているときは、マイクロホン入力ジャックに外付けマイクロホンを接続することはできません。

### 3. PC カードをコネクタにしっかりと差し込みます。

ウィンドウが表示され、新しいカードに関する情報を知らせます。

注: PC カード・ドライバがインストールされていない場合は、Windows 98 がそのインストールを行うための「PCMCIA カード・サービス・ウィザード」を開始します。画面の指示に従ってください。

これで、PC カードの取り付けが完了しました。すぐに PC カードを使うことができます。PC カード・サポート・ソフトウェアの使用方法については、[オンライン・ユーザズ・ガイド](#)を参照してください。

## PC カードの取り外し

PC カードを取り外す前に、それを停止しておく必要があります。そうしないと、システムが停止したり、データが壊れたり損傷したりする可能性があります。

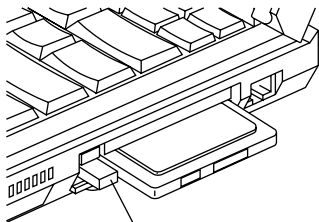
### 1. カードを停止します。

PC カードを停止するには、タスクバーの右側にある PC カードのアイコンを見つけてクリックし、次に「停止」をクリックします。詳細については、[オンライン・ユーザズ・ガイド](#)を参照してください。

注: CardSoft モードにあるとき、またはカードがすでに停止されている場合、「停止」オプションは灰色で表示されます。

## PC カードの取り付け

2. PC カード・イジェクト・ボタンを押して、飛び出させます。次に、PC カード・イジェクト・ボタンを再度押して、PC カードを取り出します。
3. PC カードを取り出し、安全な場所に保管します。



イジェクト・ボタン

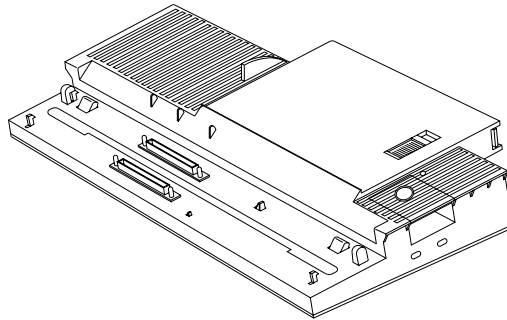
PC カードの使用に関する詳細情報は、[オンライン・ユーザズ・ガイド](#)を参照してください。



## ポート・リプリケーターの使用

注: ThinkPad の接続または取り外し方法については、ポート・リプリケーター付属のユーザズ・ガイドを参照してください。

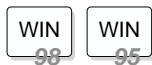
ThinkPad をポート・リプリケーターに接続した後は、ThinkPad 背面にあるすべてのコネクタが隠れてしまうため、使用することはできません。その代わりに、ポート・リプリケーターのコネクタならびに追加の機能を使用することができます。



### ThinkPad 拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き)

#### 重要

ポート・リプリケーターは AC 電源でのみ動作します。ポート・リプリケーターは、ThinkPad からのバッテリー電源で使用することはできません。ポート・リプリケーターの使用中は、AC アダプターを外さないでください。使用中に取り外すと、ThinkPad が誤動作することがあります。



**ThinkPad** がサスペンド・モードにあるとき (ウォーム・ドッキング) または **ThinkPad** の電源がオフのときに、**ThinkPad** をドッキングまたはアンドッキングすることができます。たとえば、**ThinkPad** のアンドッキングには以下の方法があります。

- 「スタート」メニューの「取り出し」を選択します (自動的にサスペンドします)。

または

- ポート・リプリケーターの「排出要求」ボタンを押します (自動的にサスペンドします。)

または

- **ThinkPad** の電源をオフにして LCD を閉じます。

注: ウォーム・ドッキングは Windows 98 または Windows 95 バージョン 4.00.950B (OSR2) オペレーティング・システムでのみ利用することができます。

**ThinkPad** がハイバネーション・モードにあるときに、ドッキングまたはアンドッキングを行わないでください。



**ThinkPad** の電源がオフのとき にも **ThinkPad** のドッキングまたはアンドッキングを行うことができます。

- **ThinkPad** の電源をオフにして LCD を閉じます。

注: **ThinkPad** またはポート・リプリケーターの電源インジケーターが点灯しない場合は、**Fn** を押します。

## CardBus ソケットを使用可能にする (Windows 98 の場合)

**ThinkPad** 拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) は、サスペンド・モードのときに **ThinkPad** を接続すると、CardBus ソケットが正しく機能しない場合があります。そのような場合、以下のようにして CardBus ソケットを使用可能にします。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを「設定」まで移動し、次に「コントロール パネル」をクリックします。

3. 「システム」をダブルクリックします。
4. 「デバイス マネージャ」をクリックし、「**PCMCIA ソケット**」をダブルクリックします。CardBus スロットが使用可能でない場合は、「**PCMCIA ソケット**」の下に、感嘆符 (!) が付いた「**Texas Instruments PCI-1250 CardBus Controller**」と「**Texas Instruments PCI-1251B CardBus Controller**」の2行が表示されます。
5. そのうちの1行をクリックし、次に「削除」ボタンをクリックします。
6. 別の1行をクリックし、次に「削除」ボタンをクリックします。
7. 「更新」ボタンをクリックします。

これで CardBus ソケットが使用可能になります。

## ポート・リプリケーターの使用

## 第3章 パスワードと盗難の予防

---

本章では、ThinkPad の盗難または不正使用を防ぐ方法について説明します。

パスワードの使用	92
パスワードの設定	94
パスワードの入力	96
パスワードの変更または消去	97
ロック機能の使用	99
セキュリティーねじの使用	100

## パスワードの使用

ThinkPad には、使用許可を受けていない人が勝手にアクセスできないようパスワード設定機能が付いています。パスワードが設定されると、ThinkPad の電源を入れるたびにパスワード・プロンプトが画面に表示され、パスワードを入力しなければなりません。正しいパスワードが入力されない、ThinkPad を使うことはできません。ThinkPad には、次のパスワードを設定することができます。

- 始動パスワード

始動パスワードは、使用許可を受けていない人が勝手に ThinkPad を使うのを防ぐためのものです。このパスワードには次のセキュリティー機能があります。

- ThinkPad の起動中、始動時に始動パスワードを入力するため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。
- サスペンドおよびハイバネーション・モードから通常の操作を再開するときにも始動パスワードを入力するため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。

- ハード・ディスク・パスワード

ハード・ディスク・パスワードは、セキュリティー機能の追加機能です。たとえ、始動パスワードを設定していたとしても、その ThinkPad のハード・ディスク・ドライブを取り外し、別の ThinkPad に取り付けられれば、ハード・ディスク・ドライブ内のデータにアクセスすることができます。しかし、ハード・ディスク・パスワードを設定していれば、そのパスワードを知らない人は、ハード・ディスク・ドライブ内のデータにアクセスできなくなります。以下の機能が提供されています。

- ThinkPad の起動中、始動時にハード・ディスク・パスワードを入力する必要があります。
- ハード・ディスク・ドライブが他の ThinkPad に移動されていても、ハード・ディスク・パスワードを始動時に入力しなければなりません。したがって、たとえハード・ディスク・ドライブが ThinkPad から取り外されても、使用許可を受けていない人はハード・ディスク・ドライブにアクセスできないこととなります。
- ハード・ディスク・パスワードは、ThinkPad がハイバネーション・モードから再開される時にも必要です。

注: システム管理者が、ハード・ディスク・パスワードを使用できない状態に設定することもできます。

- スーパーバイザー・パスワード

スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者用のツールで、多くの ThinkPad コンピューターを管理するために使われます。スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者によって設定されるものであり、ユーザーには必要ありません。ユーザーは、スーパーバイザー・パスワードを知らなくても ThinkPad を起動することができます。スーパーバイザー・パスワードは「BIOS Setup Utility」にアクセスする場合にのみ必要です。このパスワードには次のセキュリティー機能があります。

- システム管理者のみが「BIOS Setup Utility」にアクセスすることができます。スーパーバイザー・パスワードが設定されていると、「BIOS Setup Utility」を始動しようとするたびにパスワード・プロンプトが表示されます。
- たとえ始動パスワードが設定されている ThinkPad であっても、システム管理者であればスーパーバイザー・パスワードを使ってその ThinkPad にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが始動パスワードを無効にするからです。
- スーパーバイザー・パスワードは、ハード・ディスク・パスワードを上書きします。ハード・ディスクをスーパーバイザー・パスワードで保護し、使用許可を受けていない人がハード・ディスク・ドライブ内のデータにアクセスできないようにすることができます。独自のスーパーバイザー・パスワードを備えたハード・ディスク・ドライブは、異なる ThinkPad では使用できません。
- システム管理者は、同一のスーパーバイザー・パスワードを複数の ThinkPad に設定し、管理しやすくすることができます。

- その他のパスワード

一部の Microsoft のオペレーティング・システムでは、独自の Windows 用パスワードを提供しています。これらのパスワードの設定方法、変更方法、使用方法については、オペレーティング・システムのユーザーズ・ガイドを参照してください。

### パスワードを忘れないでください

スーパーバイザー・パスワードを忘れた場合、パスワードを再設定する方法はありません。IBM 特約店または IBM 営業担当員に ThinkPad をお持ちいただき、システム・ボードを交換していただくこととなります。このサービスを受けるには、購入を証明するものが必要であり、有料となります。

ハード・ディスク・パスワードを忘れた場合は、ハード・ディスクにアクセスする方法はありません。パスワードをリセットすることはできず、ハード・ディスク上の全データとファイルが失われます。IBM 特約店や IBM 営業担当員でも、ハード・ディスクを使用可能にすることはできません。ThinkPad を使用するには、ハード・ディスクの交換が必要です。この交換には、部品代と作業代がかかります。

## パスワードの設定

パスワードを設定する手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad を再始動します。
2. **F1** を押して BIOS Setup Utility に入ります。
3. 「**Password**」を選択し、**Enter** を押します。「Password」サブメニューが表示されます。



IBM BIOS Setup Utility	
Password	Item Specific Help
Set Power-On Password [Enter] Set Hard Disk1 Password [Enter] Set Hard Disk2 Password [Enter] Set Supervisor Password [Enter]	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Value    F9 Setup Defaults F3/ESC Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

- **Set Power-On Password**。これを選択すると、始動パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
  - **Set Hard Disk1 Password**。これを選択すると、ハード・ディスク・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
  - **Set Hard Disk2 Password**。これを選択すると、セカンド・ハード・ディスク・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます (セカンド・ハード・ディスクがウルトラベイ FX に取り付けられている場合にのみ使用可能)。
  - **Set Supervisor Password**。これを選択すると、スーパーバイザー・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
4. 設定しようとするパスワードのタイプを選択し、**Enter** を押します。  
「Set Password」ウィンドウが表示されます。
  5. 希望するパスワードを入力し、**Enter** を押します。

注: 英文字 ( A~Z ) と数字 ( 0~ 9 ) を組み合わせて、7 文字以内の任意の文字を使用できます。大文字と小文字 (たとえばA と a) は、同じ文字として扱われます。

パスワードを誤って入力してしまった場合は、**Backspace** キーを使用して消去し、パスワードを正しく入力し直してください。

6. ユーザーのパスワードを再度入力し、**Enter** を押してその確認を行います。

注: パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。


### パスワードを忘れないでください

スーパーバイザー・パスワードを忘れた場合、パスワードを再設定する方法はありません。IBM 特約店または IBM 営業担当員に ThinkPad をお持ちいただき、システム・ボードを交換していただくこととなります。このサービスを受けるには、購入を証明するものが必要であり、有料となります。

ハード・ディスク・パスワードを忘れた場合は、ハード・ディスクにアクセスする方法はありません。パスワードをリセットすることはできず、ハード・ディスク上の全データとファイルが失われます。IBM 特約店や IBM 営業担当員でも、ハード・ディスクを使用可能にすることはできません。この ThinkPad を使用するには、ハード・ディスクの交換が必要です。この交換には、部品代と作業代がかかります。

## パスワードの入力

始動パスワードを設定すると、画面の左上隅にパスワード・プロンプト

() が表示されます。このプロンプトは、ThinkPad の電源をオンにするたびに、またはハイバネーション・モードから通常の操作状態に戻るたびに表示されます。

ただし、ThinkPad が設定されているタイマーまたはモデム着信による呼び出しによって通常の操作状態に戻る場合、パスワード・プロンプトは表示されません。パスワード・プロンプトを表示させるには、任意のキーを押すか、ポインティング・デバイスを動かしてください。

パスワードを入力する手順は、次のとおりです。

1. パスワードを入力します。


パスワードを入力するときは指をキーからすばやく離してください。1 つのキーを長く押し続けると、同じ文字が繰り返し入力されてしまいます。

2. **Enter** キーを押します。

正しいパスワードを入力すると「OK」が表示され、誤ったパスワードを入力すると「X」が表示されます。パスワードを3回間違えた場合は、ThinkPadの電源をオフにし、5秒以上待ってから、電源をオンにして入力してください。


## パスワードの変更または消去

この機密保護機能は、他人が勝手にパスワードを消去し、ThinkPadを使用することを防ぎます。パスワードを変更または消去する手順は、次のとおりです。

1. 作業内容を保管し、コンピューターをシャットダウンします。
2. ThinkPadの電源をオンにします。
3. **F1** を押して BIOS Setup Utility に入ります。
4. 始動パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトが表示されます (  )。

注: 始動パスワードとスーパーバイザー・パスワードの両方が設定されている場合は、始動パスワードで BIOS Setup Utility に入ったときは始動パスワードのみを変更することができます(消去することはできません)。システム管理者は、スーパーバイザーまたはハード・ディスク・パスワードを変更したい場合は、スーパーバイザー・パスワードを使用して BIOS Setup Utility に入る必要があります。

始動パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードを入力します。

5. ハード・ディスク・パスワードが設定されている場合は、ハード・ディスク・パスワード・プロンプトが表示されます(  )。

ハード・ディスク・パスワードを入力します。

6. 「**Password**」を選択し、**Enter** を押します。「Password」サブメニューが表示されます。
7. 変更または消去するパスワードのタイプを選択し、**Enter** を押します。ウィンドウが表示されます。
8. 現在のパスワードを入力し、**Enter** を押します。
9. 希望するパスワードを入力し、**Enter** を押します。

注: パスワードを消去したい場合は、何も入力しないでおきます。

## パスワードの使用

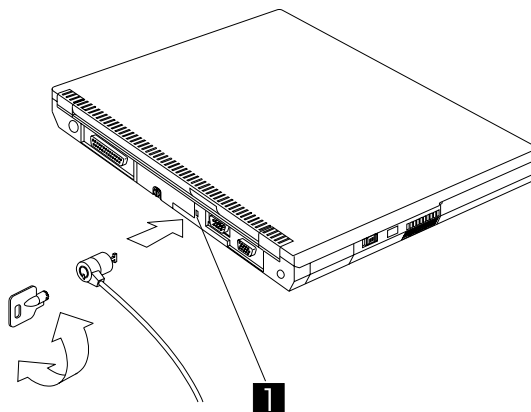
10. 新しいパスワードを再度入力し、**Enter** を押してその確認を行います。

注: パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

## ロック機能の使用

ThinkPad の不正使用防止のため、ThinkPad にセキュリティー・システム・ロックを取り付けることができます (セキュリティー・システム・ロックは付属していません)。

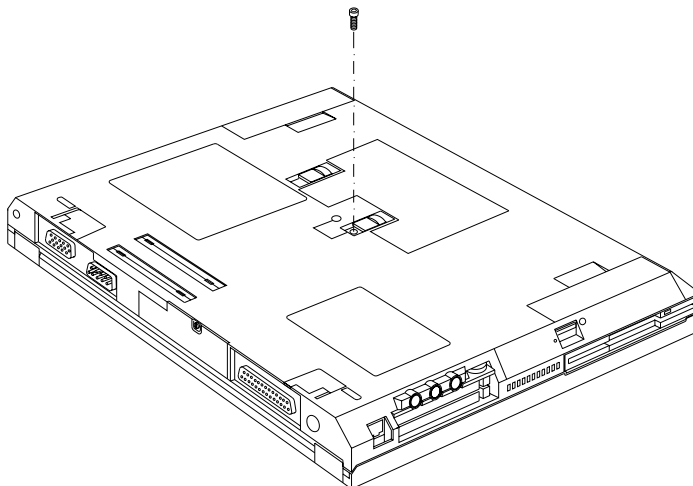
セキュリティー・システム・ロックを ThinkPad 左側面のかぎ穴 (1) につなげ、ロックの鎖を安全で動かないものにつなぎます。



注: 使用するロック装置およびセキュリティー機能については、お客様ご自身の判断で評価、選択、および実装を行っていただきます。IBM では、その機能性、品質、性能についての言及、評価、保証は行いません。

## セキュリティーねじの使用

ThinkPad に付属するセキュリティーねじを使用し、ウルトラベイ FX のデバイスが容易に取り外されないようにすることができます。



ウルトラベイ FX をセキュリティーねじで固定するには、以下のようにします。

1. ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
2. ThinkPad を裏返します。
3. セキュリティーねじを取り付け、2.5 mm 六角レンチで固く締めます。
4. ThinkPad を元の位置に戻します。
5. AC アダプターを接続し、ThinkPad の電源をオンにします。

## 第4章 問題が起こったら...

よくある質問と答え	102
ヒントおよび制限事項	112
ポート・リプリケーターで PC カードを使用	113
ポート・リプリケーターにおけるネットワーク機能の使用	113
USB コネクタに関する考慮事項	114
2 枚目の CardBus カードの使用	114
外付けコンデンサー・マイクロホンの使用	114
問題判別ガイド	115
問題判別表	116
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	117
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	121
入力装置の問題	122
サスペンド・モードまたはハイパネーション・モードの問題	124
LCD (液晶ディスプレイ) の問題	126
インジケータの問題	127
バッテリーの問題	127
CD-ROM ドライブの問題	128
赤外線通信の問題	129
オーディオの問題	130
汎用 (ユニバーサル) シリアル・バス (USB) の問題	130
PC カードの問題	131
プリンターの問題	132
外付けディスプレイの問題	133
ポート・リプリケーターの問題	135
その他のオプションの問題	136
ソフトウェアの問題	137
その他の問題	138
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	140
導入済みアプリケーション CD の使用法	140
リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) の使用	140
最新ソフトウェアの入手先	141

## よくある質問と答え

ここでは、よくある質問と解答の一例について記述します。次の表で示すページに進み、そこで指示された処置をとってください。

質問	ページ
画面が消えるのを止める方法	103
赤外線ポートの設定方法	104
シリアル・ポートの設定方法	105
トラックポイントとマウスの切り替え方法	106
ディスプレイの解像度の設定方法	107
外付けディスプレイの設定方法	108
バッテリーの寿命を最大限にする方法	109
オペレーティング・システムのインストール方法	110
リカバリー CD の使用方法	110
取り付けたハードウェアのテスト/問題判別方法	110
ThinkPad がロックされている場合の再起動方法	110
付属品およびアップグレードの購入方法	110
サービスを受ける方法	111

ここで扱う問題を解決するには、「ThinkPad の設定」プログラムを使用する必要があります。「ThinkPad の設定」プログラムを始動するには、タスクバーの「ThinkPad」アイコンをダブルクリックしてください。

「ThinkPad の設定」プログラムのウィンドウが表示されます。





(実際の画面とは異なることがあります。)

注: 「ThinkPad の設定」プログラムは、次の手順でも、始動することができます。


1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad の設定」をクリックします。

---

画面を消したくないときでも消えます。どのようにすれば、止められますか?

---

「ThinkPad の設定」プログラムを使えば、ディスプレイ・タイマーまたはシステム・スタンバイ・タイマーなどのシステム・タイマーをすべて使用不可に設定することができます。


1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。
  2. 「パワー マネージメント」()ボタンをクリックします。
  3. 「電源設定」タブの「モニタの電源を切る:」項目を使用して、ディスプレイの長いタイムアウト値を設定したり、「なし」に設定して使用不可にすることができます。
  4. 「OK」をクリックして確定します。
-

---

どのようにすれば、赤外線ポートを通信ポートとして使用可能にすることができますか？

---

ThinkPad の赤外線ポートは、シリアル・ポートなど他の通信デバイスに資源を解放するために、使用不可にすることができます。赤外線ポートを使用不可にしている場合は、次に赤外線ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。赤外線ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。
3. 「赤外線」(  ) ボタンをクリックします
4. 「有効」をクリックします。

ハードウェア資源が他の通信デバイスで使用されていることを示す「警告」が表示される場合があります。

5. 「OK」をクリックします。ThinkPad が再起動します。

注: 赤外線ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用できます。

赤外線ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使用できます。正しく作動しない場合は、通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。


---

---

どのようにすれば、シリアル・ポートを通信ポートとして使用することができますか？

---

ThinkPad のシリアル・ポートは、赤外線ポートなど他の通信デバイスに資源を解放するために、使用不可にすることができます。シリアル・ポートを使用不可にしている場合は、次にシリアル・ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。シリアル・ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。
3. 「シリアル ポート」(  ) ボタンをクリックします。
4. 「有効」をクリックします。

ハードウェア資源が他の通信デバイスで使用されていることを示す「警告」が表示される場合があります。

5. 「OK」をクリックします。ThinkPad が再起動します。

注: シリアル・ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用できます。

シリアル・ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使用できます。正しく作動しない場合は、通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

---

---

オフィスではマウスを外付けで使用し、それ以外ではトラックポイントを使用するには、どうすればよいですか？

---

**PS/2** マウスの場合:

PS/2 マウスを接続します。トラックポイントは自動的に使用不可となります。トラックポイントを再び使用するには、PS/2 マウスを取り外します。

シリアル・マウスの場合:

シリアル・マウスは以下のようにして使用します。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. シリアル・マウスを接続します。

注: シリアル・マウスを取り付けたことがない場合は、シリアル・マウスのデバイス・ドライバーをインストールする必要があります。66ページの『マウスまたは数値キーボードの接続』を参照してください。

3. ThinkPad を再始動します。

**USB** マウスの場合:

マウスは以下のようにして使用します。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. USB マウスを接続します。

注: トラックポイントは、外付けシリアル・マウスまたはUSB マウスと同時に使用することができます。

---


---

**LCD** と外付けディスプレイを同時に使っているときは、外付けディスプレイから最高解像度で表示できません。なぜですか？

---

ThinkPad 本体の LCD と CRT ディスプレイの両方に、任意の解像度を設定することができます。ただし、両方を同時に使っている場合、2 つの解像度は同じものになります。ThinkPad 本体の LCD により高い解像度を設定すると、1 度に見られるのは画面の一部だけになってしまいます。隠れている部分は、トラックポイントや他のポインティング・デバイスを動かすことで見ることができます。画面の出力先は、「ThinkPad の設定」プログラムの「ディスプレイ装置」アイコンを使って、LCD、外付けディスプレイ、または LCD 外付けディスプレイのいずれかに変更できます。また、**Fn+F7** キーの組み合わせでも、出力先を変更することができます。

外付けディスプレイを設定する手順は、次のとおりです。


1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。
  2. 「外部ディスプレイ」() ボタンをクリックします。「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
  3. 「設定」タブをクリックします。
  4. 「詳細」ボタンをクリックします。
  5. 「モニタ」タブをクリックします。
  6. 「変更」をクリックします。
  7. ご使用のディスプレイの「モデル」および「製造元」を選択します。
  8. 「OK」をクリックしてから、「閉じる」をクリックします。
  9. 「画面のプロパティ」ウィンドウで、「色」と「画面の領域」を設定します。
  10. 「OK」をクリックします。
-

---

**Windows** のプラグ・アンド・プレイ機能が外付けディスプレイを検出しない場合、どのようにして外付けディスプレイを設定したらよいですか？

---

次の手順に従ってください。

1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。
  2. 「外部ディスプレイ」() ボタンをクリックします。「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
  3. 「設定」タブをクリックします。
  4. 「詳細」ボタンをクリックします。
  5. 「モニタ」タブをクリックします。
  6. 「プラグ アンド プレイ ディスプレイを自動的に検出する」がチェックされていることを確認します。
  7. このオプションがチェックされているにもかかわらず、再始動後もディスプレイが認識されない場合は、「変更」をクリックします。
  8. ご使用のディスプレイのモデル および製造元を選択します。
  9. 「OK」をクリックしてから、「閉じる」をクリックします。
  10. ThinkPad の再始動を要求するメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
-

---

どのようにすれば、バッテリーの寿命を最大限に使用することができますか？

---

バッテリーの寿命を最大限に使用する手順は、次のとおりです。

- バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで (バッテリー状況インジケータと電源インジケータが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
  - バッテリー・モードで使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターを接続した状態で充電し、バッテリー状況インジケータが緑になったら、バッテリーはフル充電されたことになります)。
  - 新しいバッテリーや、長い期間使用しなかったバッテリーの場合は、次の手順に従ってください。
    1. バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで (バッテリー状況インジケータと電源インジケータが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
    2. バッテリー・モードで使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターを接続した状態で充電し、バッテリー状況インジケータが緑になったら、バッテリーはフル充電されたことになります)。
    3. 上記のステップを 3 回繰り返します。
  - 常に、電源管理機能、パワー・モード、スタンバイ・モード、サスペンド・モード、ハイバネーション・モードなどの省電力管理機能を使うようにしてください。
  - 省電力管理機能の詳細については、[オンライン・ユーザーズ・ガイド](#)を参照してください。
-

---

どのようにすれば、**ThinkPad** に別のオペレーティング・システムをインストールできますか？

—または—

現在使用しているオペレーティング・システム用の **ThinkPad** デバイス・ドライバーは、どこで入手できますか？

---

新しいオペレーティング・システムとデバイス・ドライバーのインストール方法については、*オンライン・ユーザズ・ガイド* を参照してください。新しいオペレーティング・システムをインストールする前に、次の作業を行ってください。

- *オンライン・ユーザズ・ガイド* のソフトウェアのインストールの章を参照します
- **Windows 98**, **Windows NT** または **Windows 95** の場合: 導入済みアプリケーション CD を使用してください。140ページの『導入済みアプリケーション CD の使用法』を参照してください。

**DOS**, **OS/2** または **Windows 3.1** の場合: 詳細については IBM Web サイトを参照してください。140ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』を参照してください。

---

リカバリー CD を使って、**ThinkPad** に出荷時のオペレーティング・システムとアプリケーションを再ロードするにはどうしたらよいですか？

---

140ページの『リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) の使用』を参照してください。また、リカバリー CD に付いている説明書をお読みください。

---

**ThinkPad** に標準装備されているハードウェアに障害が生じたと思われる場合のテスト/問題判別方法は？

---

116ページの『問題判別表』を参照してください。

---

**ThinkPad** がロックして、入力を受け付けない、あるいは電源スイッチを使用してもオフにならない場合の再始動方法は？

---

138ページの『その他の問題』を参照してください。

---

**ThinkPad** の付属品およびアップグレードの購入方法は？

---

弊社の Web サイト <http://www.ibm.com/jp> にアクセスし、「ショッピング」をクリックしてください。オンラインで購入できる、ご使用の ThinkPad で使用することのできるさまざまな付属品およびアップグレードが掲載されています。

---



---

**ThinkPad** にハードウェアの問題が生じたと思われる場合に修理を依頼するにはどうすればよいですか？

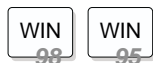
---

工場出荷時に ThinkPad に装備されている装置にハードウェア問題が生じたと思われる場合は、問題判別ガイドをお読みの上、ThinkPad の修理が必要な場合には、IBM サービス・センターに修理をご依頼ください。詳しくは、付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。

---

## ヒントおよび制限事項

ここでは、知っておく必要のあるヒントと制限事項をいくつか紹介します。



### Windows 98 および Windows 95 の場合:

OS/2 ブート・マネージャーがインストールされている場合は、ハイバネーションはサポートされません。

Intel USB カメラを使用している場合、サスペンド・モードから通常操作を再開すると、USB カメラが使用できなくなります。USB カメラを使用可能にするには、いったんそれを取り外し、もう一度接続してください。

CD-ROM ドライブのプロパティの設定によっては、「ThinkPad の設定」プログラムで指定したタイムアウト時間が経過しても、サスペンド・モードやハイバネーション・モードに入れない場合があります。サスペンド・モードやハイバネーション・モードを使用する場合は、次の手順に従って、CD-ROM ドライブのプロパティを変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを「設定」まで移動し、次に「コントロール パネル」をクリックします。
3. 「システム」をダブルクリックします。
4. 「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。
5. 「CD-ROM」の下にある CD-ROM ドライブ名をクリックしてから、「プロパティ」ボタンをクリックします。
6. 「設定」タブをクリックし、「オプション」ボックスの「挿入の自動通知」(Windows 95 では「自動挿入」)の横のチェック・ボックスをクリックして、チェック・マークを外します。
7. 「OK」をクリックし、ThinkPad を再起動します。

スクロールおよび拡大表示機能を使用するには、PS/2 マウスを切り離し、内蔵のトラックポイントを使用可能にする必要があります。



**Windows NT** の場合:

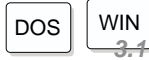
OS/2 ブート・マネージャーがインストールされている場合は、ハイバネーションはサポートされません。

ドライブが NTFS でフォーマットされているときは、ハイバネーションはサポートされません。



**OS/2 Warp** の場合:

ハイバネーションはサポートされていません。



**DOS** および **Windows 3.1** の場合:

OS/2 ブート・マネージャーがインストールされている場合は、ハイバネーションはサポートされません。

## ポート・リプリケーターで PC カードを使用

Windows NT, Windows 3.1 または DOS 環境では、ThinkPad をポート・リプリケーターにドッキング後に、PC カード・サポート・ソフトウェアをインストールする必要があります。すでに PC カード・サポート・ソフトウェアがインストールされている場合は、一度それをアンインストールし、ThinkPad をポート・リプリケーターにドッキングした後に再びインストールします。

## ポート・リプリケーターにおけるネットワーク機能の使用

ThinkPad 拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) にドッキングする手順は次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. マウス・ポインターを「設定」まで移動し、次に「コントロール パネル」をクリックします。
3. 「システム」をダブルクリックします。
4. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。
5. 「ネットワーク アダプタ」項目をクリックして展開します。
6. 「Intel 8255X-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」項目をダブルクリックします。
7. 「Exists in all hardware profiles」項目にチェックが入っていないことを確認します。
8. 「OK」をクリックします。

注: この手順が必要なのは 1 回だけです。

## USB コネクターに関する考慮事項

ThinkPad が USB 装置を認識しない場合は、一度 USB 装置を外してから、再び接続してください。ThinkPad がスタンバイ・モードに入ったあと、通常の操作状態に戻ったときに USB 装置を認識しない場合があります。先に通常の操作状態に戻してから、USB 装置を接続してください。

## 2 枚目の CardBus カードの使用

CardBus カードが ThinkPad あるいはポート・リプリケーターですでに構成済みの場合には、デバイス・マネージャーを使って 2 枚目の CardBus を手動で構成する必要があります。デバイス・マネージャーを利用するには、「コントロール パネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。

## 外付けコンデンサー・マイクロホンの使用

マイクロホン入力ジャックは、バッテリー内蔵型コンデンサー・マイクロホンをサポートします。マイクロホンに付属の説明書を参照してください。

## 問題判別ガイド

---

ピーブ音が鳴った場合、メッセージが表示された場合、または機能に関する問題が発生した場合:

---

1. 表から症状を見つけ、問題の解決を試みます。116ページの『問題判別表』を参照してください。
  2. 問題を解決できない場合には、エラー・コードをメモし、ThinkPad の修理を依頼します。143ページの第5章、『サービス体制』を参照してください。
- 

**ThinkPad** 内のソフトウェアを誤って消してしまったり、損傷してしまった場合:

---

導入済みアプリケーション CD を使って復元します。140ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』を参照してください。

---

## 問題判別表

ThinkPad にエラーが発生すると、通常、電源をオンにしたときに、メッセージやエラー・コードが表示されたり、ビープ音が鳴ります。問題判別表から発生した問題を探してください。問題が見つかった場合は、対応するページに進み、そこで指示されている処置をとってください。

問題判別表	ページ
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	117
エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題	121
入力装置の問題	122
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	124
LCD の問題	126
インジケータの問題	127
バッテリーの問題	127
CD-ROM ドライブの問題	128
赤外線通信の問題	129
オーディオの問題	130
汎用 (ユニバーサル) シリアル・バス(USB) の問題	130
PC カードの問題	131
プリンターの問題	132
外付けディスプレイの問題	133
ポート・リプリケータの問題	135
その他のオプションの問題	136
ソフトウェアの問題	137
その他の問題	138

## エラー・コードまたは画面上のメッセージ

以下の表には、エラー・コードまたはメッセージならびに対応処置が含まれています。



注: この表の中の  $x$  または  $n$  は任意の文字です。

問題	処置
0200 (ハード・ディスクの障害)	<p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ThinkPad の電源をオフにします。</li> <li>2. ハード・ディスク・ドライブをいったん取り外し、再びしっかりと取り付けます。59ページの『ハード・ディスク・ドライブのアップグレード』を参照してください。</li> <li>3. ThinkPad の電源をオンにします。</li> </ol> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
021x (キーボード・エラー)	<p>本体のキーボードまたは外付けキーボードの上に何も置かれていないことを確認してください。また、キーが引っ掛かっているかも確認してください。ThinkPad の本体および接続されているすべてのデバイスの電源をオフにしてください。まず、ThinkPad の電源をオンにしてから、次に、接続されているデバイスをオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、次の処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外付けキーボードが接続されている場合は、次の処置をとってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードを外してから、ThinkPad の電源をオンにします。本体のキーボードが正しく作動するかどうかを確認します。正しく作動する場合は、外付けキーボードの修理を依頼します。正しく作動しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</li> <li>– キーボード/マウス・ケーブルを使用した接続の場合には、外付けキーボードが正しいコネクタに接続されていることを確認します。</li> </ul> </li> </ul>
023x (メモリー・エラー), 0281 (メモリー・サイズ・エラー)	<p>DIMM オプションが正しく取り付けられているかどうか確認します。正しく取り付けられているにもかかわらず問題がある場合は、DIMM オプションを購入した IBM 販売店または IBM 営業担当員に交換について問い合わせてください。コンピューターの修理が必要な場合もあります。</p>
0250 (システム・バッテリー切れ - 交換して SETUP 実行)	<p>CMOS クロック・バッテリーの交換が必要です。ThinkPad の修理を依頼してください。</p>


## 問題判別表

問題	処置
0251 (システム CMOS チェックサムが不正 - デフォルト構成を使用)	CMOS が破壊されたか、不正に変更されています。BIOS Setup Utility に入り、デフォルト設定値をロードし、ThinkPad を再始動してください。それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
0270 (リアル・タイム・クロック・エラー)	リアルタイム・クロックにエラーがあります。ThinkPad の修理を依頼してください。
0271 (日付と時間の設定確認)	リアルタイム・クロックがリセットされました。BIOS Setup Utility に入り、日付および時刻の設定値を確認し、必要に応じて設定してください。
02Bx (ディスケット・ドライブ・エラー)	次の手順に従ってください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ThinkPad を再始動します。</li> <li>2. IBM ThinkPad ロゴが表示されている間に <b>F1</b> を押し、BIOS Setup Utility に入ります。</li> <li>3. カーソルの上/下キーを使用して、「Config」を選択し、そして <b>Enter</b> を押します。</li> <li>4. 「Advanced Setup」を選択し、<b>Enter</b> を押します。</li> <li>5. 「Others」を選択し、<b>Enter</b> を押します。</li> <li>6. 「FDD」を選択し、「<b>Internal</b>」に設定されていることを確認します。</li> <li>7. <b>F10</b> を押して保管し、BIOS Setup Utility を終了します。</li> </ol> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
02D0 (システム・キャッシュ・エラー・キャッシュが使用不可)	ThinkPad の修理を依頼してください。
I/O device IRQ conflict	コンピューター内の入出力装置に IRQ (割り込み要求) 競合が存在します。オンライン・ユーザズ・ガイドの「システム・リソースについて」を参照してください。
Failing Bits: nnnn	メモリー・テスト中にエラーがレポートされます。番号をメモし、ThinkPad の修理を依頼します。DIMM の交換が必要となる場合があります。

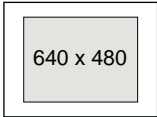



問題	処置
Operating system not found	<p>オペレーティング・システムが、ハード・ディスクまたはディスクレット・ドライブに検出されません。ThinkPad の電源を切り、以下の手順を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハード・ディスク (オペレーティング・システムが搭載されているもの) がハード・ディスク・ベイ内に正しく取り付けられているかどうか確認します。コンピューターの電源をオンにします。</li> <li>BIOS Setup Utility に入り、ディスクレット・ドライブが正しく識別されているかどうか確認します。その後ディスクレット (オペレーティング・システムがインストールされているもの) をディスクレット・ドライブに挿入し、コンピューターの電源をオンにします。</li> </ul> <p><b>Windows 98, 95 および NT</b> をお使いの場合: Windows 起動ディスクを使用すると、問題の診断に役立ちます。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
ERROR EDO RAM exist, system halt! Non PC100 SDRAM exist, system halt!	<ul style="list-style-type: none"> <li>ThinkPad が EDO RAM モジュールをサポートしていません。ThinkPad の電源を切り、EDO RAM モジュールを適切な IBM DIMM オプションと交換してください。</li> <li>ThinkPad は、PC100 と互換性のない SDRAM はサポートしていません。ThinkPad の電源を切り、メモリー・モジュールを適切な IBM DIMM オプションと交換してください。</li> </ul> <p>IBM 特約店または IBM 営業担当員に DIMM オプションの購入について問い合わせてください。</p>
Read Data Error from RFID EEPROM	<p>ThinkPad の固有識別情報を格納しているEEPROM にエラーがあり、交換が必要です。ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
始動パスワード・プロンプト (   )	<p>始動パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して <b>Enter</b> キーを押してください(96ページの『パスワードの入力』を参照)。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

## 問題判別表

問題	処置
ハード・ディスク・パスワード・プロンプト (  )	<p>ハード・ディスク・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して <b>Enter</b> キーを押してください (96ページの『パスワードの入力』を参照)。</p> <p>考慮事項: ハード・ディスク・パスワードを忘れた場合は、ハード・ディスクにアクセスする方法はありません。パスワードをリセットすることはできず、ハード・ディスク上の全データとファイルが失われます。このコンピューターを使用するには、ハード・ディスクの交換が必要です。この交換には、部品代と作業代がかかります。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

## エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題

問題	処置
<p>DOS 全画面が小さく見える</p> 	<p>640x480 の解像度 (VGAモード) のみをサポートする DOS アプリケーションを使用すると、画面イメージが多少ゆがんで見えたり、実際のディスプレイ・サイズよりも小さく見える場合があります。これは、ThinkPad が他の DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズにするには、「ThinkPad の設定」プログラムを始動し、「LCD」() をクリックしてから、「拡張スクリーン」機能を選択します。(表示されるイメージは、実際のイメージと多少異なって見える場合があります。)</p>
<p>画面に何も表示されず、ビープ音が鳴らない。</p> <p>注: ビープ音が鳴ったかどうか不確かな場合は、ThinkPad の電源をいったんオフしてから、もう一度オンにし、ビープ音が鳴るかどうかを確認してください。</p> <p>外付けディスプレイを使用している場合は、133ページの『外付けディスプレイの問題』に進んでください。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バッテリー・パックは正しく取り付けられていますか。</li> <li>• AC アダプターが ThinkPad に接続されており、電源コードがコンセントに差し込まれていますか。</li> <li>• ThinkPad の電源がオンになっていますか。(確認のため、電源スイッチをもう一度オンにしてください。)</li> </ul> <p>始動パスワードが設定されていても表示されない場合は、ThinkPad の輝度調節つまみが最小輝度に設定されている可能性があります。輝度を調整します。</p> <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず画面に何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に何も表示されず、ビープ音が鳴り続けるか、ビープ音が 2 回以上鳴る。</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

## 入力装置の問題

問題	処置
<p>ThinkPad が省電力機能状態のいずれかから通常の操作状態に戻ったとき、カーソルが動かない。</p>	<p>外付け PS/2 マウスを接続してある場合は、それを使ってみてください。問題が解決しない場合には、コンピューターの電源を切り、もう一度電源を入れます。</p>
<p>ThinkPad のキーボードの全部または一部が作動しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作状態に戻った直後にこの問題が発生した場合は、始動パスワードを入力してください。始動パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。</li> <li>• 外付けキーボードが接続されているときは、ThinkPad 本体のキーボードの数値キーパッドは作動しません。これは、故障ではありません。</li> <li>• 外付け数値キーパッドまたはマウスが接続されている場合:             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ThinkPad の電源をオフにします。</li> <li>2. 外付け数値キーパッドまたはマウスを取り外します。</li> <li>3. ThinkPad の電源をオンにし、もう一度キーボードを操作します。</li> </ol> <p>これによってキーボードの問題が解決した場合は、外付け数値キーパッド、外付けキーボード、またはマウスの接続を調べてください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> </li> </ul>
<p>ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったとき、カーソルがドリフト (浮動) する。</p>	<p>通常の操作状態でトラックポイントを使わない場合に、カーソルがドリフトする場合があります。これは、トラックポイントの特性の 1 つであって、故障ではありません。ドリフトは、以下の場合に数秒間発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad の電源をオンにしたとき。</li> <li>• ThinkPad が通常の操作状態に戻ったとき。</li> <li>• トラックポイントを長時間使用し続けたとき。</li> <li>• 環境温度が変化したとき。</li> </ul>


問題	処置
マウスまたはポインティング・デバイスが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポインティング・デバイスが「ThinkPad の設定」プログラムで使用可能になっているか確認してください。</li> <li>• マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルが ThinkPad にしっかりと正しい場所に接続されているか確認してください。</li> <li>• トラックポイントを操作してみてください。トラックポイントが作動する場合は、マウスに問題がある可能性があります。</li> <li>• 外付けマウスを使用する場合には、「ThinkPad の設定」プログラムを使用してトラックポイントを使用不可にします。</li> </ul> <p>注: 詳細については、マウスに付属のマニュアルを参照してください。</p>
マウス・ボタンが作動しない。	標準 PS/2 ポートマウス・ドライバーをインストールし直してから、PS/2 トラックポイント・ドライバーをインストールし直してください。ドライバーのインストール方法については、「オンライン・ユーザーズ・ガイド」を参照してください。
スクロールまたは拡大表示機能が働かない。	「マウスのプロパティ」の「一般」タブ・ページを参照し、PS/2 トラックポイント・ドライバーがロードされているかどうか確認します。
英文字を入力したのに数字が表示される。	ナム・ロック機能が有効になっています。ナム・ロック機能を解除するには、 <b>Shift</b> キーを押しながら <b>NumLk</b> キーを押してください。
外付け数値キーボードの全部または一部が作動しない。	外付け数値キーボードが ThinkPad に正しく接続されているか確認してください。
外付けキーボードの全部または一部が作動しない。	<p>外付けキーボードを使用するには、キーボード/マウス・ケーブルを使って、または直接 ThinkPad に接続します。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーボード・ケーブルが ThinkPad に正しく接続されていますか (キーボードが ThinkPad に直接接続されている場合)。</li> <li>• キーボード/マウス・ケーブルが ThinkPad に正しく接続されていますか。</li> <li>• キーボード・ケーブルが、キーボード/マウス・ケーブルの正しい側に接続されていますか。</li> </ul> <p>上記の項目に問題がない場合は、キーボード/マウス・ケーブルを ThinkPad から取り外し、ThinkPad 本体のキーボードが正しく作動するかを確認してください。ThinkPad 本体のキーボードが作動する場合は、キーボード/マウス・ケーブルまたは外付けキーボードの修理を依頼してください。</p>

## サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題

問題	処置
ThinkPad が自動的にサスペンド・モードに入る。	プロセッサの温度が許容の温度を超えると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードに入ります。これは、故障ではありません。
ThinkPad を使用中、熱くなりパフォーマンスが低下する。	次の場合、プロセッサ速度が低下することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用する環境温度が高いとき。</li> <li>• 高電力消費を必要とする高度な処理を実行するとき。</li> </ul> これは、故障ではありません。
POST 後ただちに ThinkPad がサスペンド・モードに入る (サスペンド・インジケータがオンになる)。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バッテリー・パックは充電されていますか。</li> <li>• 環境温度が許容される範囲内にありますか。149ページの付録A、『製品仕様』を参照してください。</li> </ul> 上記の項目に問題がない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
ThinkPad はオンになるが、即時オフになる。	バッテリー・パックのバッテリー残量が少なくなっています。ThinkPad に AC アダプターを接続するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。
ThinkPad がサスペンド・モードから戻らない、または、サスペンド・インジケータが点灯したままで ThinkPad が作動しない。	バッテリー・パックが空になると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ります。次のいずれかの処置をとってください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ThinkPad に AC アダプターを接続します。</li> <li>2. フル充電したバッテリー・パックに交換してから、Fn キーを押します。</li> </ol>
通常の操作状態に戻ったときに LCD に何も表示されない。	サスペンド・モードに入る前に、外付けディスプレイが接続されていなかったか確認してください。 <b>ThinkPad</b> がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。 <b>ThinkPad</b> が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、 <b>LCD</b> には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度でも同様です。
ThinkPad が、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにならな	Thinkpad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードを使用不可にするオプションを選択していないかどうかを確認してください。  ハイバネーション機能が作成されているかどうかを確認します。(58ページの『ハイバネーション機能の作成』を参照してください。)

問題	処置
<p>Windows 98, Windows 95 または Windows NT で、ThinkPad がタイマーの設定通りにサスペンド・モードに入らない。</p>	<p><b>Windows 98 および Windows 95 の場合:</b></p> <p>Windows 98 および Windows 95 用汎用 CD-ROM ドライバーは、CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されているかどうかを確認するため、3 秒ごとに内蔵 CD-ROM ドライブにアクセスします。これにより、ThinkPad がタイムアウトでもサスペンド・モードに入ることはできません。</p> <p>これを回避するためには、以下を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「マイ コンピュータ」、「コントロール パネル」、「システム」の順にダブルクリックします。</li> <li>2. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。</li> <li>3. <b>CD-ROM</b> の「+」マークをクリックします。</li> <li>4. CD-ROM ドライブ名をダブルクリックします。</li> <li>5. 「設定」タブをクリックします。</li> <li>6. 「挿入の自動通知」(Windows 95 では「自動挿入」) チェック・ボックスからチェック・マークを取り除きます。</li> <li>7. 「<b>OK</b>」をクリックし、ThinkPad を再起動します。</li> </ol> <p>Windows 98 および Windows 95 はこれで CD-ROM の挿入について自動検出は行いません。</p> <p><b>Windows NT の場合:</b></p> <p>CD-ROM AutoRun 機能を使用可能にした場合は、ThinkPad はタイマーによってサスペンド・モードに入ることはありません。レジストリーの「サスペンド・タイマー」機能を使用可能にするには、以下のようになります。</p> <pre>HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥Cdrom¥ Autorun: x1 Autorun:</pre>
<p>ThinkPad が <b>Fn+F12</b> キーの組み合わせでハイバネーション・モードにならない。</p>	<p>ハイバネーション機能が作成されているかどうかを確認します。(58ページの『ハイバネーション機能の作成』を参照してください。)</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使って PC カード・スロットへの電力供給を遮断してください。</p>

## LCD (液晶ディスプレイ) の問題

問題	処置
<p>画面が判読不能またはゆがんでいる。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていますか。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「スタート」をクリックし、マウス・ポインターを「設定」に移動した後、「コントロール パネル」をクリックします。</li> <li>2. 「画面」をダブルクリックします。</li> <li>3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。</li> <li>4. (Windows 98 の場合)「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。</li> </ol> <p>(Windows 95 の場合)「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプター/ドライバー情報」ウィンドウが表示されます。ディスプレイ・ドライバー情報が正しいことを確認します。</p> </li> <li>• 次の手順に従って、ディスプレイの解像度と色数に設定されているリフレッシュ速度値を確認してください。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li> <li>2. 「LCD」 (  ) をクリックします。</li> <li>3. 「プロパティ」をクリックします。</li> <li>4. 「画面のプロパティ」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。</li> <li>5. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。</li> </ol> </li> </ul>
<p>画面に間違っただ文字が表示される。</p>	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>インストールと構成が正しい場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>電源スイッチをオフにしても画面が消えない。</p>	<p>電源スイッチを約 5 秒間押し続け、その後手を離して ThinkPad の電源をオフにします。再び電源をオンにします。</p>
<p>ThinkPad の電源をオンにするたびに、画面上に見えないドットや、色の違うドット、または明るいドットが表示される。</p>	<p>これは TFT テクノロジーの特性です。ThinkPad のディスプレイは、多くの TFT (Thin-Film Transistor) を使用しています。画面上には見えないドット、色が違うドット、または明るいドットが少量存在していることがあります。</p>



## インジケータの問題

問題	処置
バッテリー・パックを取り付けているのに、バッテリー状況インジケータがオフになっている。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いています。数時間待って、もう一度バッテリー・パックを使ってみてください。それでもインジケータが点灯しない場合は、バッテリー・パックを交換するか、ThinkPad の修理を依頼してください。

## バッテリーの問題

問題	処置
電源オフの状態でもバッテリー・パックを 3 時間半充電してもフル充電にならない。	バッテリー・パックが過放電状態になっている可能性があります。次の処置をとってください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ThinkPad の電源をオフにします。</li> <li>2. 過放電状態と思われるバッテリー・パックが取り付けられていることを確認します。</li> <li>3. AC アダプターを ThinkPad に接続し、バッテリー・パックを充電します。</li> </ol> バッテリー・パックを 24 時間充電してもフル充電にならない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。
バッテリー状況インジケータが空になる前に ThinkPad の電源が遮断される。  または バッテリー状況インジケータが空を示した後も ThinkPad を操作できる。	バッテリー・パックの放電と充電を最低 3 回繰り返してください。
ThinkPad がフル充電したバッテリー・パックで作動しない。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いている可能性があります。ThinkPad の電源を 1 分間オフにしてこの機能をリセットしてから、もう一度電源をオンにしてください。
バッテリー・パックが充電できない。	バッテリー・パックが高温のときは充電できない場合があります。その場合は、バッテリー・パックを ThinkPad から取り外し、しばらく室温の状態においておきます。冷えたら、再び取り付けて再充電を行います。それでも充電ができない場合は、修理を依頼してください。

## CD-ROM ドライブの問題

問題	処置
CD-ROM が作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad の電源がオンになっていて、CD-ROM が CD-ROM ドライブに入っていますか。</li> <li>• CD-ROM ドライブ・トレイはしっかりと閉じていますか。</li> <li>• デバイス・ドライバーが正しくインストールされていますか。</li> </ul>
CD-ROM が回転すると異音がる。	<p>CD-ROM ドライブのカバーが変形している可能性があります。ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
CD-ROM イジェクト・ボタンを押しても CD-ROM トレイが出てこない。	<p>非常用 CD-ROM 取り出し穴にピンの先などを入れて CD-ROM を出してください。</p>
CD-ROM のデータを読むことができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD-ROM が汚れていませんか。汚れている場合は、市販の CD-ROM クリーナー・キットで汚れを取り除いてください。</li> <li>• CD-ROM に欠陥がありませんか。別の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて確認してください。</li> <li>• CD-ROM が正しい向き (ラベルのある側を上にする) でトレイにセットされていますか。</li> <li>• その CD は、次に示すものと互換性のある形式ですか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– 音楽 CD</li> <li>– CD-ROM または CD-ROM XA</li> <li>– マルチセッション・フォト CD</li> <li>– ビデオ CD</li> </ul> </li> </ul>

## 赤外線通信の問題

問題	処置
<p>ThinkPad が付属の赤外線ポートを使って他の装置と通信することができない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通信速度は同じですか。</li> <li>• 赤外線ポートは汚れていませんか。</li> <li>• ThinkPad と通信先デバイスの間に障害物はありませんか。</li> <li>• ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は正しいですか。</li> <li>• 赤外線が使用可能になっていますか。</li> <li>• 通信先のコンピューターの赤外線ポートは、ユーザーのものと同一規格ですか。</li> <li>• 直射日光が当たる場所で操作していないか。</li> <li>• 赤外線ポートが通信先ポートと直接向き合っていますか。</li> </ul> <p>通信は、ThinkPad のディスプレイからの光に影響されます。これを避けるため、ディスプレイを広角度に開いてください。</p> <p>ThinkPad と通信先デバイスとは、同じ通信アプリケーションを実行する必要があります。詳細については、アプリケーションに付属の説明書を参照してください。</p>
<p>ThinkPad と通信先デバイスとの間で誤ったデータが送信される。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は正しいですか。</li> <li>• 通信速度は同じですか。</li> <li>• ThinkPad や通信先デバイスの近くにリモコン装置やワイヤレス・ヘッドホンなど、赤外線を出す装置がありませんか。</li> <li>• 直射日光が当たる場所で操作していませんか。</li> <li>• ThinkPad や通信先デバイスの近くに蛍光灯がありませんか。</li> </ul>

## オーディオの問題

問題	処置
一般的な問題	<p>次の要因で、問題が起こる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ・ボリューム・コントロールが十分なレベルに調整されてない場合。</li> <li>Windows のオーディオ・ボリュームが消音になっているか、十分なレベルに調整されていない場合。</li> <li>オーディオ・ケーブルの配線が、使用しているアプリケーションに適していない場合。</li> <li>オーディオが使用不可になっている場合。</li> <li>オーディオ・ケーブルが損傷している場合。</li> <li>オーディオ機器が故障している場合。</li> </ul>

## 汎用 (ユニバーサル) シリアル・バス (USB) の問題

問題	処置
USB コネクタに接続したデバイスが作動しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>USB デバイスが正しく接続されていることを確認します。</li> <li>「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンし、USB デバイスの設定が正しく、ThinkPad の資源の割り当てとデバイス・ドライバーのインストールが正しく行われていることを確認します。</li> </ol> <p>注: 「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンするには、「スタート」ボタンをクリックしてから、マウス・ポインターを、「設定」、「コントロールパネル」の順に移動します。「システム」をダブルクリックし、次に、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイス マネージャ」タブをクリックします。</p>
ThinkPad が USB デバイスを認識しない。	<p>USB デバイスをいったん外し、再び接続します。</p> <p>注: ThinkPad がスタンバイ・モードになっている場合は、操作が再開されたときにシステムは USB デバイスを認識しない場合があります。先に操作を再開してから、USB デバイスを接続してください。</p>


## PC カードの問題

問題	処置
PC カードが「使用可」と表示されるが、正しく作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PC カード用に確保されたシステム・リソースが、他のシステム装置と競合していませんか。</li> <li>• <i>オンライン・ユーザーズ・ガイド</i>の「システム・リソースについて」を参照してください。</li> <li>• PC カード用に確保されたリソースの設定が、アプリケーション・プログラムでの設定と一致していますか。</li> <li>• ネットワーク・カードを使用している場合は、I/O ポート・アドレス、IRQ レベル、およびメモリー・ウィンドウ・アドレスを確認してください。</li> </ul>
PC カード使用時に、システム・リソースの競合が起こる。	<p><i>オンライン・ユーザーズ・ガイド</i>の「システム・リソースについて」を参照してください。</p>
PC カードからシステムを始動できない。	<p>PC カード用に正しいシステム・リソースが使用されていることを確認してください。</p>
OS/2 Warp 4 の環境では、IBM 製以外の PC カードが使用できない。	<p>OS/2 用の PC カード・デバイス・ドライバーがなくても DOS 用の PC カード・デバイス・ドライバーがあれば、その PC カードは VDM (仮想 DOS マシン) 環境で使用できることがあります。OS/2 用 PCMCIA インストール・ディスクットのサンプル構成ファイルおよび VDM の設定については、<i>オンライン・ユーザーズ・ガイド</i>の「仮想カード・サービス」を参照してください。</p> <p>OS/2 用 PCMCIA インストール・ディスクットは ThinkPad に付属していませんので、IBM Web サイトにアクセスしてドライバーを入手してください。140ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』を参照してください。</p>
PC カード・サポート・ソフトウェアが PC カードを認識しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PC カードには、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバーがありますか。Windows 98 および Windows 95 の場合、それに関連する INF ファイルが必要です。</li> <li>• PC カードは、PCMCIA リリース 2.0、2.01、または 2.10 をサポートします。PC カードに付属の説明書を参照してください。ご使用の PC カードが上記の PCMCIA リリースをサポートしていない場合、PC カード・サポート・ソフトウェアを使用することはできません。PC カードの供給元にご連絡ください。</li> <li>• PC カードに診断テストが付属している場合は、それを実行して作動するかを調べてください。</li> </ul>




## 問題判別表

問題	処置
PC カードは PC カード・サポート・ソフトウェアに認識されるが、「使用不可」または「構成不可」のメッセージが表示される。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• PC カードには、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバがありますか。Windows 98 および Windows 95 の場合、それに関連する INF ファイルが必要です。</li><li>• PC カードに対するリソースが正しく確保されていますか。オンライン・ユーザズ・ガイドの「システム・リソースについて」を参照してください。</li></ul>


## プリンターの問題

問題	処置
プリンターが作動しない。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• パラレル・ポートが使用可能になっていますか。<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li><li>2. 「パラレル ポート」 (  ) をクリックします。</li><li>3. 「有効」を選択します。</li><li>4. 「OK」をクリックします。</li></ol></li><li>• プリンターの電源が入っていて、印刷可能になっていますか。</li><li>• プリンターの信号ケーブルが ThinkPad の正しいコネクタに接続されていますか。</li></ul> 上記の項目に問題がないにもかかわらず、プリンターが作動しない場合は、プリンターの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストでプリンターの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。

## 外付けディスプレイの問題


問題	処置
外付けディスプレイに何も表示されない。	<p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外付けディスプレイを他の ThinkPad に接続し、作動するかどうかを確認します。</li> <li>2. 外付けディスプレイを、ご使用の ThinkPad にもう一度接続します。</li> <li>3. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li> <li>4. 「ThinkPad の設定」プログラムのツールバーにある「外部ディスプレイ」()または「LCD + 外部ディスプレイ」()をクリックします。</li> </ol> <p>外付けディスプレイに何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
外付けディスプレイに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていますか。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「スタート」をクリックし、マウス・ポインターを「設定」に移動した後、「コントロール パネル」をクリックします。</li> <li>2. 「画面」をダブルクリックします。</li> <li>3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。</li> <li>4. (Windows 98 の場合)「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。</li> </ol> <p>(Windows 95 の場合)「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプター/ドライバー情報」ウィンドウが表示されます。ThinkPad のディスプレイ・ドライバーがインストールされていることを確認します。</p> <p>ThinkPad ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> </li> <li>• 適切なモニター・タイプが選択されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li> <li>2. 「LCD」()をクリックします。</li> <li>3. 「プロパティ」をクリックします。</li> <li>4. 「画面のプロパティ」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。</li> <li>5. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。</li> </ol> </li> </ul>

## 問題判別表


問題	処置
<p>画面が判読不能またはゆがんでいる。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていますか。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「スタート」をクリックし、マウス・ポインターを「設定」に移動した後、「コントロール パネル」をクリックします。</li> <li>2. 「画面」をダブルクリックします。</li> <li>3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。</li> <li>4. (Windows 98 の場合)「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。</li> </ol> <p>(Windows 95 の場合)「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプター/ドライバー情報」ウィンドウが表示されます。ThinkPad のディスプレイ・ドライバーがインストールされていることを確認します。</p> <p>ThinkPad ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> </li> <li>• モニターは正しく設定されていますか。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li> <li>2. 「LCD」(  )をクリックします。</li> <li>3. 「プロパティ」をクリックします。</li> <li>4. 「画面のプロパティ」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。</li> <li>5. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。</li> </ol> <p>設定が正しい場合は、外付けディスプレイの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストで外付けディスプレイの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> </li> </ul>
<p>画面に間違った文字が表示される。</p>	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>正しくインストールされている場合は、外付けディスプレイの修理を依頼してください。</p>



## ポート・リプリケーターの問題

問題	処置
ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったときに、ThinkPad がハング (停止) する。	ThinkPad がしっかりとポート・リプリケーターに接続されていることを確認してください。 それでも問題が解決しない場合は、ポート・リプリケーターの修理を依頼してください。
ポート・リプリケーターのジョイスティック・ポートが作動しない。	<p>ポート・リプリケーターのジョイスティック・ポートを使用可能にするには、「ThinkPad の設定」プログラムを使用します。次の手順に従って、ジョイスティック・ポートが使用可能になっていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li> <li>2. 「ジョイスティック ポート」 (  ) をクリックします。</li> <li>3. 「有効」を選択します。</li> <li>4. 「OK」をクリックします。</li> <li>5. 「ThinkPad の設定」プログラムを終了し、ThinkPad を再起動します。</li> </ol> <p>注: ThinkPad を再起動するときに、ジョイスティック・ドライバーをインストールする必要がある場合があります。画面の指示に従い、ご使用のオペレーティング・システムに合ったデバイス・ドライバーをインストールしてください。</p>

## その他のオプションの問題

問題	処置
<p>取り付けただけの IBM 製オプションが作動しない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オプションは ThinkPad 用に設計されたものですか。</li> <li>• オプションが、オプションに付属の説明書または本書に従って正しく取り付けられていますか。</li> <li>• 取り付けられている他のオプションやケーブル類がしっかりと接続されていますか。</li> <li>• I/O アドレス、割り込み (IRQ) レベル、DMAチャネルの設定に競合はありませんか。システム・リソースの状況を確認するには、「ThinkPad の設定」プログラムを始動して、各装置のアイコンをクリックしてください。</li> </ul> <p>オプションのテスト・プログラムで問題が検出されなかった場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>
<p>今まで動いていた IBM 製オプションが作動しない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オプションが ThinkPad にしっかりと接続されていますか。</li> <li>• オプションにテスト・プログラムが付属していれば、その指示に従ってオプションをテストしてください。</li> <li>• システム・リソースの競合がありませんか (オンライン・ユーザズ・ガイドの「システム・リソースについて」を参照)。</li> </ul> <p>上記の項目に問題がなく、テスト・プログラムでも問題が検出されない場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>
<p>シリアル・ポートが作動しない。</p>	<p>次の手順に従って、シリアル・ポートが使用可能になっていることを確認してください。</p> <p><b>Windows 98 および Windows 95 の場合:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ThinkPad の設定」プログラムを開始します。</li> <li>2. 「シリアル ポート」(  ) をクリックします。</li> <li>3. 「有効」を選択します。</li> <li>4. 「デバイス マネージャ」をクリックします。</li> <li>5. 「デバイス マネージャ」ウィンドウでポートを設定します。</li> <li>6. 「OK」をクリックします。</li> </ol>

## ソフトウェアの問題

問題	処置
アプリケーション・プログラムが正しく作動しない。	<p>問題の原因がアプリケーションにあるかどうかを調べるために、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• そのアプリケーションを使用するために最低限必要なメモリーが ThinkPad にありますか。アプリケーションに付属の説明書を参照してください。</li> <li>• そのアプリケーションがご使用のオペレーティング・システムで実行できるように設計されていますか。</li> <li>• 問題のアプリケーション以外は、ThinkPad で正しく実行されますか。</li> <li>• 必要なデバイス・ドライバーがインストールされていますか。オンライン・ユーザーズ・ガイドを参照してください。</li> <li>• 問題のアプリケーションは、別のコンピューターで正しく作動しますか。</li> </ul> <p>アプリケーション・プログラムを使用しているときにエラー・メッセージが表示された場合は、アプリケーション・プログラムに付属の説明書を参照してください。上記の項目に問題がないにもかかわらず、問題が解決されない場合は、アプリケーション・プログラムのお買い上げ店またはサービス技術員にご連絡ください。</p>
「Windows Safe Mode」画面が表示される。	<p>コンピューターが最後に正しくシャットダウンされていない可能性があります。「Safe Mode」でコンピューターをシャットダウンし、再始動します。</p> <p>問題が解決されない場合は、アプリケーション・プログラムのお買い上げ店またはサービス技術員にご連絡ください。</p>
OS/2 Warp 4 をインストールできない。	<p>オンライン・ユーザーズ・ガイドを参照してください。</p>

## その他の問題

問題	処置
<p>ThinkPad がハングアップした、またはどんな入力もまったく受け付けない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通信操作をしているときにサスペンド・モードに入ると、ThinkPad がハングアップすることがあります。ネットワークに接続しているときは、サスペンド・タイマーを使用不可にしてください。</li> <li>• OS/2 Warp がインストールされている ThinkPad の電源をオンにするときは、CD-ROM ドライブに CD-ROM が入っていないことを確認してください。入っている場合は、CD-ROM を取り出し、いったん ThinkPad の電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。</li> <li>• ThinkPad の電源をオフにするには、5 秒以上電源スイッチを押します。</li> </ul>
<p>電源スイッチをオフにしても ThinkPad の電源がオフにならない。</p>	<p>バッテリー電源を使っていて、サスペンド・インジケータが点灯している場合は、バッテリーをフル充電されたものに交換するか、AC アダプターを接続してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合には、電源スイッチを 5 秒間押し続けた後離し、ThinkPad の電源をオフにします。ThinkPad を再始動します。</p> <p>それでもコンピューターの電源が切れない場合は、コンピューターからすべての電力源 (バッテリー・バックおよび AC アダプター) を取り外し、その後各電力源を再取り付け直してからコンピューターを再始動します。</p>
<p>ThinkPad をディスクレットから始動できない。</p>	<p>ThinkPad がディスクレット・ドライブから起動できるよう、BIOS Setup Utility で始動優先順序が設定されているか確認してください (30ページの『Startup』を参照)。</p>
<p>使用時に ThinkPad が熱くなると、パフォーマンスが低下する。</p>	<p>次の場合、プロセッサ速度が低下することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用する環境温度が高いとき。</li> <li>• 高電力消費を必要とする高度な処理を実行するとき。</li> </ul> <p>これは、故障ではありません。</p>

問題	処置
メモリー不足またはメモリー・エラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"><li>• DOS を使用している場合:<ol style="list-style-type: none"><li>1. DOS コマンドの MEM /C を使って、DOS のメモリー使用状況を定期的に調べます。</li><li>2. CONFIG.SYS ファイルから不必要なドライバーを削除します (たとえば、プリンターを使用していない場合は、プリンター・ドライバーを削除します。)</li><li>3. DEVICEHIGH 構文を使って、UMB (上位メモリー・ブロック) を再構成します。</li><li>4. DOS に対する複数構成セットアップを使用します (DOS に付属の説明書を参照)。</li></ol></li><li>• Windows 3.1 を使用している場合:<ol style="list-style-type: none"><li>1. DOS に対する処置と同じ処置を試みます。</li><li>2. WIN.INI ファイルから不必要なプログラムを削除します。</li></ol></li></ul>

## 削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

ここでは、削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復方法について説明します。次の表に、システムを回復するための必要事項を示します。

問題	必要なツール	詳細情報
Windows 98, Windows 95 および Windows NT		
削除されたデバイス・ドライバまたは損傷したデバイス・ドライバを回復したい。	導入済みアプリケーション CD を使用します。	『導入済みアプリケーション CD の使用法』および <i>オンライン・ユーザズ・ガイド</i> の「ソフトウェアのインストール」を参照してください。
削除されたソフトウェア・アプリケーションまたは損傷したソフトウェア・アプリケーションを回復 (再インストール) したい。	導入済みアプリケーション CD を使用します。	『導入済みアプリケーション CD の使用法』を参照してください。
ハード・ディスクを購入時の状態に戻したい。	リカバリー CD を使用します。	『リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) の使用』を参照してください。
OS/2, Windows 3.1 または DOS ユーザー		
削除されたデバイス・ドライバまたは損傷したデバイス・ドライバを回復したい。	ThinkPad Web サイトにアクセスして最新のハードウェア・デバイス・ドライバをダウンロードし、それらをインストールします。	Web サイトを参照してください。

### 導入済みアプリケーション CD の使用法

導入済みアプリケーション CD は、主に初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアおよびデバイス・ドライバ、そしていくつかのアプリケーション・プログラムを再インストールする場合に使用します。

### リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) の使用

標準装備のハード・ディスクの内容を、購入時の状態に復元するためのものです。

## 削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

考慮事項: リカバリー・プログラムは、オペレーティング・システム、ソフトウェア、およびお客様が作成したデータを含むハード・ディスク全体を消去します。その後、オペレーティング・システムおよびデバイス・ドライバなどハード・ディスク全体を工場出荷時の構成に復元します。

リカバリー CD はオリジナルの初期導入済みソフトウェアおよびデバイス・ドライバが収録されています。

回復処理には最大 2 時間かかることもあります。

ThinkPad は始動可能な CD をサポートしています。リカバリー CD は以下のようにして使用します。

注: ウルトラベイ FX に FD/CD-ROM ドライブ装置 (または FD/4 倍速 DVD ドライブ装置) が取り付けられていることを確認してください。

1. リカバリー CD を CD-ROM または DVD-ROM ドライブに挿入します。
2. ThinkPad の電源をオフにし、再びオンにします。

注: CD-ROM の始動優先順位がハード・ディスクより高いことを確認してください。30ページの『Startup』を参照してください。

3. リカバリー CD に付いている説明書をよく読んで作業を行います。
4. 完了のメッセージが表示されたら、リカバリー CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブから取り出します。
5. ThinkPad を再始動します。

ThinkPad は初期導入済み構成で再始動します。

## 最新ソフトウェアの入手先

IBM は、次の ThinkPad Web サイトで、最新ハードウェア・デバイス・ドライバおよびシステム BIOS を提供しています:

<http://www.ibm.com/jp/pc/home/download.html>

最新ソフトウェアの入手方法の詳細については、*オンライン・ユーザーズ・ガイド* を参照してください。

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復



### 準備

ご自分で問題を解決できなかった場合は、IBM 特約店または IBM 営業担当員にご連絡ください。

修理サービスを依頼されるときは、次の情報が必要です。

- ThinkPad の ID 番号
- システムに取り付けられているオプション

注: 145ページの『オプション・リスト』の記録用紙を使ってください。

- エラー・メッセージまたは問題の内容

注: エラー・メッセージが分かっていると、サービス技術員はこのメッセージから必要な処置を判断し、迅速に効率良く問題を対処できます。

146ページの『問題記録用紙』の記録用紙を使ってください。

### 重要

保証期間中であっても、故障の原因がお客様による製品の誤用、事故、変更、不適切な物理環境または操作環境でのご使用、不適切なメンテナンスである場合、修理にかかる費用をご負担いただくこととなります。

製品保証の詳細については、157ページの付録B、『特記事項』を参照してください。

修理サービス先の電話番号をここに書き留めておく便利です。

---

---

## お使いの ThinkPad に関する情報

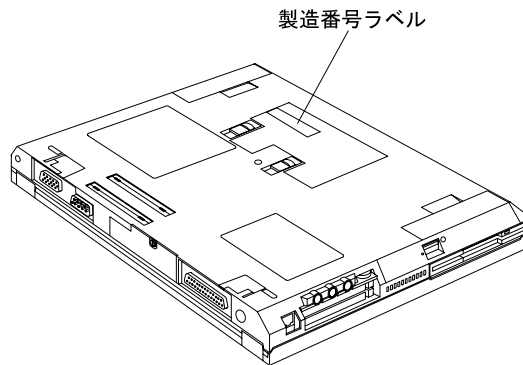
### オプション・リスト

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> DIMM<br>____ MB<br>____ MB       | <input type="checkbox"/> PC カード<br>_____<br>_____ |
| <input type="checkbox"/> ____ GB ハード・ディスク                 | <input type="checkbox"/> バッテリー・パック                |
| <input type="checkbox"/> ウルトラベイ FX デバイス<br>_____<br>_____ |   |

### ID 番号の記録

製造番号のラベルは、ThinkPad 本体の底面にあります。機種名と製造番号 (S/N) を次の欄に記録してください。

IBM 製品名	ThinkPad 390X
機種	2626-_____
製造番号	_____



## 問題記録用紙

- ThinkPad の情報:

機種: \_\_\_\_\_

製造番号: \_\_\_\_\_

購入日: \_\_/\_\_/\_\_

- 問題のタイプ:

継続する問題

一時的な問題

- エラー・コード:

- オペレーティング・システムとバージョン番号 (ご存じの場合):

OS/2 バージョン \_\_\_\_\_

DOS バージョン \_\_\_\_\_

Windows 98 バージョン \_\_\_\_\_

Windows 95 バージョン \_\_\_\_\_

Windows NT バージョン \_\_\_\_\_

Windows 3.1 バージョン \_\_\_\_\_

- 問題発生時に実行していたアプリケーション・プログラム:

---

---

- 問題の症状:

問題の内容を具体的に記載してください。

---

---

---

- 問題を再現できましたか?

はい

いいえ

「はい」の場合、どのようにして再現しましたか?

---

---

## カスタマー・サポートおよびサービス

IBM PC ハードウェア製品をお買上げいただいた場合、保証期間中は、保証書に記載された「保証規定」に基づくサービスを受けることができます。他にもさまざまな有償または無償のサービスをご用意しています。詳しくは、付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。

### オンライン・サポート・サービス

一定の条件を満たす場合、海外でも保証サービスを受けることができます。ただし、出国前に手続きが必要ですので、詳しくは付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。



## 付録A. 製品仕様

---

本付録では、ThinkPad の機能と仕様について説明します。

## 機能

### プロセッサ

Intel® Mobile Pentium™ II プロセッサ、または Intel® Mobile Celeron™ プロセッサ (オンチップ 2 次キャッシュ搭載)

### メモリー

基本: 32 または 64 MB

オプション: 32/64/128 MB DIMM (PC-100)

合計: 最大 256 MB

### ストレージ・デバイス

2.5 インチのハード・ディスク・ドライブ

オプション: 2.5 インチ・セカンド・ハード・ディスク・ドライブ(ウルトラベイ FX)

### ディスプレイ

#### TFT テクノロジー使用のカラー・ディスプレイ

液晶ディスプレイで 1024x768 または 800x600 の解像度

外付けディスプレイで最大 1280x1024 までの解像度

輝度調節

### キーボード

85キー、86 キー、または 90 キー

トラックポイント

Fn キー機能



### 内蔵ディスク・ドライブ

高品質のディスク (IBM のディスクなど) をご使用になることをお勧めします。

#### **2DD、3.5**インチ、未フォーマット・ディスク:

- ANSI (米国規格協会) X3.137
- ISO (国際標準化機構) 8860
- ECMA (欧州電子計算機工業会) 100

#### **2HD、3.5**インチ、未フォーマット・ディスク:

- ANSI X3.171
- ISO 9529
- ECMA 125

### 内蔵 **CD-ROM** ドライブ

最大 24 倍速

### 内蔵 **DVD-ROM** ドライブ (オプション)

4 倍速

### 外部インターフェース

シリアル・コネクタ (EIA-RS232D)

パラレル・コネクタ (セントロニクス)

PS/2 マウス/キーボード共通ポート

外付けディスプレイ・コネクタ

システム拡張コネクタ

PC カード・スロット (タイプ I またはタイプ II の PC カードを 2 枚、またはタイプ III の PC カードを 1 枚使用可能)

ヘッドホン・ジャック

マイクロホン・ジャック (バッテリー内蔵型コンデンサー・マイクロホンをサポート)

ステレオ・ライン入力ジャック

## 機能

赤外線ポート

汎用 (ユニバーサル) シリアル・バス (USB) コネクター

ネットワーク・コネクター (RJ45)

S ビデオ出力ジャック

## 仕様

## 寸法

## 12.1 インチ・ディスプレイ付き:

- 幅: 315 mm
- 奥行き: 255 mm
- 高さ: 45.7 mm

## 14.1 インチ・ディスプレイ付き:

- 幅: 315 mm
- 奥行き: 260 mm
- 高さ: 46.7 mm

## 15.0 インチ・ディスプレイ付き

- 幅: 327.4 mm
- 奥行き: 268 mm
- 高さ: 46.7 mm

## 環境

## 温度 (高度 2,438 m 以下):

- ディスケットが入っていない場合の動作時: 5° ~ 35°C
- ディスケットが入っている場合の動作時: 10° ~ 35°C
- 非動作時: -20°C ~ 60°C

注: バッテリー・パックを充電する場合、温度は最低 10°C なければなりません。

## 相対湿度:

- ドライブにディスクが入っていない場合の動作時: 8% ~ 95%
- ドライブにディスクが入っている場合の動作時: 8% ~ 80%

## 最大高度: 圧力を受けない状態で 3,048 m

- 2438 m ~ 3048 m における最高動作許容温度: 31.3°C

**発熱量**

約 48 Kcal/時

**電源 (AC アダプター)**

50 ~ 60 Hz での正弦波入力が必要。

AC アダプターの定格入力: 100 ~ 240 V AC、50/60 Hz

**バッテリー・パック**

**ニッケル水素バッテリー・パック**

- 公称電圧: 9.6 V dc
- 容量: 4.0 AH

**リチウムイオン・バッテリー・パック**

- 公称電圧: 10.8 V DC
- 容量: 4.8 AH

## IBM 電源コード

コンピューターを購入された以外の国で AC アダプターを使用するには、その国または地域の規格にあった AC 電源コードが必要になります。その国または地域の IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じて購入することができます。

考慮事項: 不適切な電源コードを使用すると、ご使用のコンピューターに重大な損傷を与える可能性があります。

### 3 ピンの電源コード:

注:

1. 日本で販売される ThinkPad には 2 ピンの AC アダプターが付属していますので、3 ピンの電源コードは使用できません。
2. MPRII に完全に準拠するためには、海外で販売している 3 ピンのアース付きの AC アダプターが必要です。3 ピン電源コードがご使用のコンピューターに付属している場合は、viii ページの『安全に正しくお使いいただくために』を参照してください。

IBM 電源コード 部品番号	使用する国または地域
02K0539	中華人民共和国 (香港以外)
36L8867	アルゼンチン
76H3514	オーストラリア、ニュージーランド、バブアニューギニア、パラグアイ、ウルグアイ
76H3516	アルバ、バハマ、バルバドス、バーミューダ、ボリビア、ブラジル、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キュラソー、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、韓国 (南)、リベリア、メキシコ、オランダ領アンチル列島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、スリナム、台湾、タイ、トリニダード (西インド諸島)、アメリカ合衆国、ベネズエラ

## IBM 電源コード

IBM 電源コード 部品番号	使用する国または地域
76H3518	オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チョコ共和国、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、マカオ、マセドニア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、トルコ、ユーゴスラビア
76H3520	デンマーク
76H3522	バングラデシュ、ミャンマー、パキスタン、南アフリカ、スリランカ
76H3524	アブダビ、アルバニア、アンチグア、バーレーン、ブルネイ、ドバイ、フィジー、香港、インド、アイルランド、ケニア、クウェート、マレーシア、ナイジェリア、オマーン、カタール、シンガポール、イギリス
76H3528	リヒテンシュタイン、スイス
76H3530	チリ、エチオピア、イタリア、リビア
76H3532	イスラエル
76H3535	韓国

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31  
AP事業所  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing

### 西暦 2000 年対応および説明

製品の西暦 2000 年対応 (Year 2000 Ready) とは、その製品を関連資料にしたがって使用した場合に、20 世紀から 21 世紀にわたる日付データの処理、引き渡し、または受け取りが正しく行われることをいいます。ただし、その製品とともに使用されるすべての製品（例えば、ハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェア）が正確な日付データをその製品と正しく交換できることが条件となります。

この IBM 製のパーソナル・コンピューターは、西暦 2000 年対応の製品です。ただし、西暦 2000 年になる時に、このコンピューターの電源が立ち上がっている場合、一度電源を落とし、再度立ち上げるか、オペレーティング

グ・システムを再起動してください。これにより、このコンピューターの内部クロックがリセットされます。

なお、お客様が、西暦 2000 年対応でないソフトウェアを使用される場合、または、処理するデータが西暦 2000 年対応でない場合には、この IBM パーソナル・コンピューターは、正しく日付データを処理することはできません。なお、この製品の西暦 2000 年対応状況についてのご説明は、ハードウェア製品のみ適用されるものであり、ハードウェアとともに提供されるソフトウェアの対応状況を示すものではありません。IBM は、他社製ソフトウェアの日付処理について責任を負いません。他社製ソフトウェアの日付処理、その制約または更新版については、他社製ソフトウェアの提供元にお問い合わせください。

西暦 2000 年の概要および IBM 製のパーソナル・コンピューターの 2000 年対応状況については、IBM Year 2000 Web サイト (<http://www.ibm.co.jp/ad2000>) でご覧いただくことができます。お客様の西暦 2000 年対応作業をご支援するための情報およびツールが含まれており、情報は必要に応じ更新されます。

## 商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

IBM  
MMPM/2  
Multimedia Presentation Manager/2  
PC Card Director  
PS/2  
RediSafe  
ThinkPad  
TrackPoint IV

Microsoft, Windows, Windows NT, および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Pentium® および Celeron™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。



## Macrovision の著作権保護に関するステートメント

この製品には、米国特許のメソッド・クレーム、および Macrovision 社や他の権利所有者によって所有されているその他の知的財産権によって、保護されているコピー・プロテクト・テクノロジーが組み込まれています。このコピー・プロテクト・テクノロジーの使用には、Macrovision 社による許可が必要であり、Macrovision 社の文書による許可がない限り、自家およびその他の限定有料使用のみに限られます。リバース・エンジニアリングまたは逆アセンブルは禁じられています。

## Electronic Emission Notices

### *Federal Communications Commission (FCC) Statement* ThinkPad 390X

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an IBM authorized dealer or service representative for help.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Proper cables and connectors are available from IBM authorized dealers. IBM is not

responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment.

Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible party:

International Business Machines Corporation  
New Orchard Road  
Armonk, NY 10504  
Telephone 1-919-543-2193



Tested To Comply  
With FCC Standards

FOR HOME OR OFFICE USE

### *Canadian Department of Communications Compliance Statement*

This equipment does not exceed Class B limits per radio noise emissions for digital apparatus, set out in the Radio Interference Regulation of the Canadian Department of Communications.

### *Avis de conformité aux normes du ministère des Communications du Canada*

Cet équipement ne dépasse pas les limites de Classe B d'émission de bruits radioélectriques pour les appareils numériques, telles que prescrites par le Règlement sur le brouillage radioélectrique établi par le ministère des Communications du Canada.

### *European Community Directive Conformance Statement*

This product is in conformity with the protection requirements of EC Council Directive 89/336/EEC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.

A declaration of Conformity with the requirements of the Directive has been signed by IBM United Kingdom Limited, PO BOX 30 Spango Valley Greenock Scotland PA160AH.

This product satisfies the Class B limits of EN 55022.



日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

## 〔ア行〕

安全に正しくお使いいただくために viii

位置 3

インジケーターの位置 4

ウルトラベイ FX 18

ウルトラベイ FX ランプ 7

確保 100

交換 61

スワッピング 61

デバイス・ロックの位置 7

取り付け 61

ウルトラベイ FX ランプ、位置 7

エラー・コード 117

エラー・メッセージ 117

オーディオの問題 130

オプション

ウルトラベイ FX デバイス 61

ハード・ディスク・ドライブのアップグレード 59

ポート・リプリケーター 87

メモリー、増設 54

ThinkPad 拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) 87

オプション・リスト 145

温度、機械の仕様 153

オンライン・サポート・サービス 147

オンライン・ユーザズ・ガイド 36

## 〔カ行〕

拡大鏡 52

管理と保守 42

キーの組み合わせ 15

キーボード、仕様 150

基準、ディスクット 151

輝度調節つまみ、位置 3

機能 150

キャップス・ロック・ランプ 10

## 〔サ行〕

サービス

受ける方法 147

サービス体制 147

サスペンド状態、位置 6

サスペンド・ランプ 10

システム拡張コネクタ、位置 7

システムのバックアップ 38

始動パスワード 92

修理サービス 145, 147

仕様 150, 153

温度 153

環境 153

寸法 153

電源コード 155

入力電圧 154

バッテリー・パック 154

発熱量 154

状況インジケーター 8

状況表示、位置 4

助言 112

シリアル・コネクタ、位置 5

シリアル・ポート、設定 105

スーパーバイザー・パスワード 93

数値キーボード、使用法 17

スクロール 52

スクロール・ロック・ランプ 10

スピーカー、位置 3

寸法、機械の仕様 153

制限事項 112

赤外線通信の問題 129  
赤外線ポート  
位置 5  
設定 104  
セキュリティ機能  
セキュリティねじ 100  
セキュリティ・システム・ロック 99  
パスワード 92  
セキュリティ・キーホール、位置 5  
セキュリティ・システム・ロック 99  
接続 83, 88  
外付けキーボード  
接続 66  
外付け数値キーパッド  
接続 66  
外付けディスプレイ  
位置 5  
接続 72  
設定 107  
問題 133  
外付けマウス  
接続 66  
ソフトウェアの問題 137

## 〔タ行〕

チルト・スタンド、位置 7  
ディスクет基準 151  
ディスクет・ドライブ、位置 3  
ディスプレイ 150  
表示モードの変更 73  
モード 75  
テクニカル・サポート 147  
web 147  
電源コード 155  
電源ジャック、位置 5  
電源スイッチ  
位置 5  
電源ランプ 11  
動作 51  
導入済みアプリケーション CD、使用法 140  
ドッキング 88  
ドライブ使用中ランプ 10  
トラックポイント 12  
位置 4

トラックポイント (続き)  
拡大鏡 52  
カスタマイズ 48  
キャップの交換 14  
使用 12  
使用不可 70  
スクロール 52  
使い方のヒント 13  
動作 51  
プレス・セレクト 49  
トラックポイント、設定 106  
取り外し 85  
取り付け 84

## 〔ナ行〕

内蔵マイクロホン、位置 3  
ナム・ロック・ランプ 10  
入力装置の問題 122

## 〔ハ行〕

ハードウェア仕様 153  
ハード・ディスク  
位置 6  
ハード・ディスク・ドライブ 59  
アップグレード 59  
交換 59  
取り外し 59  
取り付け 60  
ハード・ディスク・パスワード 92  
ハイバネーション、作成 58  
ハイバネーション・モード  
問題 124  
パスワード  
使用 92  
設定 94  
タイプ 92  
取り外し 97  
入力 96  
変更 97  
バッテリー寿命、延長 45  
バッテリー状況 10  
位置 6

バッテリーの問題 127  
バッテリー・バック  
位置 5  
交換 40  
バッテリーの寿命を最大長にする 109  
ラッチの位置 7  
バッテリー・メーター 16  
パラレル・ポート  
位置 6  
非常用 CD-ROM 取り出し穴、位置 4  
ヒント 112  
プリンター 83  
プリンターの問題 132  
プレス・セレクト 49  
ヘッドホン・ジャックの位置 3  
ポート・リプリケーター 87, 88  
問題 135  
ホット・キー 15  
ボリューム制御、位置 3

## 〔マ行〕

マイクロホン・ジャック、位置 3  
メモリー 54  
計算 57  
仕様 150  
スロットの位置 7  
寸法 57  
取り外し 57  
取り付け 54  
問題、記録 146  
問題判別  
インジケーターの問題 127  
エラー・コード 117  
エラー・コードなし 121  
エラー・メッセージ 117  
エラー・メッセージなし 121  
オーディオの問題 130  
ガイド 115  
サスペンドの問題 124  
赤外線通信の問題 129  
外付けディスプレイの問題 133  
その他のオプションの問題 136  
その他の問題 138

## 問題判別 (続き)

ソフトウェアの問題 137  
入力装置の問題 122  
ハイパーネーションの問題 124  
バッテリーの問題 127  
表 116  
プリンターの問題 132  
ポート・リプリケーターの問題 135  
CD-ROM ドライブの問題 128  
LCD の問題 126  
LED の問題 127  
PC カードの問題 131  
USB の問題 130

## 〔ヤ行〕

よく聞かれる質問と答え 102

## 〔ラ行〕

ライン入力ジャック 3  
リカバリー CD、使用 140  
ロック 99

## C

CardBus  
Windows 98 での使用可能化 88  
CD-ROM  
挿入 19  
取り外し 19  
問題 128  
CD-ROM イジェクト・ボタンの位置 4  
CD-ROM ドライブ 3, 19  
使用 19  
ConfigSafe 39

## F

FAQ (よく聞かれる質問) 102  
Fn キー  
位置 4  
キーロック 15

Fn キー機能 15

## I

ID 番号 145

## L

LCD

表示モード 75

表示モードの切り換え 73

問題 126

ラッチの位置 2

## P

PC カード 84, 85

問題 131

PC カード・イジェクト・ボタン、位置 3

PC カード・スロット、位置 3

PC-Doctor、使用法

PS/2 マウス/キーボード共通ポート

位置 6

## S

S ビデオ出力

位置 5

S ビデオ出力ジャック

位置 5

## T

ThinkPad の携帯 44

ThinkPad の清掃 44

「ThinkPad の設定」プログラム 35

ThinkPad の取り扱い 42

## U

USB

位置 5

問題 130

## W

Web サイト 39